

集中精算システム
TSC-100

取扱説明書

- このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ご使用前に必ず本書「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになった後は必ず手元に保管してください。

株式会社 **TOSEI**

目 次

◆重要なお知らせ◆	1
安全上のご注意	2
本書での表現	4
1. 機械の仕様	6
1.1 概略仕様	6
1.2 機械の外形寸法	7
1.3 各部の名称	8
1.3.1 本機外部の主な名称	8
1.3.2 本機の内部名称1	9
1.3.3 本機の内部名称2	10
2. 据付工事について	11
2.1 運搬・搬入	11
2.2 設置工事	12
2.3 付属品	14
2.4 ドアの開け方	15
2.5 ドアの閉め方	16
2.6 トスネットシステム(THC-300)との接続	17
2.6 電源の投入	18
3. ユーザー操作画面	20
3.1 初期設定	21
3.1.1 日付と時刻の確認	21
3.1.2 システム設定	21
3.2 ホーム画面	22
3.2.1 標準仕様	22
3.2.2 券売機仕様	23
3.3 カード販売画面	24
3.4 機械選択画面	27
3.4.1 機械選択	27
3.4.2 乾燥延長機械選択画面	29
3.4.3 機械確認	30
3.4.4 ドア閉	31
3.5 コース選択画面	32
3.6 会計画面	34
3.6.1 支払選択	34
3.6.2 支払	36
3.7 その他設定画面	44
3.8 その他	49
3.8.1 調整中画面	49
3.8.2 領収書発行不可画面	50
3.8.3 利用不可画面	51
3.8.4 トラブル発生画面	52
3.8.5 乾燥延長不可画面	53
3.8.6 お取り忘れ注意画面	54
3.8.7 お取扱い不可画面	55
3.8.8 処理未了タイムアウト画面	55

4. オーナー専用設定画面	56
4.1 オーナー専用設定に入る方法について	57
4.2 暗証番号入力画面(ポップアップ画面)	58
4.3 項目選択画面	59
4.3.1 回収金額印刷画面	60
4.3.2 トラブル情報画面	62
4.3.3 システム設定画面	63
4.3.4 ステータス情報画面	72
4.3.5 コース名設定画面	74
5. コインランドリー管理設定方法	79
5.1 保守用タッチパネル	79
5.1.1 保守状態表示	79
5.1.2 操作入力	80
5.2 メインメニュー	80
5.2.1 メインメニューの表示	80
5.2.2 メインメニューの表示内容	80
5.3 集金	81
5.3.1 集金集計印字	81
5.3.2 紙幣回収	83
5.3.3 硬貨回収	84
5.3.4 硬貨調整	85
5.3.5 硬貨調整 — 釣銭投入	86
5.3.6 硬貨調整 — コインチューブ交換釣銭自動合わせ	89
5.3.7 硬貨調整 — コインチューブ釣銭任意補充	92
5.3.8 硬貨調整 — 釣銭自動調整	95
5.4 集計レポート	97
5.5 集計に関する用語	98
5.5.1 集金	98
5.5.2 集計	98
5.5.3 小計	98
5.5.4 集計開始日	98
5.5.5 集計日	98
5.5.6 集計期間とは	99
5.5.7 集金集計の利用方法	100
5.5.8 集金小計の利用方法	100
5.5.9 月度集計の利用方法	100
5.5.10 月度小計の利用方法	100
5.5.11 集金小計印字	101
5.5.12 集金集計印字	102
5.5.13 月度小計印字	103
5.5.14 月度集計印字	104
5.5.15 集金ログ印字	105
5.5.16 月度集金ログ印字	106
5.5.17 期間集計	107
5.5.18 機械別集計	109
5.5.19 時間帯別集計	111
5.5.20 期間精算ログ	113

5.6 特殊操作	115
5.6.1 エラーログ消去方法	115
5.6.2 ログの初期化方法	117
5.6.3 設定データクリア方法	119
6. その他の設定	121
6.1 日付時刻設定	121
6.1.1 日付時刻の設定方法	121
6.2 機能拡張	123
6.2.1 警報信号時間	123
6.2.2 営業開始時刻、営業終了時刻	123
6.2.3 音声抑制開始、音声抑制終了	123
6.2.4 バックライト設定	123
6.3 機能拡張設定の設定	124
6.3.1 基本的な設定手順	124
6.3.2 バックライト設定への切り替え	126
6.4 精算機識別設定	127
6.4.1 顧客区分	127
6.4.2 店舗JISコード印字	127
6.4.3 店舗名設定	127
6.5 精算機識別設定の操作	128
6.5.1 顧客区分の設定方法	128
6.5.2 店舗名の設定	128
6.6 機能選択設定1	131
6.6.1 集金詳細印字	131
6.6.2 人検知機能	131
6.6.3 保有金簡易操作	131
6.6.4 料金案内	131
6.6.5 再度集金集計印字	131
6.7 機能選択設定1の操作	132
6.8 設定データ操作	133
6.8.1 設定印字の操作	133
6.8.2 設定データ操作方法	134
7. トラブルシューティング	136
7.1 症状と原因、対応	136
7.2 各種診断の表示エラー原因と対応	138
7.3 コインチェンジャ状態表示と対応	140
7.3.1 コインチェンジャ状態表示ランプ箇所	140
7.3.2 コインチェンジャ状態と対応	140
7.4 ビルバリ状態表示と対応	141
7.4.1 ビルバリのモニタランプ箇所	141
7.4.2 ビルバリのモニタランプ表示	141
7.5 プリペイドカードリーダー状態表示と対応	142
7.5.1 プリペイドカードリーダーの表示	142
7.5.2 プリペイドカードリーダーのエラーコード	143
8. 保守・点検	144
保守・点検表	145
保守部品 交換表	146

8.1	プリンタのメンテナンス	147
8.1.1	プリンタの各部名称	147
8.1.2	プリンタの点検項目	148
8.1.3	プリンタ用紙の交換	149
8.1.4	プリンタのクリーニング	151
8.2	ビルバリのメンテナンス	152
8.3	コインチェンジャのメンテナンス	152
8.4	プリペイドカードリーダーのメンテナンス	152
8.5	バッテリーのメンテナンス	152
8.6	タッチパネルのメンテナンス	153
8.6.1	タッチパネル表示部のクリーニング	153
8.6.2	タッチパネルの点検項目	153
8.6.3	タッチパネルの停止方法	153
8.7	精算テスト	155
8.8	釣銭追加投入	157
8.9	金庫内金額表示	159
8.10	釣銭保有枚数セット	160
8.11	釣銭保有枚数合わせ	162
8.12	各種診断	163
8.12.1	機器の診断と対策	163
8.12.2	エラーログの印字	165
8.12.3	バージョンの確認	166
8.12.4	領収書サンプルおよびロム設定印字	168
8.12.5	タッチパネルの診断	170
8.12.6	画面表示の診断	172
8.13	操作ログ印字	174
8.14	音声ガイダンス	176
8.14.1	通常音声の音量調整方法	176
8.14.2	抑制音声の音量調整方法	177
8.14.3	音声のテスト再生	178
8.14.4	音声ガイダンス一覧	182
8.15	電源切断準備	185
8.16	電源の遮断	186
9.	オプション	188
9.1	電子マネー決済ユニット	188
9.1.1	機能	188
9.1.2	概略仕様	189
9.1.3	機械の外形寸法	190
9.1.4	各部名称	191
9.1.5	状態表示	191
9.1.6	電子マネー設定	192
9.1.7	電子マネー設定方法	192
9.1.8	電子マネー決済ユニット使用上の注意	194
9.1.9	締め処理	194
9.1.10	締め処理の操作方法	194
9.1.11	Edy取引履歴	196
9.1.12	Edyセンタ通信履歴	196
9.1.13	Edyセンタ通信履歴印字の操作方法	196

9.2 カード販売ユニット	198
9.2.1 機能	198
9.2.2 概略仕様	198
9.2.3 機械の外形寸法	199
9.2.4 本機の内部名称	199
9.2.5 点検項目	200
9.2.6 カードのセット方法	200
9.2.7 テスト発券	203
10. 参考資料	204
10.1 ビルバリ	204
10.2 コインチェンジャなど	204
10.3 日付時刻	204
10.4 防犯ブザー解除方法	204
11. 制限事項・その他	205
11.1 内部部品について	205
11.2 ドアについて	205
11.3 ソフトバージョンについて	205
11.4 釣銭自動調整について	205
11.5 サブチューブの使用について	205
11.6 インベントリについて	205
12. 保証とアフターサービス	206

◆ 重要なお知らせ ◆

■ 本製品について

- 本製品をお使いになるときは、必ず本書に従ってください。
本書の記載内容を守らない事により生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 製品本来の使用目的以外に使用して生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 本書の内容は、関連法令や基準、規格などの変更、製品の機能改善のために、予告なく変更することがあります。
- 本製品は日本国内仕様であり、国外の規格などには適合していません。
本製品を国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いません。また、当社は本製品に関する国外での保守サービス、及び技術サポートなどは行っていません。

■ 本書について

- 本書をお読みにになった後は、いつでも見ることができる場所に大切に保管し、疑問点が生じた場合に直ちにお読みできるよう配慮してください。
- 本書は当社の出版物で、著作権は当社に帰属します。本書の内容は、一部または全部を当社の書類による承諾なしに複写、複製、転載、改変、翻訳、データ変換などできません。
- 本書の内容については万全を期しておりますが万一、不審な点や誤り、お気づきの点等がございましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- その他、本書に記載している商品名は商標登録または商標になっている場合があります。

■ 移設・廃棄・譲渡について

- 本製品を移設する場合は、専門業者又はお買い上げの販売店までご相談ください。
据付不備があると感電・火災の原因になります。
- 本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として扱われます。
専門の廃棄業者へご依頼ください。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品を転売・譲渡する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は、次のようになっています。

■ 表示の説明

表 示	表 示 の 意 味
 危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

*1: 重傷とは失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などを指します。

*3: 物的損害とは、家屋・家財及び家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

図 記 号	図 記 号 の 意 味
 禁止	 この表示は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	 この表示は指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	 この表示は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

オーナーの方へ

- ◆ 「安全上のご注意」の中でご使用になる方への項目は、本機の注意ラベルで表示してあります。
お客様や他の人への危害や損害を未然に防止するため、注意事項を守り、使用するよう管理、指導してください。
- ◆ 本機に表示してある「安全上の注意ラベル」が破れ、はがれが生じた場合は新しい注意ラベルに必ず新しい注意ラベルに必ず貼り換えてください。



警告

◆ 分解・改造・修理をしない

『火災・感電・ケガの危険性があります』

- お客様ご自身で本機の分解・改造・修理をしない。
- 修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。又、警告ラベルの取り外し、破損、改造はしない



分解禁止

◆ 機械の異常に気付いたら電源を切る

『火災の危険性があります』

- 煙が出ている、変なおいがあるなど異常がある場合は、電源を切り、販売店に修理を依頼する。
地震や火災発生時は運転を停止してください。



電源を切る

◆ 長期間ご使用にならない時は

『火災・感電・ケガの危険性があります』

- 電源をコンセントから抜く。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



電源確認



警告

◆ 水などが入った場合

『感電・火災の危険性があります』

- 万一、本機内部又は電装部に水が入った場合は運転を停止し、電源を切り販売店に連絡する。



電源を切る

ご利用の前に

ここでは、コインランドリーなどを運営する場合や実際にコインランドリーを使用する場合に必要な最も基本的な事柄の説明をします。

当社に連絡いただく時に重要な内容となりますので、必ずご理解いただいてから本書を読み進めていただくことをお願いします。

本書での表現

本機の説明を開始する前に、本書に特有な表現、図の見方の説明をします。

本書では、説明を簡潔で理解しやすいものにするため、文字表現やイラストで、各々の意味を説明します。

(1)表示の表記

ボタン類はボタンの名称を四角で囲って表します。テンキーや、付属するENT (Enter. エンター、入力確定)、DEL (Delete. デリート、一文字削除) BS (Back Space. バックスペース、一文字戻し) ESC (Escape. エスケープ、入力消去)などは図で表示されます。説明にDELキーを用いる場合は、ボタンと同様に名称を四角で囲います。

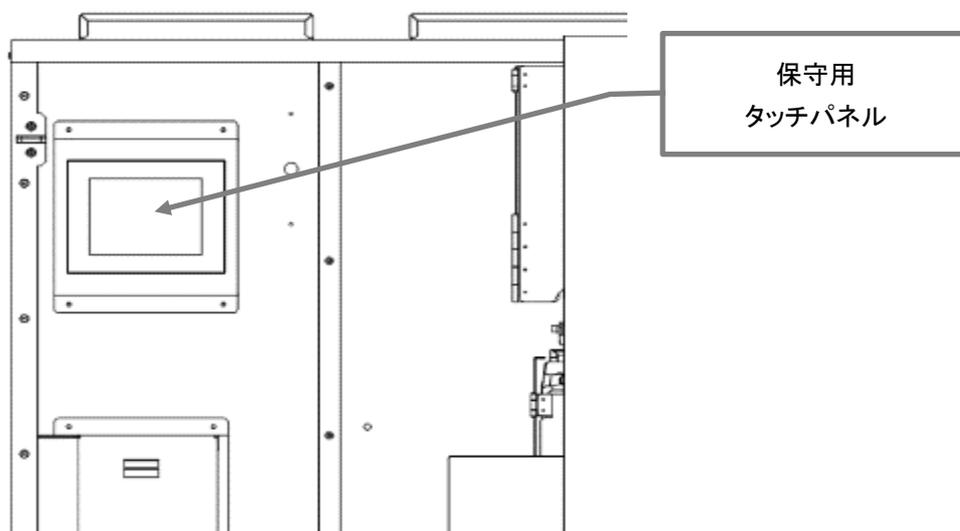
(1) 集金ボタンは、**集金**となります。

(2) テンキーは本機のタッチパネルに表示されるその物が図示されます。

以下はテンキー表示の一例です。

1	2	3
4	5	6
7	8	9
ESC	0	ENT

(3) ENT キーや ESC キー、1 キーなどキー単体説明は、**ENT** や **ESC**、**1**となります。



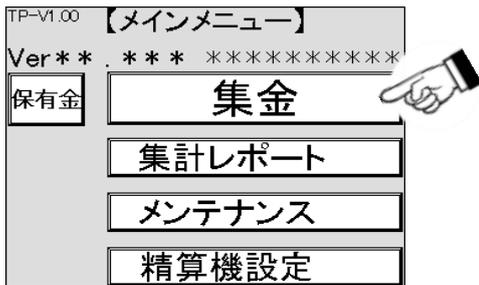
(2)操作方法の表記

ボタンやキーを押す場合や、数値やアルファベットのキーを押して数値などを入力する場合
指のイラストを使用し押すボタンなどや、入力する場所を示します。

(1) 指のイラスト※1は次のとおりで、位置や向きは説明箇所により変わります



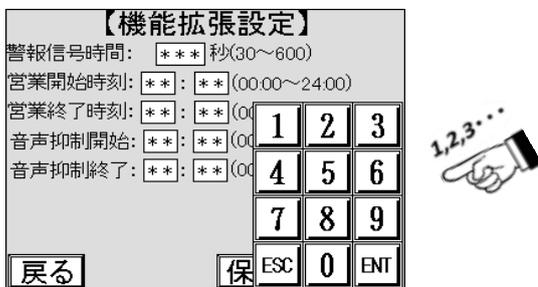
(2) 集金のボタンを押す説明の図は次のように押すボタンにかかった表示をします



(3) 数値などを入力する場合、数値の付いた指のイラスト※1で示されます



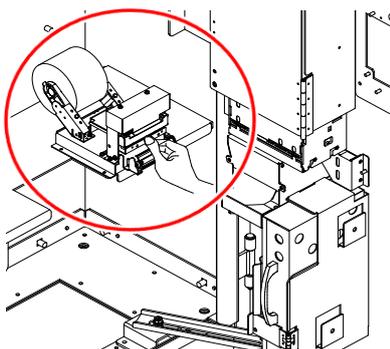
(4) 値を入力する場合の説明には下の図が示されます。押す箇所は示しません



※1: 実際の画面には表示されません。

(3)印字について

本機で印字される用紙は、扉内部のプリンタにて印字されます。



1. 機械の仕様

TSC-100(以下本機)は、タッチパネルですべての操作ができることを特徴とした精算機で、コインランドリーにおいて自動的に料金を徴収したり、領収書を発行したりすることにより、無人運営が可能となります。本機は日本国内仕様です。

1.1 概略仕様

本機には、無人でコインランドリーを運営するための現金の受け入れや払い出し、領収書を発行するなどの機能があります。

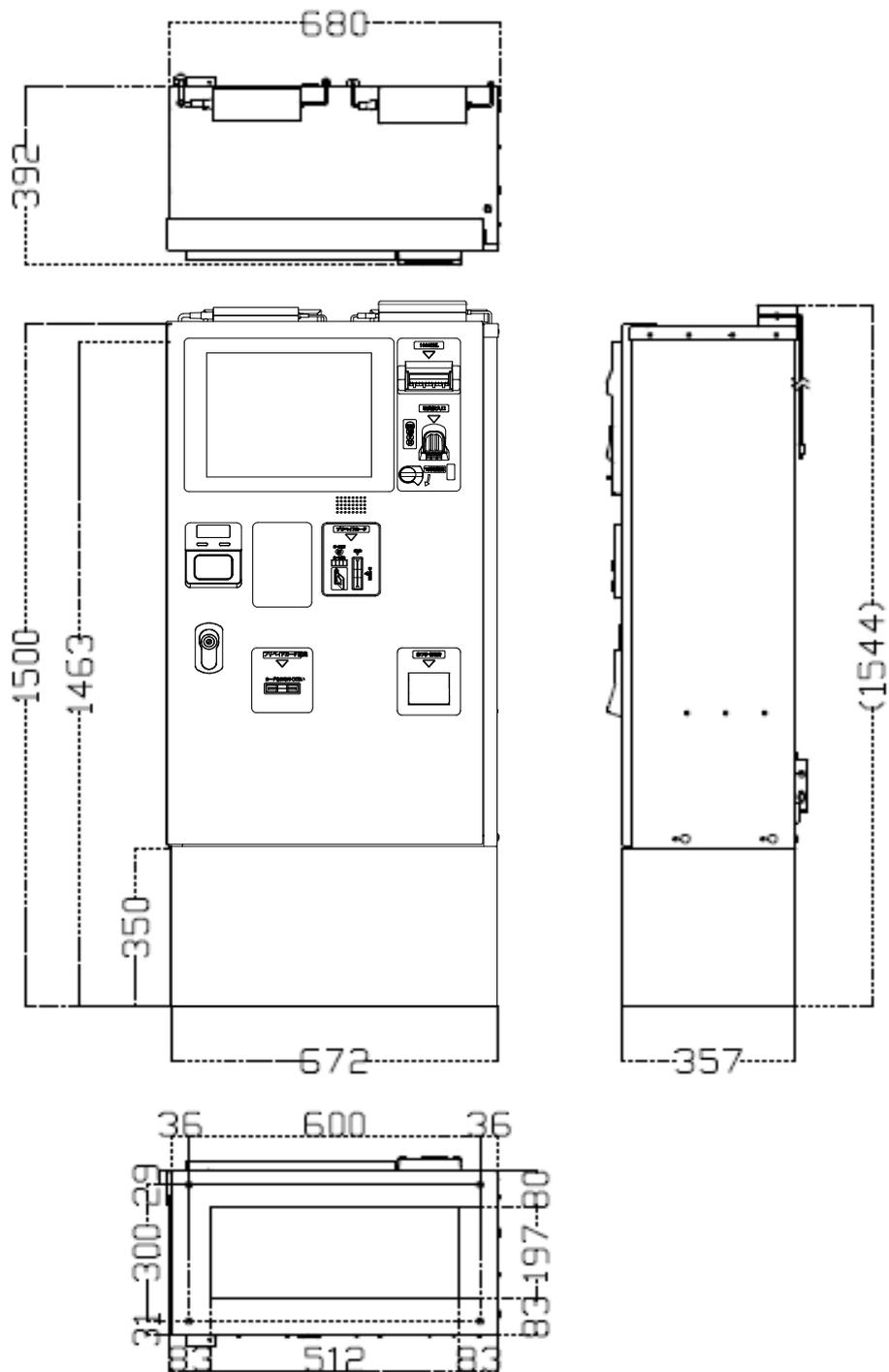
No.	項目	内容
1	使用金種	10/50/100/500/1000 円
2	1000円札収納枚数	新札最大 430 枚 参考値※1 流通券最大 250 枚 参考値※1
3	硬貨金庫収納枚数	100円硬貨、500円硬貨を平均的利用で約1000 枚
4	領収書発行	領収書の発行が可能
5	釣銭機能	10/50/100/500 円
6	釣銭最大収納枚数	10 円 70 枚 50 円 65 枚 100 円 70 枚 500 円 50 枚 SUB チューブ 70枚※2
7	電子ジャーナル	コインランドリーの利用実績を記録可能
8	表示、操作	タッチパネルディスプレイ
9	案内ランプ	赤色表示
10	プリンタ用紙仕様	種類 指定感熱ロール記録紙 紙幅 58 ± 01 mm 紙厚 60~70 μm ロール径 Φ83 mm以下
11	定格電圧	単相AC100V±10% 3線式
12	定格周波数	50 / 60Hz 共用
13	定格電力	待機時 50 W 以下※3 動作時 130 W 以下※3
14	動作環境	温度 0 ~ 40 °C (凍結なきこと) 湿度 5 ~ 80 %RH (結露なきこと)
15	外観寸法	幅680 mm×高さ1500 mm×奥行き392 mm
16	機械質量	本体 約130 kg (架台込み)
17	環境物質	RoHS 適合品

※1: 紙幣金庫に補充できない場合は、受入禁止になります。

※2: SUB チューブは100 円のみ使用可能です。

※3: オプション搭載が無い場合の数値です。

1.2 機械の外形寸法



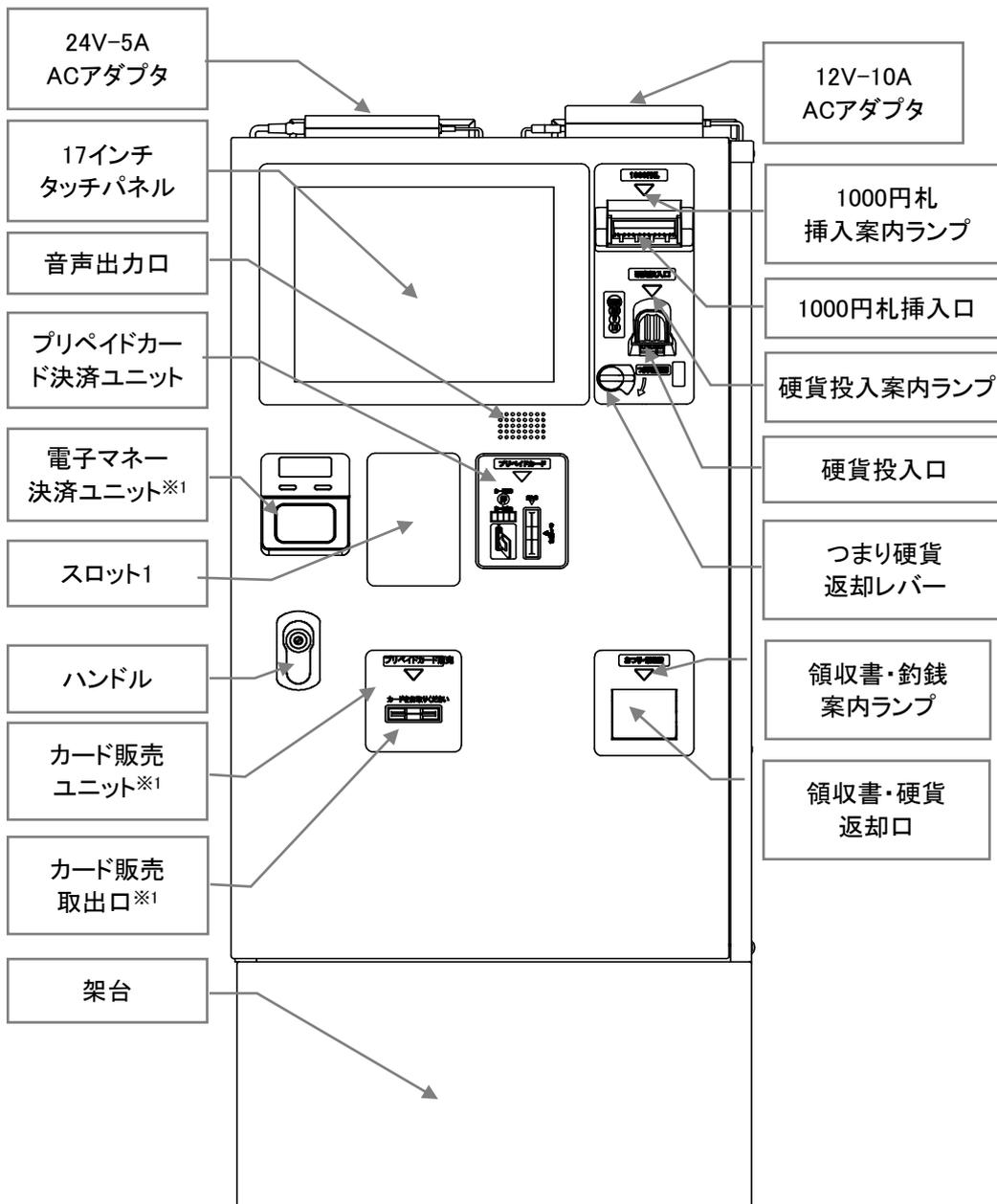
※ 本仕様ならびにデザインは改良のため、予告なく変更することがあります。

1.3 各部の名称

ここでは、本機の外部にある操作部などの名称と、内部に設置してある機器の名称を示します。本書に説明用語として用いられています。

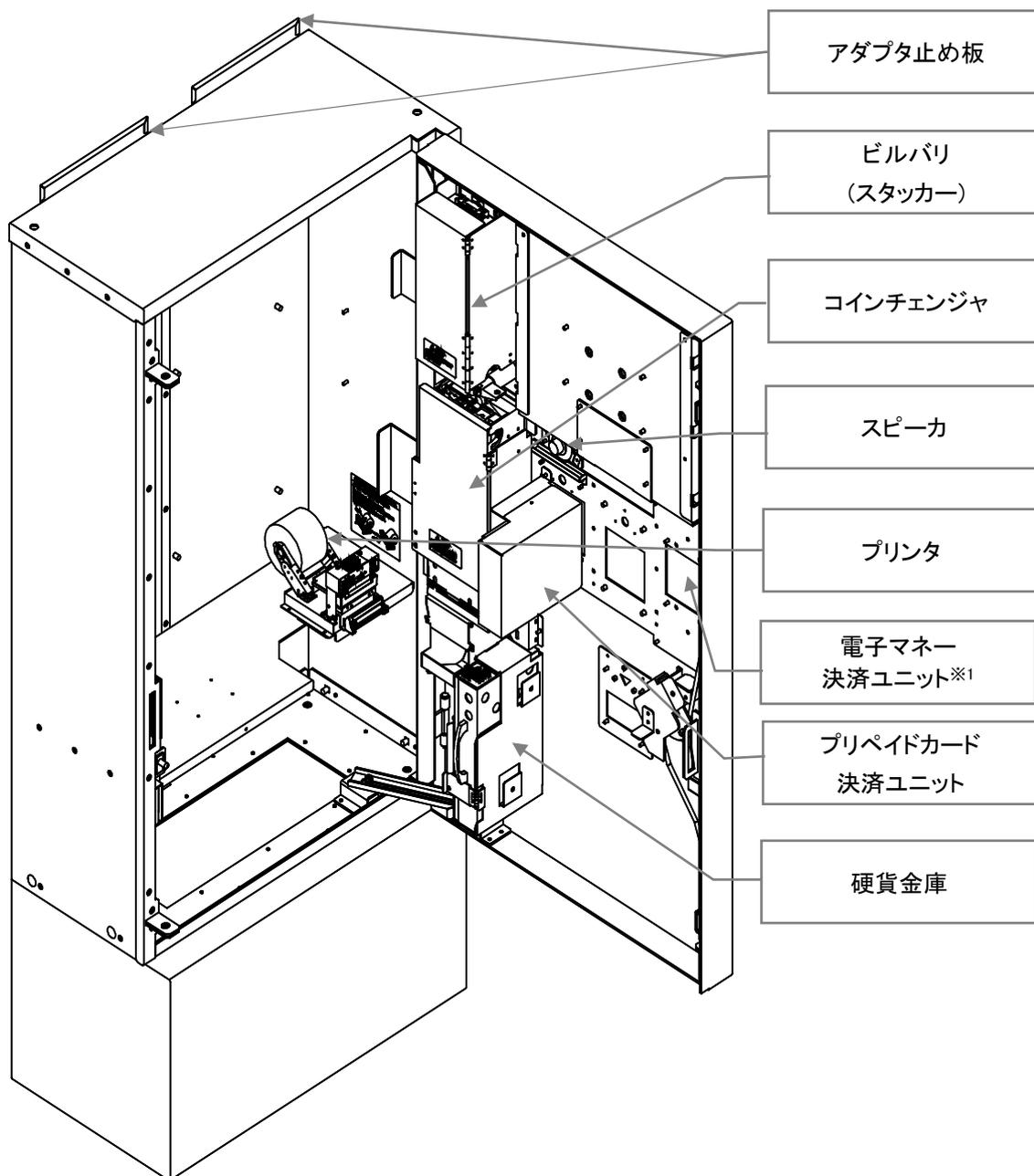
特に外部にある操作部は、コインランドリーなどを利用するユーザーも使用しますので、必要に応じて参照や確認、対応に用いてください。

1.3.1 本機外部の主な名称



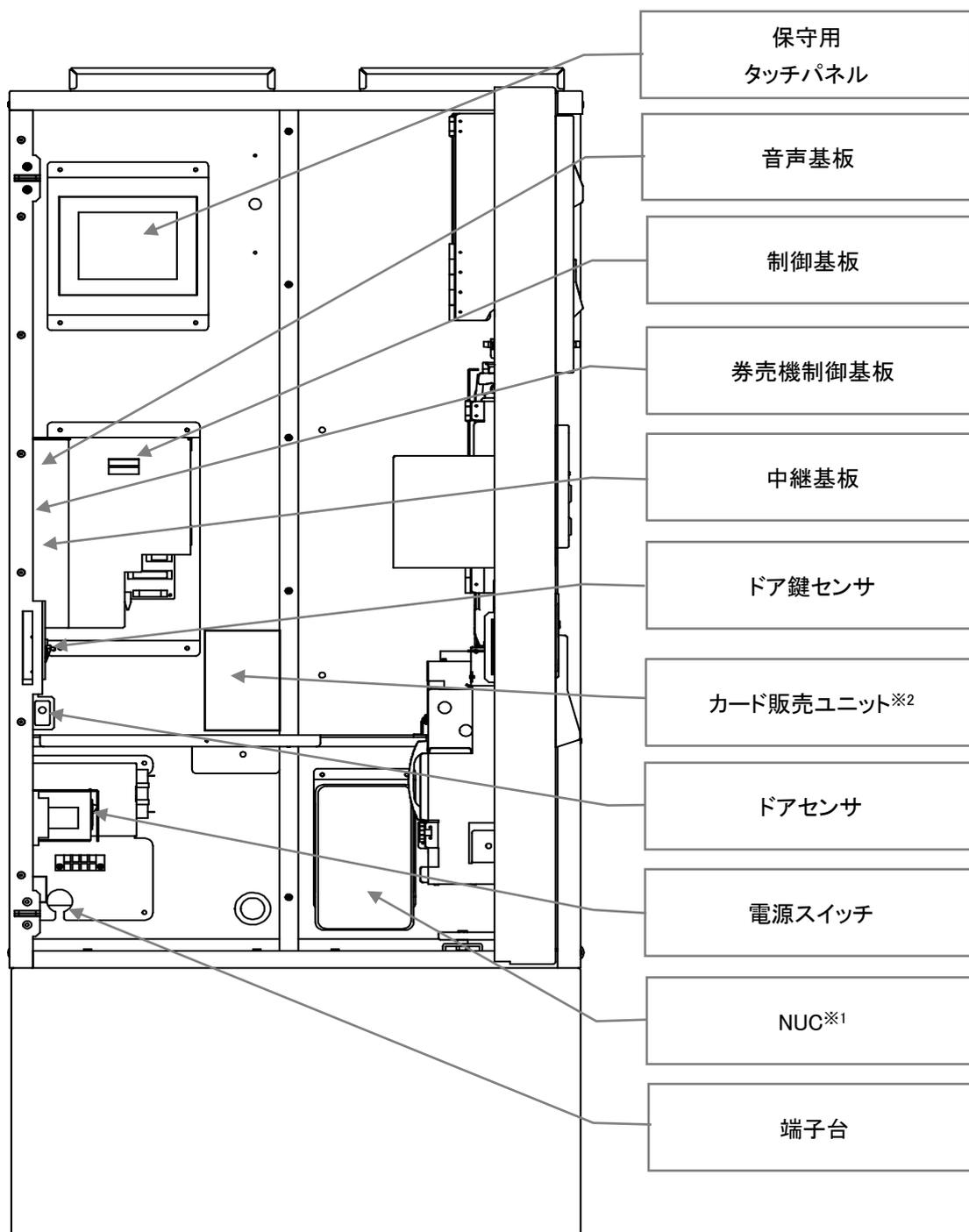
※1:オプションです。

1.3.2 本機の内部名称1



※1:オプションです。

1.3.3 本機の内部名称2



※1: Next Unit of Computing ナック、インテルの推進する約 10cm x 10cm のマザーボードを
搭載する据置型の超小型パソコンの規格です。

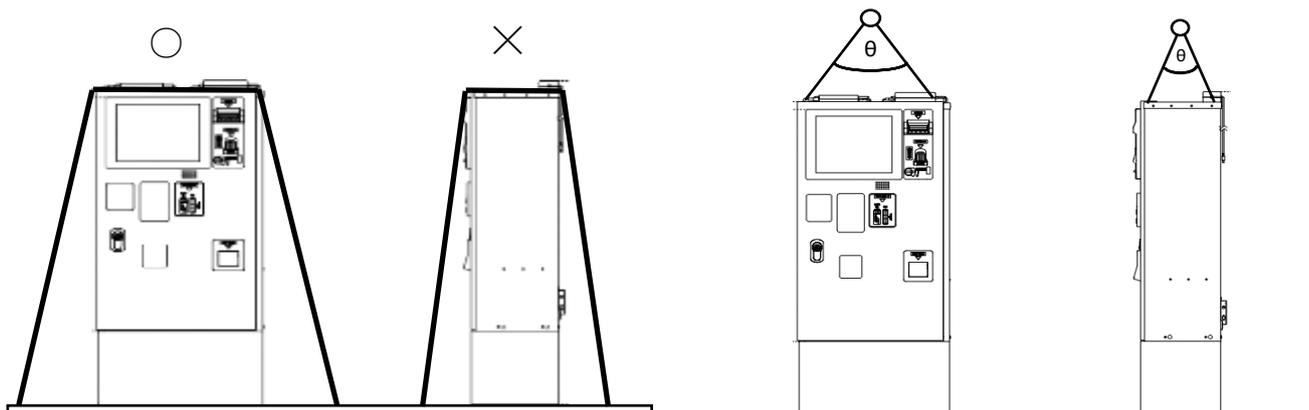
※2: オプションです。

2. 据付工事について

2.1 運搬・搬入

 警告	◆ 製品を安全に使用していただくために据付工事説明書をよくお読みいただき十分に理解してください。	 強制
 注意	◆ 運搬・搬入工事は、『専門の工事業者へ依頼してください』 本機が転倒してケガの危険性があります。	 専門業者へ依頼

- (1) 本機への極度の衝撃や外装部に損傷を与えないよう取り扱ってください。
- (2) 降雨の場合は、必ず本機にビニールシート類を掛けて、
雨水が機械内に入らないよう注意してください
- (3) クレーン等で機械を吊り上げる場合には、機械上部の「吊上げフック」に掛けてください。
- (4) 玉掛作業は、資格習得者が行ってください。
- (5) 機械重量に見合ったワイヤ類を選定して玉掛作業を行ってください。
- (6) ワイヤを使用する場合は「玉掛用」ワイヤを使用してください。
- (7) 輸送する際、ロープ掛けし本体が傷まないように注意してください。
特に、ロープの締めすぎには十分注意してください。
※ロープは左右から掛けてください。【前後にかけないでください。】



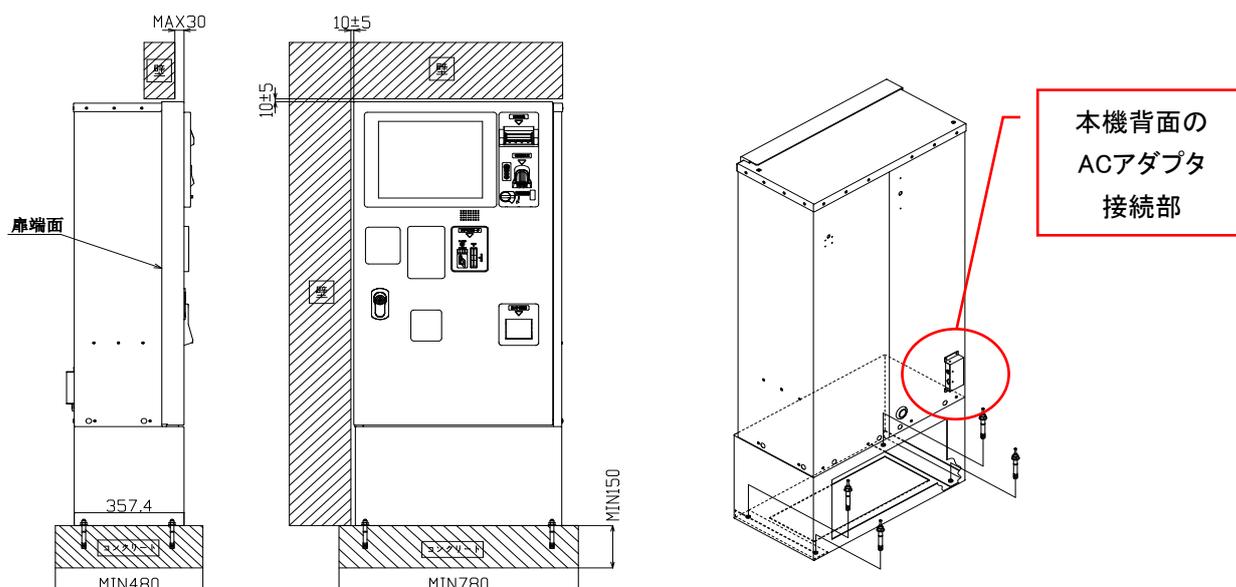
2.2 設置工事

 注意	◆ 本機の据付工事は、『専門の工事業者へ依頼してください』 据付工事をされる方は本機の据付工事説明書に従って 工事を行ってください。	 専門業者へ依頼
 警告	◆ オールアンカーで固定するまで、前面扉を開けないでください 本機が転倒してケガの危険性があります。	 専門業者へ依頼

本機は屋内に設置してください。設置の推奨工事内容は以下のとおりです。

(1) 推奨設置

- (1) コンクリートの土台は、下図を参照してください
- (2) 防犯のため、本機の上面および左側面は、 10 ± 5 mmの間隔を空けて、
機器を設置してください
- (3) 防犯のため、本機の正面側から扉の端面がみえないように隠してください
- (4) 電源コンセントは、D種接地された接地極付コンセントを2口使用します
- (5) 付属品のサンダーブロッカーの寸法を確認し、ブロッカーを2個接続できるように
コンセントを施工※1します
- (6) 背面のACアダプタ接続部に、付属のACアダプタを2個接続します
- (7) ACアダプタのACコードが届く範囲※2内に電源コンセントを施工します
- (8) アース線の届く範囲※3内にD種接地工事を施工します



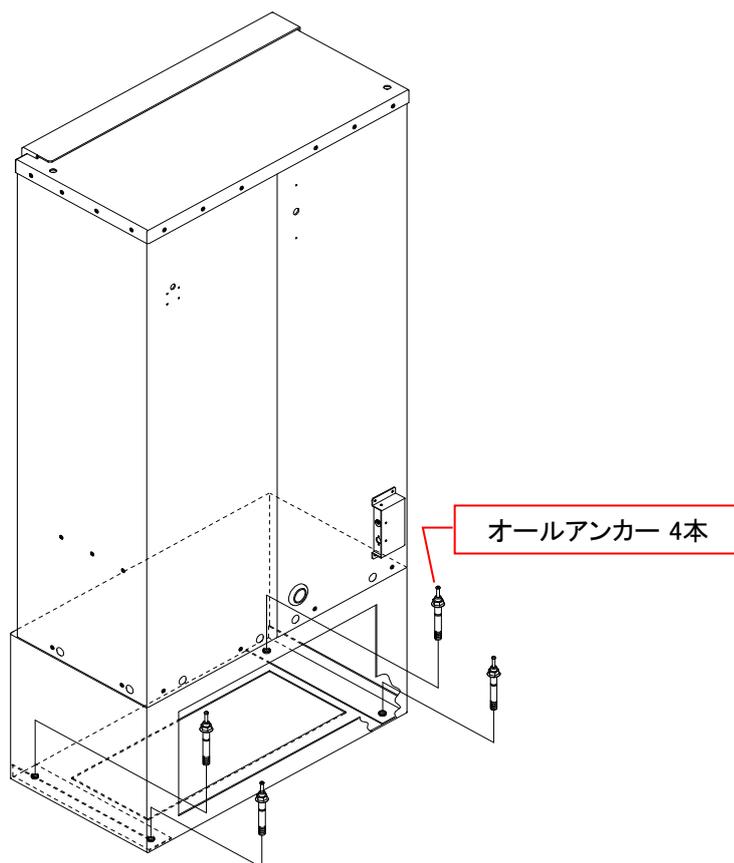
※1: お客様でコンセントを施工して頂くか、接地極付のタップなどを使用して
2口分接続できるようにお願いします。

※2: ACコード長さ1.2m。

※3: アース線長さ3m。

(2)オールアンカー使用手順

- (1)本機を設置箇所に合わせて、架台の穴中心をマーキングする
- (2)本機を移動して、穿孔径を $\phi 12.7$ 以下で穿孔深さを75 mm以上を穿孔する
- (3)穴内部のコンクリートなどのごみを除去する
- (4)本機を穴に合わせて設置する
- (5)アンカーを穴に挿入する
- (6)芯棒をハンマーで打ち込む
- (7)ナットをアンカーに付けて、締め付けトルクを $41\sim 43\text{N}\cdot\text{m}$ で締め付ける



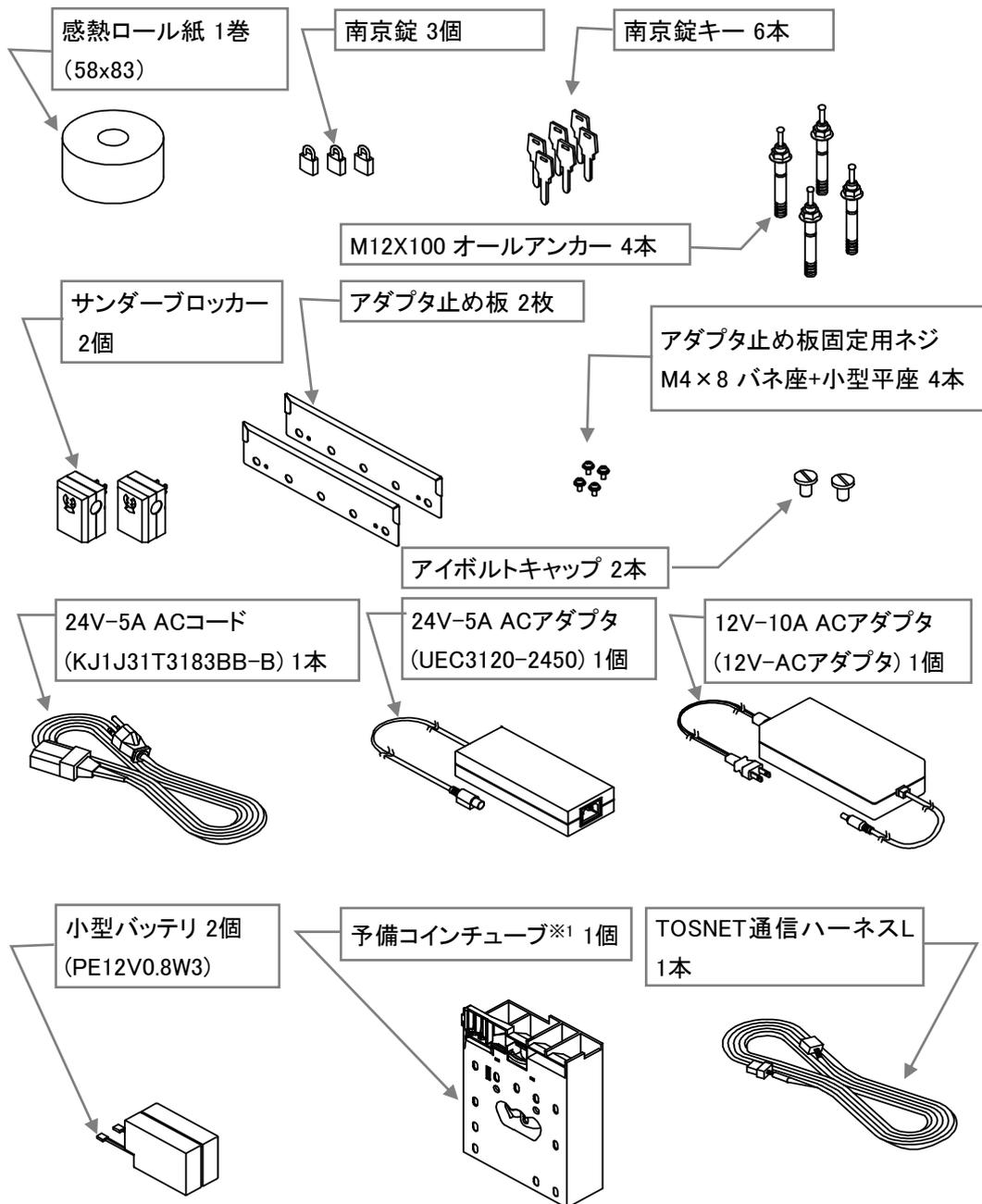
(3)電源コンセントとアース線接続

ここでは、電源のコンセントやアース線の接続について説明します。

- (1)AC100V接地コンセント2口に各々、付属品のサンダーブロッカーを接続します
- (2)ACアダプタのACコードを各々、サンダーブロッカーに接続します
- (3)本体背面のアース線をD種接地されたアースに接続します

2.3 付属品

納入時に付属品梱包箱の中に以下の付属品が揃っていることを確認してください。
品質管理と出荷検査を経て出荷しておりますが、万一足りないものがあった場合や
部品の破損があった場合は、お手数ですが当社にお問合せください。



※1本体内のコインチェンジャにも、コインチューブが1個取り付けられています

2.4 ドアの開け方

本機は、防犯機能を標準で備えているためドアの開け方に特徴があります。

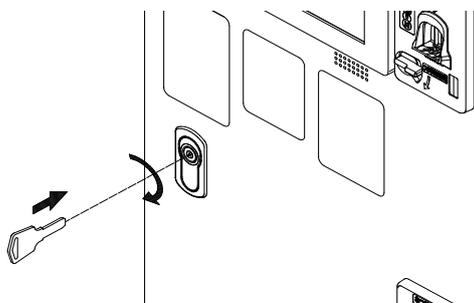
異なった手順で開けると防犯ブザー※1が鳴りますので、

本手順をよく読んでから開けてください。

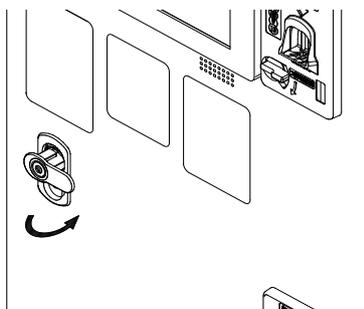
また、キーは抜き忘れや紛失、破損などしないように慎重かつ丁寧に扱ってください。

 注意	◆ ドアは必ず手順を守って開ける。 防犯ブザーはオプションによっては警備会社への通報機能も兼ねるので、誤った開け方が誤報となる場合があります。	 確認
	◆ ドアを開ける時は、扉ステイのロックをかける。 保守タッチパネルの操作中などに、ドアが閉まり手を挟むなどのケガをしてしまう恐れがあります。	 確認

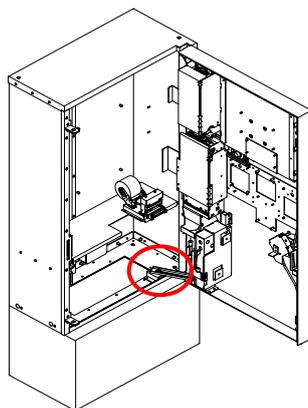
(1) キーを差込み、時計回りに回すとハンドルが飛び出てきます



(2) ハンドルを反時計回りに回します



(3) ドアは左開きに、扉ステイのロックがかかるまで開けます

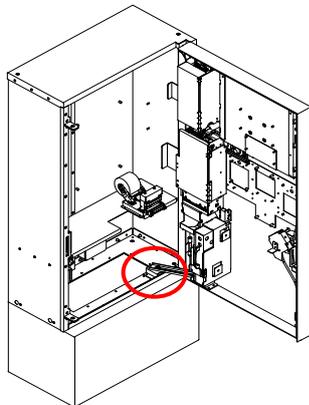


※1: 防犯ブザーの解除方法については、[10.4] 防犯ブザー解除方法を参照してください。

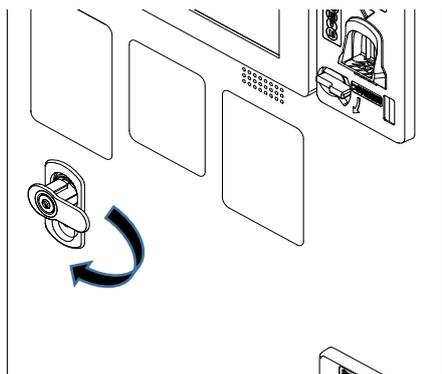
2.5 ドアの閉め方

保守や集金などが終わった後は、防犯の意味も含め早めにドアを閉めるようにしてください。
施錠とキーの抜き取り確認を含め、確実に閉めるようにしてください。

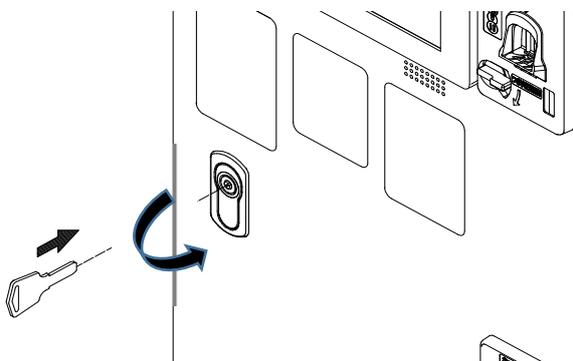
(1) 扉ステイのロックを解除し、ドアを閉めます



(2) ドアを押しながら、ハンドルを時計回りに止まるまで回します

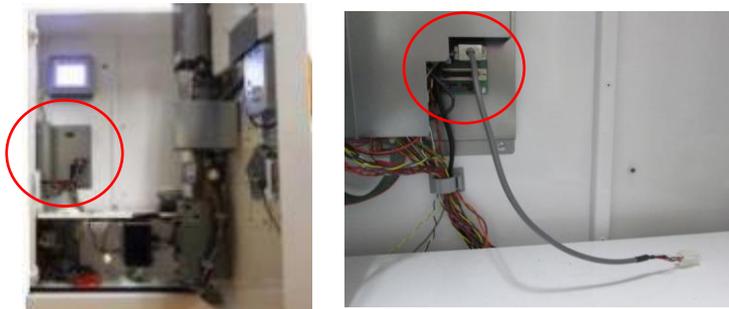


(3) ハンドルを押し込み、キーを反時計回りに止まるまで回し、キーを抜きます



2.6 トスネットシステム (THC-300) との接続

- (1) 本機のドアを、[2.4] ドアの開け方 を参照し、開けます
- (2) TOSNET通信ハーネスが挿入されていることを確認します。



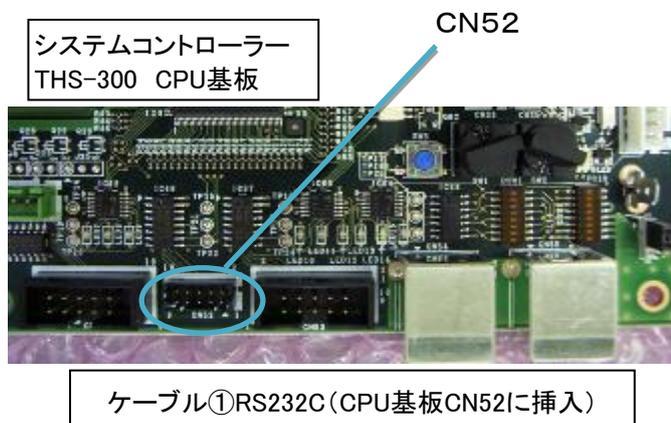
- (3) 本機の背面に、グロメット(ゴム製のフタ)が有ります
このグロメット中央部に、カッターなどで切れ込みを入れたのち、
TOSNET通信ハーネスLを挿入します
※切れ込みを入れる際は、怪我をしないように注意してください。



- (4) TOSNET通信ハーネスと付属のTOSNET通信ハーネスLを、本機内で接続します
ケーブルは稼動部に接触しないように、クランプ等で確実に固定してください



- (5) 付属のTOSNETハーネスLをTOSNET本体の下部の穴から制御ボックス内に引込み
CPUボードのコネクタCN52にさし込みます。



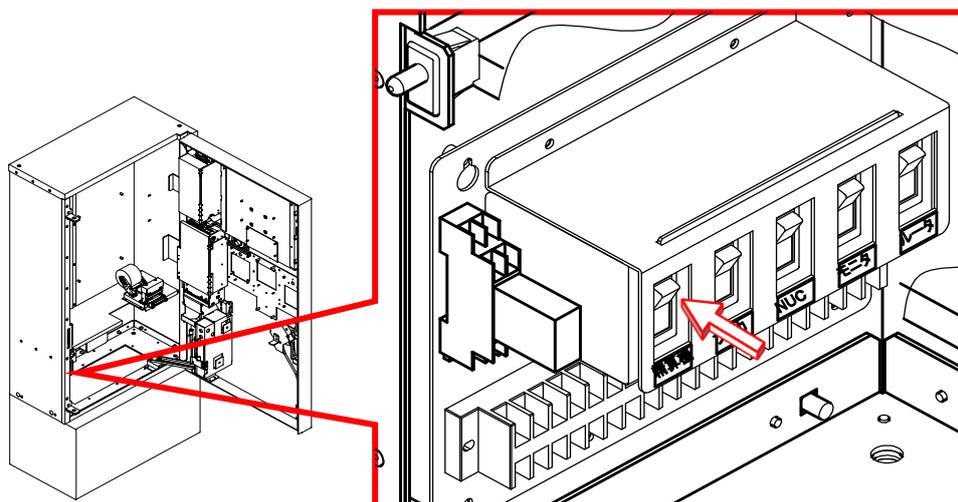
※機械を集中精算機に接続するためには、THS-300にて機械番号の設定が必要です。
詳細についてはTHS-300 設置設定編の [6]機械番号設定を参照してください。

2.7 電源の投入

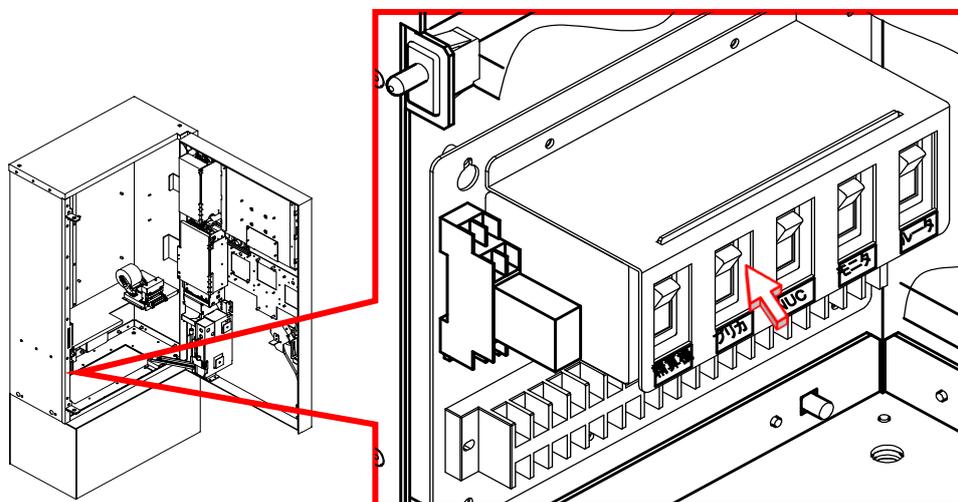
本機にAC100Vの電源を投入する方法の説明です。

 注意	◆ サンダーブロッカーを必ず使用する 使用しないと、雷サージの影響で電子部品が壊れて、 運営に支障が出る場合があります。	 確認
	◆ AC100Vコンセントは接地コンセントを使用する 使用しないと、雷サージの影響で電子部品が壊れて、 運営に支障が出る場合があります。	 確認

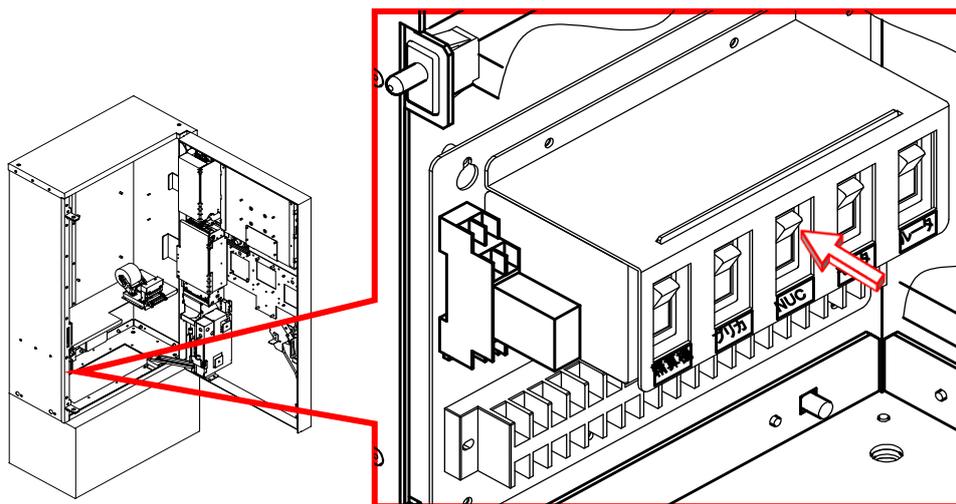
- (1) ACアダプタ2台の各々のDCプラグが本機背面の接続口に接続されていることを確認します
- (2) サンダーブロッカーをAC100V接地コンセントに挿し込みます
- (3) ACアダプタ2台の各々のACプラグをサンダーブロッカーに挿し込み、主電源を投入します
- (4) 本機のドアを、[2.4]ドアの開け方を参照し、開けます
- (5) 精算機と書かれたスイッチの、上側を押します



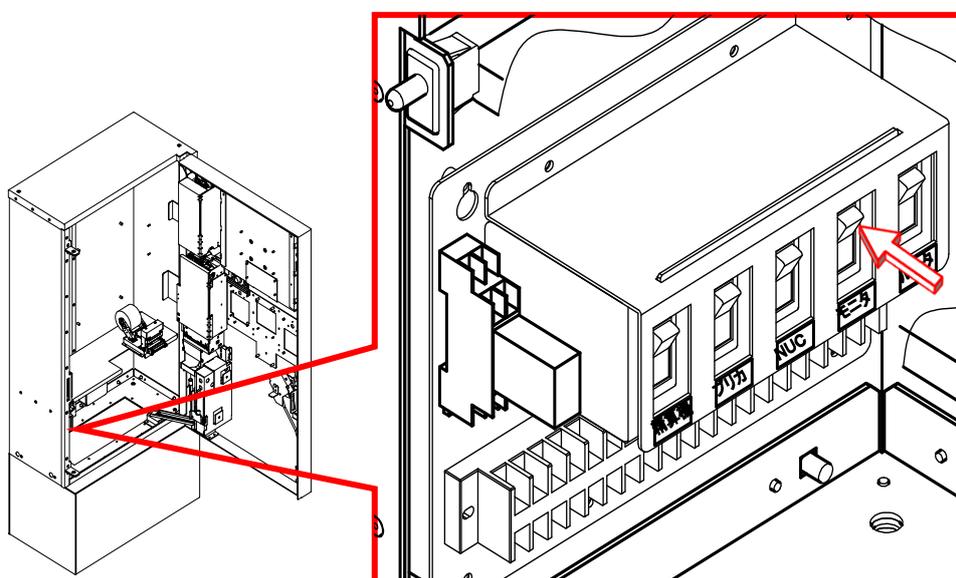
- (6) プリカと表示された電源スイッチの上側を押します



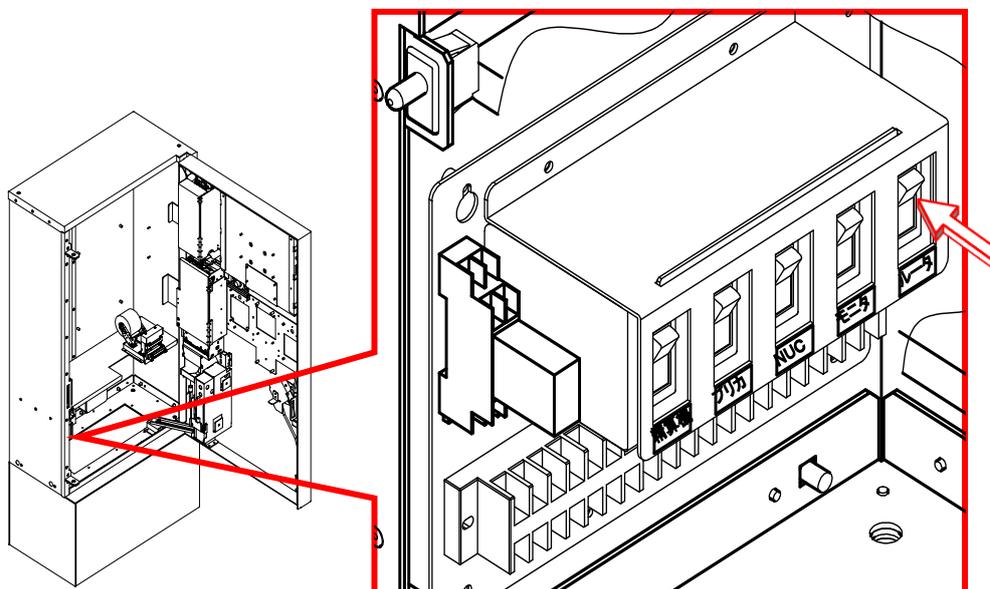
(7) NUCと表示された電源スイッチの上側を押します



(8) モニタと表示された電源スイッチの上側を押します



(9) ルータと表示された電源スイッチの上側を押します

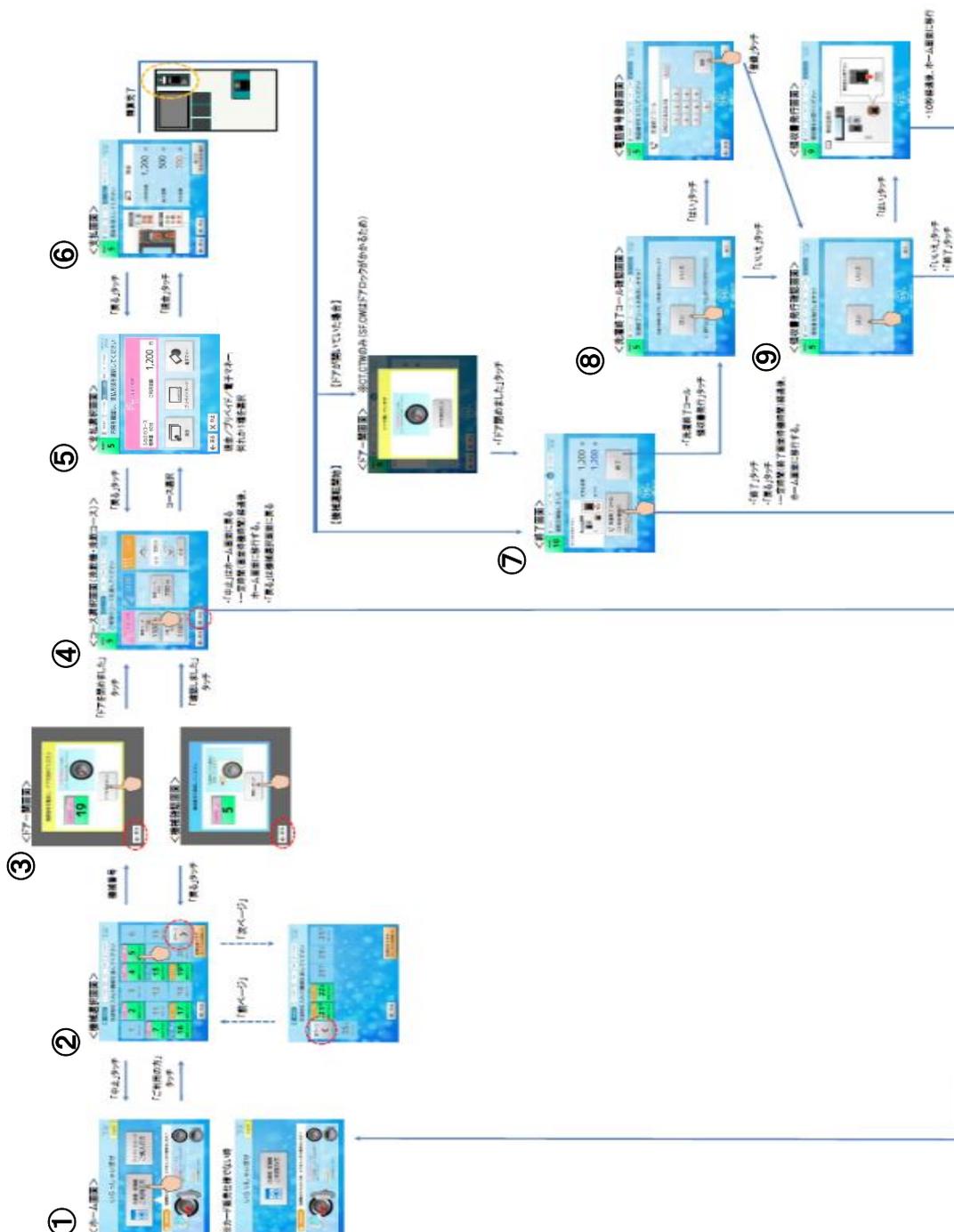


3. ユーザー操作画面

■ユーザー操作画面での操作手順（例）

- ① ホーム画面で、「洗濯機・乾燥機ご利用の方」を選択します。
- ② ご利用する機械を選択します。
- ③ 選択した機械のドアが閉まっているか確認します。
- ④ ご利用するコースを選択します。
- ⑤ 支払いする方法を選択します。
- ⑥ ご利用金額を確認し、精算を行います。
- ⑦ 精算が終了し、洗濯終了コールのご利用、領収書発行の有無を選択します。
- ⑧ 洗濯終了コールを利用する場合、洗濯終了コールをご利用する電話番号を入力します。
- ⑨ 領収書を発行する場合、領収書が発行され、操作終了です。

※操作の詳細については、次ページからの各項目を参照してください。



3.1 初期設定

本機をご利用の前に、[8.11] 釣銭保有枚数合わせを参照し、コインチューブ内の釣銭保有枚数を合わせてください。
また、施工などで電源の遮断期間が長期に渡ると、時刻の狂いなどが発生する場合がありますので、日付と時刻は運用を開始する前に確認してください。

3.1.1 日付と時刻の確認

日付と時刻は、電話の時報サービスや電波時計など正確なものを基準としてください。
本機では日本標準時に対して±2分以内を目安としています。

(1) 扉外部のタッチパネル画面の最上段に表示されます



(2) 本機の時刻が正常範囲内の場合修正は不要です。

(3) 時刻のずれが大きい場合や、より正確に合わせるには [6.1] 日付時刻設定 を参照してください

3.1.2 システム設定

領収書等に印刷される店舗名や電話番号・ハローコールで利用する電話番号を変更できます。
詳細は [4] オーナー専用設定画面 を参照してください。

3.2 ホーム画面

券売機機能の有無により表示するホーム画面を変更します。

3.2.1 標準仕様

ユーザーが洗濯物をドラムに入れたか確認・啓発するための画面です。

画面内にある「洗濯機・乾燥機ご利用の方」をタッチすることで、機械選択画面に移行します。

また、画面右上にある「English」をタッチすることで、英語画面に切り替わります。

※トラブルが発生した時、調整中画面に移行します。



【ボタン説明】

1	洗濯機・乾燥機 ご利用の方	機械選択画面に移行する。
2	English	英語画面に移行する。
3	日本語	日本語画面に移行する。

以下のタイミングで音声ガイダンスが流れます。

- 1.他の画面(起動中画面, 調整中画面含む)からホーム画面に移行した時
- 2.スタンバイ画面からホーム画面に戻った時

【音声ガイダンス】

「いらっしゃいませ。」

「ご利用される機械に洗濯物を入れ、ドアをしっかりと閉めてあるか確認の上、
ご利用の方、ボタンをタッチしてください」

☆スタンバイ画面について

ホーム画面表示中に一定時間(画面待機時間)操作がない時は、タッチパネル画面を消灯してスタンバイ画面に移行します。

スタンバイ画面中に、タッチパネル操作又は機械側でステータス変化(ドア開閉など)があった場合、スタンバイ画面を解除しホーム画面へ移行します。

※画面に関する各種設定時間(画面待機時間、精算待機時間、注意表示時間、起動待機時間)は、
[4.3.3] システム設定画面で変更できます。

※英語画面に移行しても、音声ガイダンスは日本語のままとなります。

3.2.2 券売機仕様

ユーザーが洗濯物をドラムに入れたか確認・啓発するための画面です。

画面内にある「洗濯機・乾燥機ご利用の方」ボタンをタッチすることで、機械選択画面に移行します。

また、「プリペイドカードご購入の方」ボタンをタッチすることで、カード販売支払選択画面に移行します。

※トラブルが発生した時、調整中画面に移行します。



【ボタン説明】

1	洗濯機・乾燥機 ご利用の方	機械選択画面に移行する。
2	プリペイドカード ご購入の方	カード販売支払画面(現金)に移行する。 ※カード機器異常(カード発券機器関連の異常のみ)が発生している場合、 またはカード残枚数が0枚になった場合、このボタンは無効する。 この時、カード販売できない旨を音声でお知らせする。
3	English	英語画面に移行する。
4	日本語	日本語画面に移行する。

以下のタイミングで音声ガイダンスが流れます。

1.他の画面(起動中画面, 調整中画面含む)からホーム画面に移行した時

2.スタンバイ画面からホーム画面に戻った時

【音声ガイダンス】

「いらっしゃいませ。」

「ご利用される機械に洗濯物を入れ、ドアをしっかりと閉めてあるか確認の上、
ご利用の方、ボタンをタッチしてください」

また、プリペイドカードを購入される方は、購入ボタンをタッチしてください。

<カード機器異常発生中に「プリペイドカードご購入の方」ボタンをタッチした場合>

現在、プリペイドカードを販売することができません。

3.3 カード販売画面

■カード販売支払画面

ユーザーがカード購入の現金による支払いを行う画面です。
この画面には、販売金額、投入金額、不足金額を表示します。



【ボタン説明】

1	戻る	ホーム画面に移行する。 ※現金が投入された場合、このボタンは無効となる。
2	中止	中止画面(ポップアップ)を表示する。

【表示】

1	販売金額	カード販売金額を表示する。
2	投入金額	現金投入された金額を表示する。
3	不足金額	不足金額を表示する。

【音声ガイダンス】

「現金を入れてください。」

※一定時間(精算待機時間)操作がない場合、ホーム画面に戻ります。

また、ホーム画面に戻る際、現金が投入されていた場合、現金を払い戻します。

※精算待機時間を”0秒”に設定している場合、現在表示している画面を表示したままとなります。

■カード販売終了画面

現金による精算が終了しカードが発券されたことを案内する画面です。

この画面には、お支払金額、おつりを表示します。

また、おつり返却中につり銭切れした時、残金を預かり書で発行します。

ただし、集中精算機内にあるプリンターに異常(ニアエンド以外)が発生している場合、預かり書を発行しません。



【ボタン説明】

1	領収書発行	カード販売領収書発行画面に移行する。 ただし、プリンター異常発生中(ニアエンド以外)は、 領収書発行不可画面に移行する。
2	終了	ホーム画面に移行する。

【表示】

1	お支払金額	支払いした金額
2	おつり	払い出された金額(現金投入金額-ご利用金額 or 残額)

【音声ガイダンス】

「プリペイドカードが発券されました。お取り忘れにご注意ください。

また、領収書をご希望の方は、領収書発行ボタンをタッチしてください。」

※一定時間(終了画面待機時間)操作がない場合、ホーム画面に戻ります。

※終了画面待機時間を”0秒”に設定している場合、現在表示している画面を表示したままとなります。

■カード販売領収書発行画面

領収書が発行されたことを案内する画面です。



【音声ガイダンス】

「領収書を発行しました。

お取り忘れにご注意ください。」

※領収書発行画面を一定時間(注意喚起画面待機時間)表示後、ホーム画面に戻ります。

3.4 機械選択画面

3.4.1 機械選択

ユーザーが利用する機械を選択するための画面です。

この画面には、店舗に設置されている機械台数(ドラム数)に対応した機械番号を表示します。

ただし、1画面に表示できる機械台数は最大18台までのため、19台を超える場合は次ページ>が表示されます。

画面内にある機械番号ボタンをタッチすることで、選択した機械の確認画面に移行します。



【ボタン説明】

1	機械番号	機械確認画面、ドア開画面及び利用不可画面を表示する。
2	乾燥延長する方はこちら	乾燥延長機械選択画面に移行する。 ※乾燥延長設定(システム設定)が“無効”に設定されている場合、このボタンを表示しない
3	次ページ	次画面(2ページ目)に移行する。
4	前ページ	前画面(1ページ目)に移行する。
5	中止	ホーム画面に移行する。

【表示】

1	使用中:残り運転時間	機械の残り運転時間を表示する。
---	------------	-----------------

【音声ガイダンス】

「洗濯物を入れた機械番号をタッチしてください。」

※一定時間(画面待機時間)操作がない場合、ホーム画面に戻ります。

※画面待機時間は、[4.3.3] システム設定画面で変更できます。

画面待機時間を”0秒”に設定している場合、機械選択画面表示のままとなります。

☆ボタン表示について

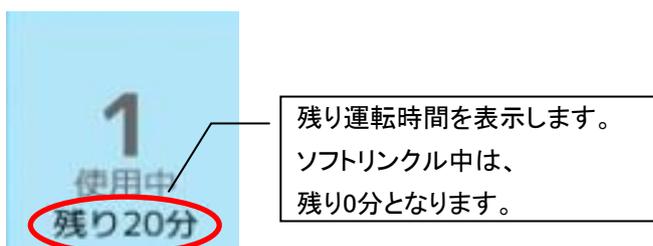
1)「使用できます」

機械待機中に表示します。



2)「使用中」

運転中、停止中、ソフトリンクル中に表示します。



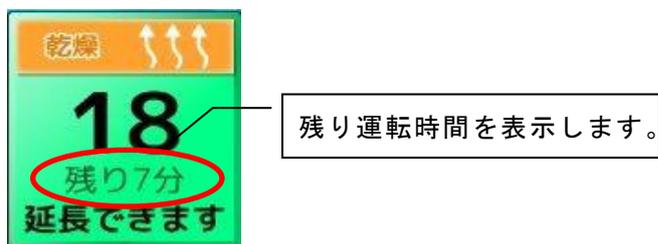
3)「調整中」

調整中、トラブル発生中に表示します。



4)「延長できます」

洗濯乾燥機、乾燥機で乾燥延長が可能な時に表示する。



5)「乾燥延長不可」

洗濯機及び乾燥機で乾燥延長できない時に表示する。



※ボタン表示(「延長できます」、「乾燥延長不可」)の判断は、下記条件で行われます。

1.機械運転情報返信コマンド内にある乾燥延長の設定値に従います。

- ・乾燥延長＝“乾燥延長許可” → 「延長できます」
- ・乾燥延長＝“乾燥延長禁止” → 「乾燥延長不可」

2.洗濯機は、「乾燥延長不可」となります。

3.残り運転時間が、乾燥延長下限時間(システム設定)を下回った時、「乾燥延長不可」となります。

3.4.2 乾燥延長機械選択画面

乾燥を延長するランドリー機を選択するための画面です。

この画面には、店舗に設置されている機械台数(ドラム数)に対応した「機械番号」ボタンを表示します。ただし、1画面に表示できる機械台数は最大18台までとし、19台以上の場合は次画面に表示します。また、残り運転時間が乾燥延長下限時間(システム設定)以下の時、無効となります。

画面内にある「機械番号」ボタンをタッチすることで、選択したランドリー機の確認画面に移行します。



【ボタン説明】

1	機械番号	機械確認画面、ドア開画面及び利用不可画面を表示する。
3	次ページ	次画面(2ページ目)に移行する。
4	前ページ	前画面(1ページ目)に移行する。
5	中止	ホーム画面に移行する。
6	戻る	機械選択画面に移行する。

【表示】

1	使用中:残り運転時間	機械の残り運転時間を表示する。
---	------------	-----------------

【音声ガイダンス】

「乾燥を延長する機械番号をタッチしてください」

※一定時間(画面待機時間)操作がない場合、ホーム画面に戻ります。

※画面待機時間を”0秒”に設定している場合、機械選択画面表示のままとなります。

3.4.3 機械確認

ユーザーが選択した機械の確認を行うための画面です。

この画面には、機械選択画面/乾燥延長機械選択画面で選択された機械番号を表示され、各機械に取り付けられているフリッカーランプが点滅します。

画面内にある「確認しました」をタッチすることで、選択した機械のコース選択画面に移行します。

ただし、選択した機械のドアが開いていた場合、ドア閉画面を表示します。

また、機械を選択した時に選択した機械が使用できなくなった(トラブル発生など)場合、利用不可画面を表示します。



【ボタン説明】

1	確認しました	コース選択画面に移行する。 ドアが開いていた場合は、ドア閉画面へ移行する。 機械側で100円以上投入されている場合、 支払方法選択画面へ移行する。 ※乾燥延長は、乾燥延長コース選択画面に移行する。
2	戻る	機械選択画面に移行する。 ただし、乾燥延長の場合、乾燥延長機械選択画面に移行する

【音声ガイダンス: 通常】

「洗濯物を入れた機械と画面表示の番号があっているかご確認の上、タッチしてください。」

【音声ガイダンス: 機械側で100円以上投入されている場合】

「選択された機械は、現金が途中まで投入されています。」

「選択した機械にお間違えなければ、タッチして支払い選択画面に従い精算を続けて下さい。」

※一定時間(画面待機時間)操作がない場合、ホーム画面に戻ります。

※画面待機時間は、[4.3.3] システム設定画面で変更できます。

画面待機時間を”0秒”に設定している場合、機械確認画面表示のままとなります。

3.4.4 ドア閉

選択した機械のドアが開いていた場合、ドアが開いていることをお知らせする画面です。

この画面には、機械選択画面/乾燥延長機械選択画面で選択された機械番号を表示します。

機械のドアを閉めて、「ドアを閉めました」をタッチすることで、コース選択画面に移行します。

ただし、ドアが閉まっていなかった場合、再度この画面を表示します。

選択したランドリー機側でコースが選択され尚且つ現金が投入(設定料金に満たない)されている場合、コース選択画面でなく支払選択画面に移行する。

※乾燥延長の場合、乾燥延長コース選択画面に移行する。



【ボタン説明】

1	ドアを閉めました	選択した機械の状態を再確認し問題なければコース選択画面に移行する。 ドアが開いていた場合、再度この画面を表示する。 ※乾燥延長は、乾燥延長コース選択画面に移行する。
2	戻る	機械選択画面に移行する。 ただし、乾燥延長の場合、乾燥延長機械選択画面に移行する。

【音声ガイダンス】

「ドアが開いています。ドアを閉めてからタッチしてください。」

もし、ドアが閉まらない場合、戻るボタンをタッチしてから、再度ドアを閉め直してください。」

※一定時間(画面待機時間)操作がない場合、ホーム画面に戻ります。

※画面待機時間は、[4.3.3] システム設定画面で変更できます。

画面待機時間を”0秒”に設定している場合、ドア閉画面表示のままとなります。

3.5 コース選択画面

ユーザーがコースを選択するための画面です。

この画面には、機械選択画面で選択された機械番号及び選択した機種に合わせたコースボタンを表示します。

洗濯乾燥機の“洗濯と乾燥”、“洗濯のみ”のコース名及び洗濯機の“洗濯のみ”のコース名は、コース名設定(オーナー専用設定)で選択したコース名称を表示します。

乾燥コース(乾燥機含む)に表示される乾燥時間は、選択したコース料金に対応した時間を表示します。

コース選択画面内にあるコースボタンをタッチし離され時、支払選択画面に移行します。

※機械の接続時に必ずコース名の設定を行ってください。

設定変更の詳細については[4.3.5] コース名設定画面を参照してください。

例: 洗濯乾燥機(洗濯機・乾燥機の場合は画面が異なります)

※設定データの書き込みを行うと、コース3のコース名が消えしまうので、再度コース名を設定してください。設定データの書き込みについては、[6.8.2]設定データ操作方法を参照してください。

コース名は、コース名設定(オーナー専用設定)で選択したコース名を表示します。

【ボタン説明】

1	1コース(洗乾)	支払選択画面に移行する。
2	2コース(洗乾)	支払選択画面に移行する。
3	3コース(洗乾／洗濯)	支払選択画面に移行する。
4	決定(乾燥)	乾燥料金を確定し、支払選択画面に移行する。
5	△	乾燥料金ボタンを1つ下げる。
6	▽	乾燥料金ボタンを1つ上げる。
7	戻る	機械選択画面に移行する。
8	中止	ホーム画面に移行する。

【表示】

1	洗濯と乾燥	コースに対応した名称及び料金を表示する。
2	洗濯のみ	コースに対応した名称及び料金を表示する。
3	乾燥のみ	100円単位の料金に対応した時間を表示する。

【音声ガイダンス】

「ご希望のコースを選んでください。」

※乾燥時間の追加など、複数のコースを組み合わせた選択はできません。

※コース名表示は、オーナー専用設定で変更できます。

※コース金額は、選択した機械から得た情報を元に表示します。

※乾燥料金ボタンは、100円～900円までで尚且つ90分を超えない範囲となります。

※一定時間(画面待機時間)操作がない場合、ホーム画面に戻ります。

※画面待機時間は、[4.3.3] システム設定画面で変更できます。

画面待機時間を”0秒”に設定している場合、コース選択画面表示のままとなります。

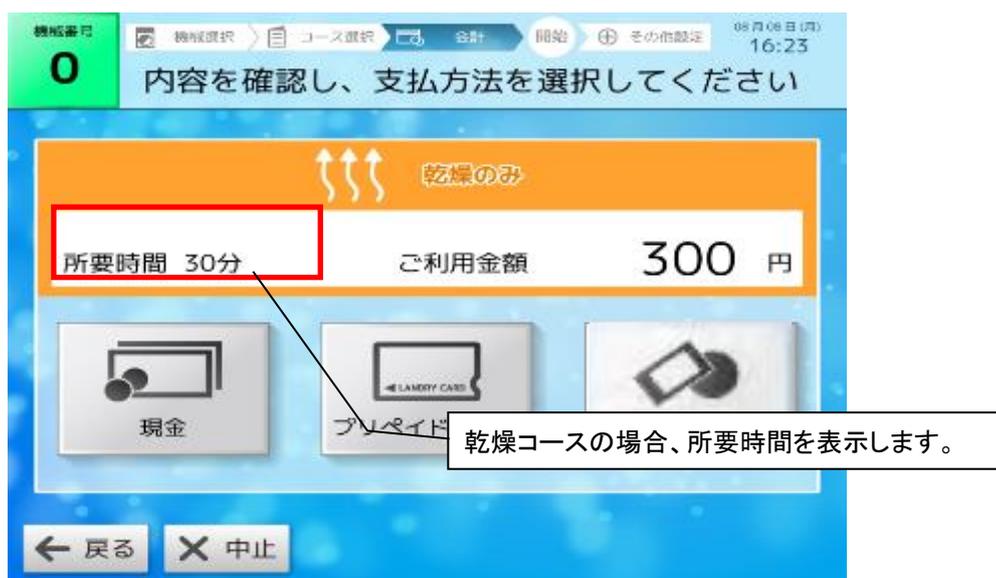
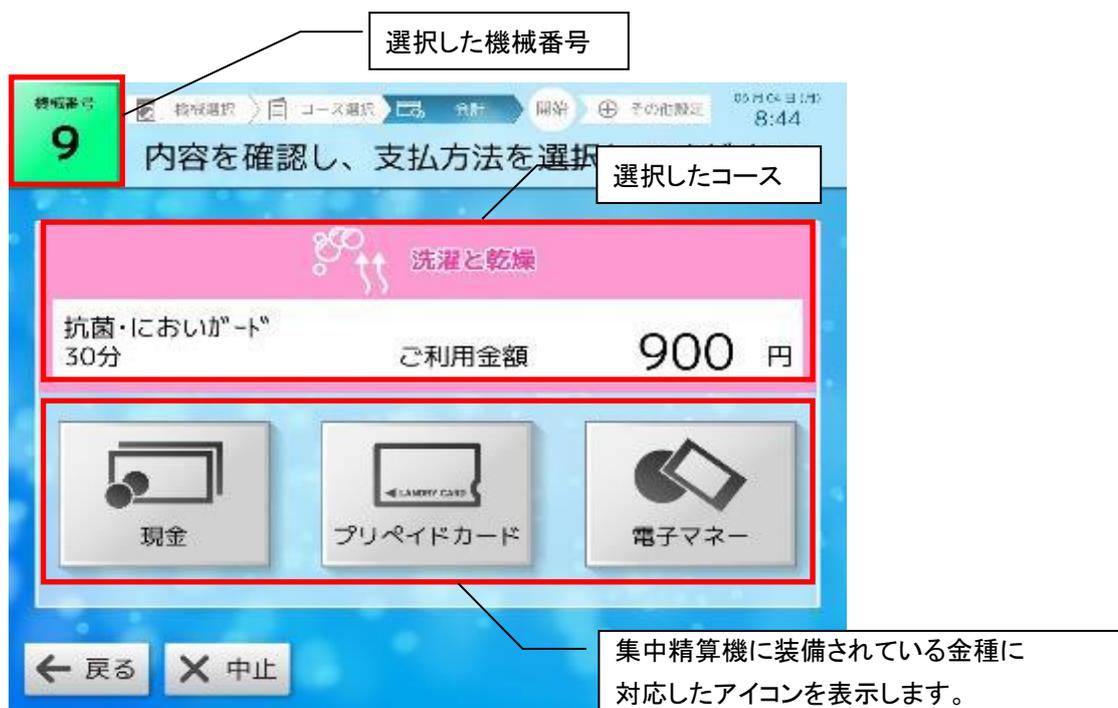
3.6 会計画面

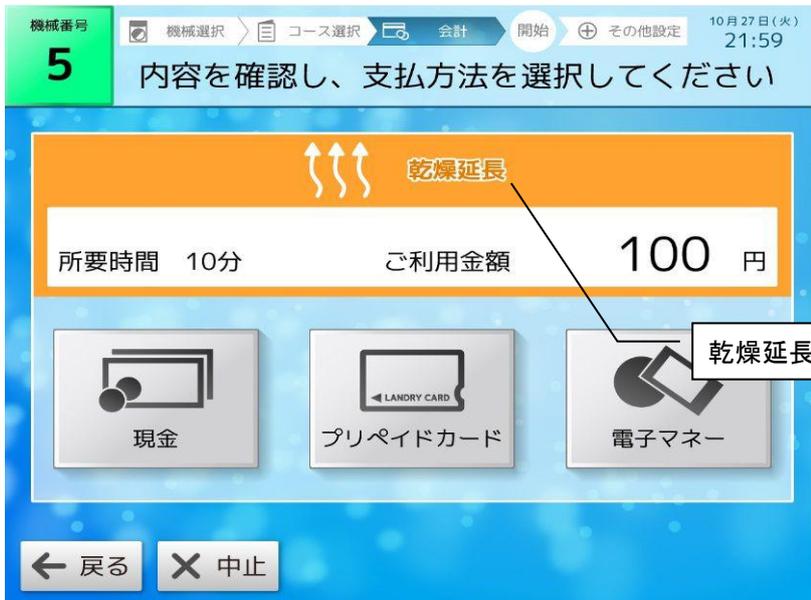
3.6.1 支払選択

ユーザーが支払方法を選択する画面です。

この画面には、選択された機械番号、コース名、所要時間、ご利用金額を表示します。

支払選択画面内にある金種ボタン(現金/プリペイドカード/電子マネー(オプション))をタッチすることで、選択した金種に対応した支払画面に移行します。





【ボタン説明】

1	現金	現金支払画面に移行する。
2	プリペイドカード	プリペイドカード支払画面に移行する。
3	電子マネー (オプション)	電子マネー選択画面に移行する。 ※電子マネーが設置されていない場合は、 このアイコンは表示されません。
4	戻る	機械側で現金が投入されている時： 機械選択画面に移行する。 機械側で現金が投入されていない時： コース選択画面に移行する。
5	中止	ホーム画面に移行する。

【表示】

1	コース名	選択されたコース名を表示する。
2	所要時間	選択されたコースの全工程時間を表示する。
3	ご利用金額	選択されたコースの料金を表示する。

【音声ガイダンス】

「支払方法を選んでください。」

☆電子マネー端末が利用できない時

精算機の電源立ち上げなどで電子マネー端末が一時的に利用できない時に、

電子マネー をタッチすると、下記音声ガイダンスを流し支払画面に移行しません。

【音声ガイダンス】

「現在、ご利用できません。」

※一定時間(画面待機時間)操作がない場合、ホーム画面に戻ります。

※画面待機時間は、[4.3.3] システム設定画面で変更できます。

画面待機時間を”0秒”に設定している場合、支払選択画面を表示したままとなります。

3.6.2 支払

ユーザーがご利用金額を確認し、精算・決済を行う画面です。

この画面には、選択された機械番号、ご利用金額、投入金額、不足金額を表示します。

精算が終了(決済)し正常に機械運転を開始した時、終了・サービス画面に移行します。

ただし、精算した機械のドアが開いていた場合、ドア開画面を表示します。

また、精算した機械でトラブルが発生していた場合、トラブル発生画面を表示します。

1.支払選択画面で現金・プリペイドカードを選択した場合

1-1 現金支払い



【音声ガイダンス】

「現金を入れてください。」

支払選択画面で現金を選択した場合

現金を投入してください。

100円以上投入され、次の現金投入が一定時間(3秒)行われない場合に「残りの支払い方法を選択」が表示されます

「残りの支払い方法を選択」をタッチすると、2-1現金マルチテンド画面に移行します。

「戻る」にタッチすると支払選択画面に戻りますが、100円以上投入されている場合、このボタンは無効となります。

「×中止」にタッチすると、5-1中止画面に移行します。

ご利用金額分の現金が投入されると、終了・サービス画面に移行します。

1-2 プリペイドカード支払画面



【音声ガイダンス】

「プリペイドカードを入れてください。」

支払選択画面でプリペイドカードを選択した場合

プリペイドカードを挿入してください。

プリペイドカードの残高が足りない場合、2-2プリペイドカードマルチテンド画面に移行します。

「戻る」にタッチすると、支払選択画面に戻ります。

「×中止」にタッチすると、5-1中止画面に移行します。

お支払残高分の金額引き落としが完了後、プリペイドカード:終了・サービス画面に移行します。

2-1 現金マルチテンド画面



【音声ガイダンス】

「支払い方法を選んでください。」

他の支払い方法を選択できます。

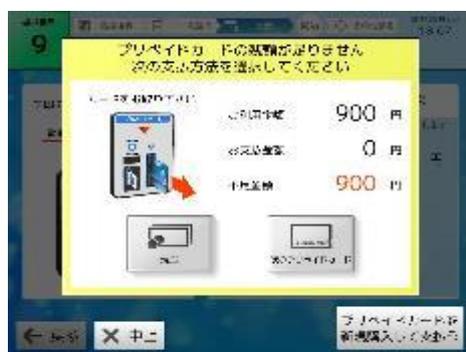
プリペイドカード にタッチすると、
3-2プリペイドカード残額画面に移行します。

←戻る にタッチすると、1-1現金支払画面に戻ります。

×中止 にタッチすると、5-1中止画面に移行します。

※電子マネーによるマルチテンドは出来ません。

2-2 プリペイドカードマルチテンド画面



【音声ガイダンス】

「支払い方法を選んでください。」

「また、プリペイドカードを

購入される方は、

プリペイドカードを新規購入して

支払うボタンをタッチしてください。」

他の支払い方法を選択できます。

現金 にタッチすると、3-1現金残額画面に移行します。

次のプリペイドカード にタッチすると、
3-2プリペイドカード残額画面に移行します。

×中止 にタッチすると、5-2プリペイドカード中止画面へ移行します。

プリペイドカードを新規購入して支払う にタッチすると
4-1新規プリペイドカード支払画面へ

※電子マネーによるマルチテンドは出来ません。

3-1 現金残額画面



【音声ガイダンス】
「現金を入れてください。」

現金を投入してください。
100円以上投入され、次の現金投入が一定時間(3秒)行われない場合に「残りの支払い方法を選択」が表示されます

「残りの支払い方法を選択」にタッチすると、
2-1現金マルチテンド画面に移行します。

「戻る」にタッチすると、前画面に戻ります。

「×中止」にタッチすると、5-1精算中止画面に移行します。
ただし、支払金額の一部でもプリペイドカードで精算されている場合は
5-2プリペイドカード中止画面に移行します。

ご利用金額分の現金が投入されると、
現金:終了・サービス画面に移行します。

3-2 プリペイドカード残額画面



【音声ガイダンス】
「プリペイドカードを入れてください」

プリペイドカードを挿入してください。
プリペイドカードの残高が足りない場合、
2-2プリペイドカードマルチテンド画面に戻ります。

「戻る」にタッチすると、前画面に戻ります。

「×中止」にタッチすると、5-1現金精算中止画面に移行します。
ただし、支払金額の一部でもプリペイドカードで精算されている場合は
5-2プリペイドカード中止画面に移行します。

お支払残高分の金額引き落としが完了後、
プリペイドカード:終了・サービス画面に移行します。

4-1 新規プリペイドカード支払画面



戻る にタッチすると2-2プリペイドカードマルチテンド画面に移行します
※現金が投入された場合、このボタンは無効となる。

中止 にタッチすると5-2プリペイドカード中止画面に移行します

※一定時間(精算待機時間)操作がない場合、
2-2プリペイドカードマルチテンド画面に戻ります。

【音声ガイダンス】

「現金を入れてください。」

4-2 新規プリペイドカード販売終了画面



現金による精算が終了しカードが発券されたことを案内する画面である。

領収書発行 にタッチすると
4-3新規プリペイドカード販売領収書発行画面に移行する。
※ただし、プリンター異常発生中(ニアエンド以外)は、
領収書発行不可画面に移行します。

残額支払へ にタッチすると
2-2プリペイドカードマルチテンド画面に移行します

「プリペイドカードが発券されました。
お取り忘れにご注意ください。」

「また、領収書をご希望の方は、
領収書発行ボタンをタッチしてください。」

※一定時間(終了画面待機時間)操作がない場合、
2-2プリペイドマルチテンド画面に戻ります。

※終了画面待機時間を”0秒”に設定している場合、
現在表示している画面を表示したままとします。

4-3 新規プリペイドカード販売領収書発行画面



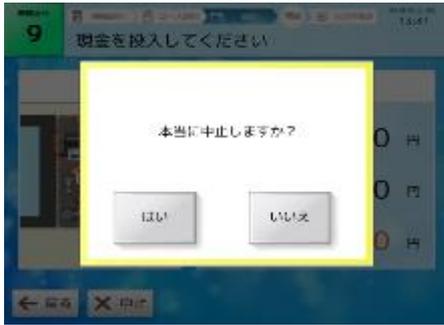
領収書が発行されたことを案内する画面です。

※領収書発行画面を一定時間(注意喚起画面待機時間)表示後、
2-2プリペイドカードマルチテンド画面に戻ります。

【音声ガイダンス】

「領収書を発行しました。
お取り忘れにご注意ください。」

5-1 中止画面



精算を中止する場合に表示します。

はい にタッチすると、[3.8.6]お取り忘れ注意画面に移行し、投入されている現金を返却します。

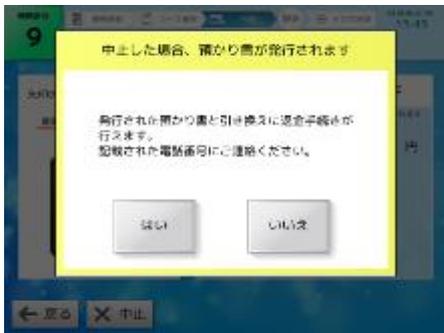
いいえ にタッチすると、前画面に戻ります。

【音声ガイダンス】

「本当に中止しますか」

5-2 プリペイドカード中止画面(預かり書発行)

①



プリペイドカードでの精算を中止する場合に表示します。
(システム設定が預かり書発行の場合)※工場出荷設定

はい にタッチすると、[3.8.6]お取り忘れ注意画面に移行し、投入されている現金と引き落としされたプリペイドカード残高の預かり書を発行します。

いいえ にタッチすると、前画面に戻ります。

【音声ガイダンス】

「本当に中止しますか」

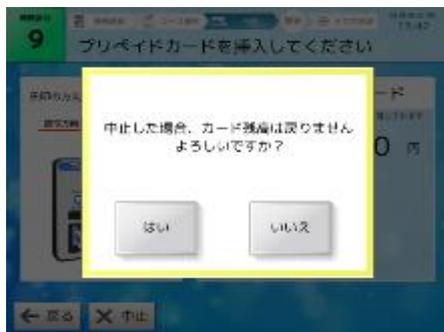
「中止した場合、預かり書が発行されます。
お取り忘れにご注意ください。」

※プリペイドカード中止画面は、オーナー専用設定画面のシステム設定より対応内容を変更できます。

[4-3-3] システム設定画面を参照してください。
(初期設定は預かり書発行となっています。)

5-2 プリペイドカード中止画面(対応無し)

②



プリペイドカードでの精算を中止する場合に表示します。
(システム設定が対応無しの場合)

はい にタッチすると、[3.8.6]お取り忘れ注意画面に移行し、投入されている現金を返却します。

引き落としされたプリペイドカード残高は戻りません。

いいえ にタッチすると、前画面に戻ります。

【音声ガイダンス】

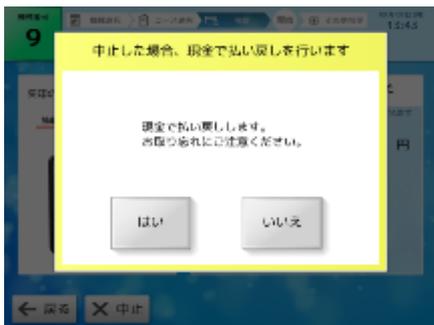
「中止した場合、カード残高は戻りません。
よろしいですか」

※プリペイドカード中止画面は、オーナー専用設定画面のシステム設定より対応内容を変更できます。

[4-3-3] システム設定画面を参照してください。
(初期設定は預かり書発行となっています。)

5-2 プリペイドカード中止画面(現金返金)

③



プリペイドカードでの精算を中止する場合に表示します。
(システム設定が現金返金の場合)

はい にタッチすると、[3.8.6]お取り忘れ注意画面に移行し、投入されている現金と引き落としされたプリペイドカード残高を現金で返却します。

いいえ にタッチすると、前画面に戻ります。

【音声ガイダンス】

「本当に中止しますか」

「中止した場合、現金で払い戻します。」

「お取り忘れにご注意ください。」

※プリペイドカード中止画面は、オーナー専用設定画面のシステム設定より対応内容を変更できます。

[4-3-3] システム設定画面を参照してください。

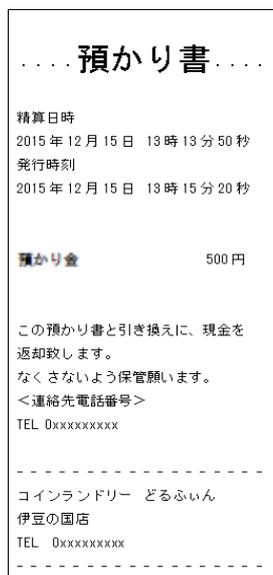
(初期設定は預かり書発行となっています。)

6 終了・サービス画面



機械の運転が開始された際に表示します。

ご利用金額以上の現金が投入された場合、おつりが返却されます。
つり銭切れの場合は、残金の預かり書を発行します。



【音声ガイダンス】

「ご利用ありがとうございました。」

現金払いの場合:

「お釣りのある方は

お取り忘れにご注意ください。」

プリペイドカード払いの場合:

「カードのお取り忘れにご注意ください。」

「洗濯終了コール、領収書発行を

ご希望の方は、コールボタンを

タッチしてください。」

洗濯終了コール・領収書発行 にタッチすると、洗濯終了コール確認画面に移行します。

終了 にタッチすると、ホーム画面に戻ります。

一定時間操作がない場合も、ホーム画面に戻ります。

2. 支払選択画面で電子マネーを選択した場合

1 電子マネー支払画面



ご希望の電子マネーを選択し、タッチしてください。
電子マネーの残額が足りない場合、
電子マネー残額不足画面に移行します。

お支払残高分の金額引き落としが完了後、
電子マネー: 終了・サービス画面に移行します。

←戻る にタッチすると、支払選択画面に戻ります。

×中止 にタッチすると、精算中止画面に移行します。

【音声ガイダンス】

「ご希望の電子マネーを選択し、
タッチしてください。」

2 電子マネー再タッチ画面



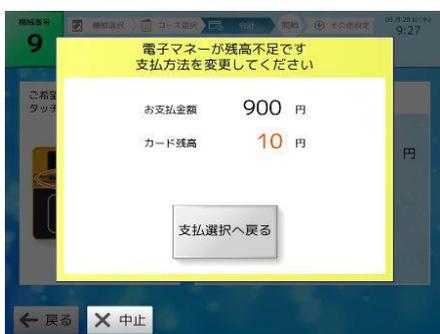
電子マネーの処理が出来なかった場合に表示します。
もう一度電子マネーをタッチしてください。

※再タッチしてもエラーとなった場合処理未了タイムアウト画面に
移行します。

【音声ガイダンス】

「タッチしてください。」

3 電子マネー残額不足画面



電子マネーの残額が足りない場合に表示します。

支払選択に戻る にタッチすると、支払選択画面に戻ります。

×中止 にタッチすると、中止画面へ移行します。

※電子マネーでは、マルチテンドは出来ません。

※ボタンが押されるまで、現在表示されている画面を表示したままとする

【音声ガイダンス】

「電子マネーの残額が足りません」
「支払い方法を変更してください。」

4 電子マネー: 終了・サービス画面



機械の運転が開始された際に表示します。

電子マネーの残高が表示されます。

洗濯終了コール・領収書発行にタッチすると、洗濯終了コール確認画面に移行します。

終了にタッチすると、ホーム画面に戻ります。

【音声ガイダンス】

「ご利用ありがとうございました。」

「洗濯終了コール、領収書発行を
ご希望の方は、コールボタンを
タッチしてください。」

一定時間操作がない場合も、ホーム画面に戻ります。

※電子マネーによる精算時に、カード決済処理未了が発生した時は、下記対応を行ってください。

nanaco・QUICPay・WAON・楽天Edyの対応

・カード決済

↓

・未了タイムアウト発生

↓

・レシートを発行(電子マネー名、ID番号、日時等、取引金額、残額等)

↓

・利用者が緊急連絡先(担当者)に連絡して、レシートに記載された残額を確認

↓

・利用者にカードをかざして残額確認を行って頂く

↓

・残金額が未了発生時のレシートと同額の場合、返金なし

一致しなかった場合(再度同金額がひかれていた場合)返金する

3.7 その他設定画面

機械の運転開始後に、洗濯終了コール・領収書発行の設定をする画面です。

1 洗濯終了コール確認画面



【音声ガイダンス】
「洗濯終了コールを利用しますか。」

洗濯終了コールを利用するかを選択です。

はい にタッチすると、電話番号登録画面に移行します。

いいえ にタッチすると、領収書発行確認画面に移行します。

終了 にタッチすると、ホーム画面に戻ります。

一定時間操作がない場合も、ホーム画面に戻ります。

2 電話番号登録画面



【音声ガイダンス】
「連絡する電話番号を入力後、
登録ボタンをタッチしてください。」

洗濯終了前コールを利用する電話番号を入力します。

0～9 で電話番号を入力、

×クリア で入力した電話番号を消去します。

登録 にタッチすると、領収書発行確認画面に移行します。

ただし、発信できない電話番号と検出した場合は
電話番号入力間違い画面に移行します。

機械トラブル等で洗濯終了コールサービスを利用できない場合は、
洗濯終了コール中止画面に移行します。

←戻る にタッチすると、洗濯終了コール確認画面に戻ります。

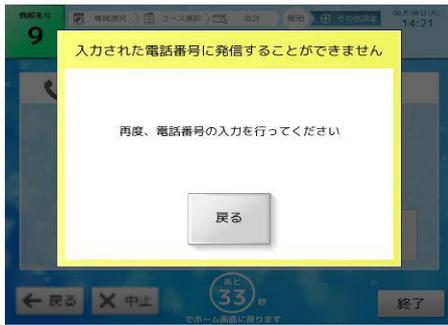
終了 にタッチすると、ホーム画面に戻ります。

一定時間操作がない場合も、ホーム画面に戻ります。

<発信できない電話番号>

1. 電話番号の入力総桁数が、10桁又は11桁以外の電話番号
2. 入力電話番号の頭が“0”以外の電話番号
3. 電話番号の頭4桁の電話番号が“0120”の場合

3 電話番号入力間違い画面



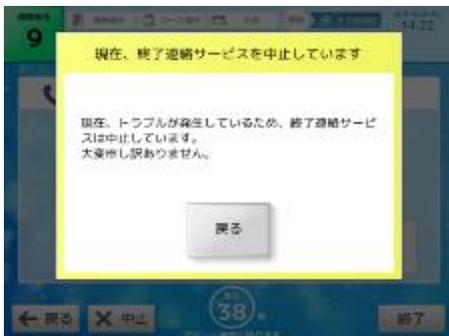
入力した電話番号が発信できない番号の場合に表示します。

戻る にタッチすると、電話番号登録画面に戻ります。

【音声ガイダンス】

「入力した電話番号に発信することができません。再度入力を行ってください。」

4 洗濯終了コール中止画面



洗濯終了コールが利用できない場合に表示します。

戻る にタッチすると、領収書発行確認画面に移行します。

【音声ガイダンス】

「現在、洗濯終了コールを中止しています。」

5 領収書発行確認画面



領収書を発行するかを選択です。

はい にタッチすると、領収書発行画面に移行します。

いいえ にタッチすると、ホーム画面に戻ります。

終了 にタッチすると、ホーム画面に戻ります。

【音声ガイダンス】

「領収書を発行しますか。」

一定時間操作がない場合も、ホーム画面に戻ります。

6 領収書発行画面



領収書が発行された際に表示する画面です。

領収書発行画面を一定時間(注意喚起画面待機時間)表示後、ホーム画面に戻る。

※領収書に記載される利用金額は、集中精算機で精算した金額となります。機械側で投入された金額は反映されません。

「領収書を発行しました。」

「お取り忘れにご注意ください。」

1. 現金精算時の領収書

現金で精算した時、この領収書が発行されます。

<p>..... 領収書</p>	<p>【号機】 使用した機械番号を印刷する。</p>
<p>発行日時：2017/10/15 13:15</p>	<p>【コース/料金】 使用したコース、料金を印刷する。 ※乾燥機は、1コースとする。</p>
<p>[1号機] 1コース金額： 1,200円</p>	<p>【金種名/精算料金】 金種名、精算料金を印刷する。</p>
<p>精算内訳) 現金 : 1,200円 合計： 1,200円</p>	<p>【店名】 集中精算機内に登録した店舗名を印刷する。</p>
<p>----- コインランドリー どんふいん 伊豆の国店 TEL 0xxxxxxxxx -----</p>	<p>【店舗の電話番号】 店舗の電話番号に設定されている電話番号を印刷する。</p>

2. nanaco

nanaco(電子マネー)で精算した時、この領収書が発行されます。

.....領収書.....	
発行日時 : 2017/10/05 08:53	
[1号機]	
4コース金額 :	200 円
精算内訳)	
電子マネー :	200 円
合計 :	200 円

nanacoご利用明細	
カード支払額	100 円
カード残額	49151 円
(*****5311)	

上位端末 ID	46100016600000000032
	161

コインランドリー どるふいん	
伊豆の国店	
TEL	0xxxxxxxxx

3. QUICPay

QUICPay(電子マネー)で精算した時、この領収書が発行されます。

.....領収書.....	
発行日時 : 2017/10/05 08:53	
[1号機]	
4コース金額 :	200 円
精算内訳)	
電子マネー :	200 円
合 計 :	200 円

QUICPayご利用明細	
カード支払額	100 円
(*****5311)	

コインランドリー どるふいん	
伊豆の国店	
TEL	0xxxxxxxx

3.8 その他

3.8.1 調整中画面

トラブルが発生した時に集中精算機が利用できないことを案内する画面です。

トラブル解除すると、ホーム画面に戻ります。

トラブル発生時の対応については、[7]トラブルシューティングを参照してください。

また、隠しボタンにより、オーナー専用設定に入ることが出来ます。



【ボタン説明】

1	隠しボタン	オーナー専用設定に入るためのボタン。
---	-------	--------------------

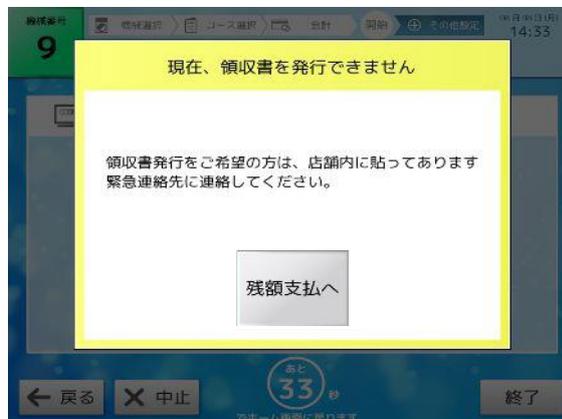
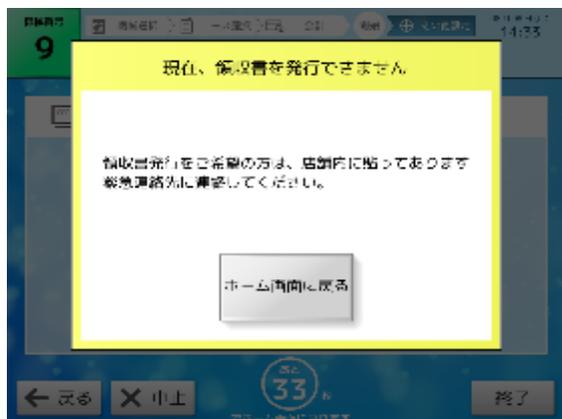
※隠しボタンの有効時間は5秒となっています。隠しボタン入力後、再度ボタンが押されるまでに5秒以上経過した場合、最初に押した隠しボタンは無効となります。

3.8.2 領収書発行不可画面

領収書確認画面、発券終了画面及びマルチ発券終了画面で領収書発行を選択した時、プリンター用紙がない時に表示する画面です。

マルチカード販売終了画面で領収書発行を選択した時、領収書発行できない場合、

「ホーム画面に戻る」ボタンでなく「残額支払へ」ボタンを表示します。



【ボタン説明】

1	ホーム画面に戻る	ホーム画面に移行する。
2	残額支払へ	<プリペイドカード新規販売終了画面経由のみ> プリペイドカードマルチテンド画面に移行する。

【音声ガイダンス】

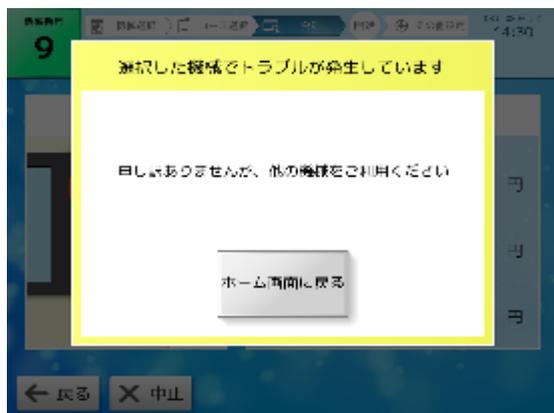
「現在、領収書を発行できません。」

「領収書発行をご希望の方は、緊急連絡先に連絡してください。」

※ボタンが押されるまで、現在表示されている画面を表示したままとするまとなります

3.8.3 利用不可画面

機械選択画面で選択した機械が利用できない(機械番号選択前に別の利用者が機械を使用してしまった時又は、機械でトラブルが発生した時)に表示する画面です



【ボタン説明】

1	ホーム画面に戻る	ホーム画面に移行する。
---	----------	-------------

【音声ガイダンス】

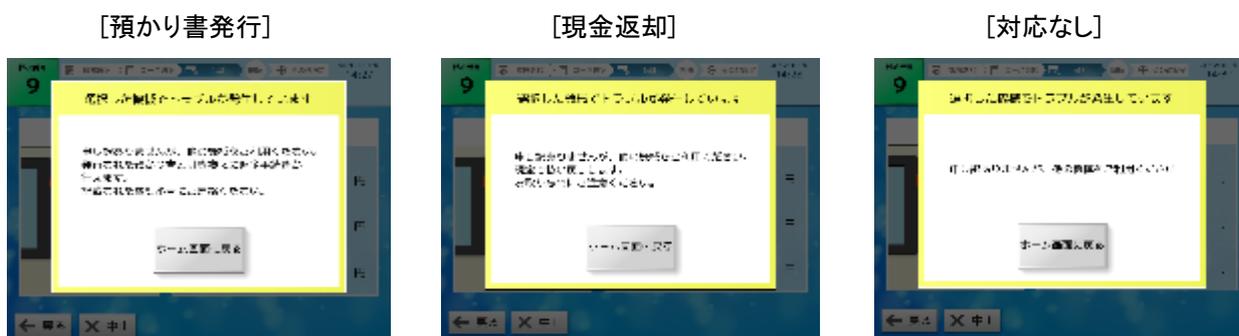
「選択した機械は利用できなくなりました。」

「申しわけありませんが、他の機械をご利用ください。」

※ボタンが押されるまで、現在表示されている画面を表示したままとするまとなります

3.8.4 トラブル発生画面

精算終了し選択した機械に運転開始を指示した時、
機械側でトラブルが発生していた場合に表示する画面です。



【ボタン説明】

1	ホーム画面に戻る	<p>“対応なし”の場合 ホーム画面に移行する。 “預かり書”・“現金返却”の場合 現金・預かり書お取り忘れ画面に移行する</p>
---	----------	---

【音声ガイダンス: 全設定共通】

「選択した機械でトラブルが発生しました。」

「申しわけありませんが、他の機械をご利用ください。」

〈預かり書の場合〉

「また、預かり書が発行されます。」

「お取り忘れにご注意ください。」

〈現金の場合〉

「また、現金で払い戻します。」

「お取り忘れにご注意ください。」

※トラブル発生発生画面は、オーナー専用設定画面の

システム設定より対応内容を変更できます。

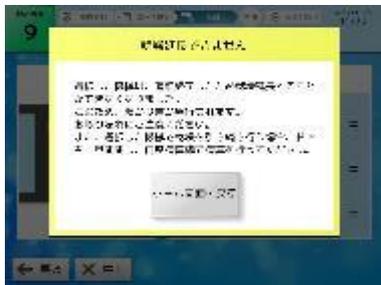
[4.3.3] システム設定画面を参照してください。

(初期設定は預かり書発行となっています。)

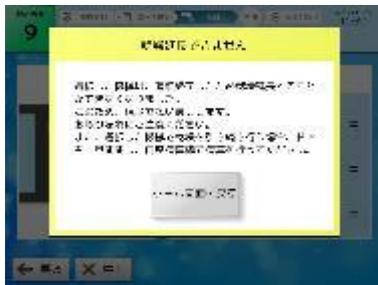
3.8.5 乾燥延長不可画面

精算終了し選択したランドリー機に乾燥延長を指示した時、ランドリー機側で運転終了に伴い乾燥延長ができない場合に表示する画面です。

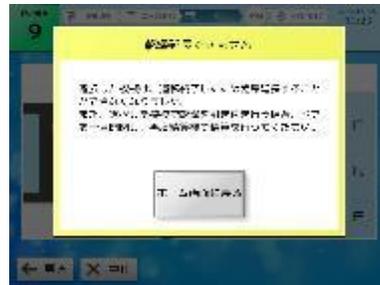
[預かり書発行]



[現金返却]



[対応なし]



【ボタン説明】

1	ホーム画面に戻る	お取り忘れ画面に移行する。 ただし、該当するお忘れ物がない場合、 ホーム画面に移行する。
---	----------	--

【音声ガイダンス:全設定共通】

選択した機械は、運転が終了したため乾燥延長することができなくなりました。

〈預かり書の場合〉

「このため、預かり書が発行されます。

お取り忘れにご注意ください。

また、選択した機械で乾燥を引き続き行う場合、ドアを一旦開閉し、再度精算機で精算を行ってください。」

〈現金返却の場合〉

「このため、現金で払い戻します。

お取り忘れにご注意ください。

また、選択した機械で乾燥を引き続き行う場合、ドアを一旦開閉し、再度精算機で精算を行ってください。」

※トラブル発生発生画面は、オーナー専用設定画面の

システム設定より対応内容を変更できます。

[4.3.3] システム設定画面を参照してください。

(初期設定は預かり書発行となっています。)

※ボタンが押されるまで、現在表示されている画面を表示したままとなります。

※現金で支払った分は、設定に関係なく現金で返却されます。

3.8.6 お取り忘れ注意画面

精算途中(10円以上挿入されている状態)で中止した時・精算終了し機械側の運転開始時に機械側でトラブルが発生していた場合に表示します。

お忘れ物注意画面内の表示は、中止した時の精算状況等に合わせた画面となります。



【音声ガイダンス】

<現金精算中に中止した場合>

現金のお取り忘れにご注意ください。

<プリペイドカード精算中に中止した場合>

カードのお取り忘れにご注意ください。

<預かり書が発行される場合>

預かり書のお取り忘れにご注意ください。

<プリペイドカード精算中に中止し預かり書を発行した場合>

カード・預かり書のお取り忘れにご注意ください。

<プリペイドカード精算中に中止し現金で返却される場合>

現金・カードのお取り忘れにご注意ください。

<現金+プリペイドカードによる精算中に中止し現金で返却される場合>

現金・カードのお取り忘れにご注意ください。

<現金+プリペイドカードによる精算中に中止し預かり書で返却される場合>

現金・カード・預かり書のお取り忘れにご注意ください。

☆釣銭切れが発生した場合

釣銭切れが発生しました。

預かり書が発行されます。お取り忘れにご注意ください。

☆釣銭切れで預かり書を発行する際、プリンター異常が発生した場合

現在預かり書が発行できません。

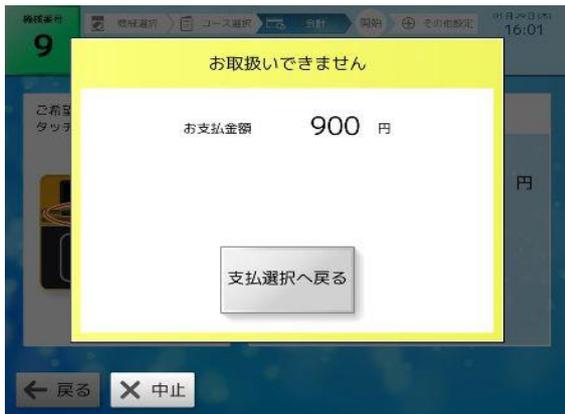
緊急連絡先に連絡してください。

※投入された現金は、原則現金で払い戻します。

※一定時間(注意表示時間)表示後、ホーム画面に戻ります。

3.8.7 お取扱い不可画面

電子マネー支払時にカードの取り扱いができない時に表示されます。



【表示】

1	お支払金額	支払いた金額
---	-------	--------

【ボタン説明】

1	支払選択へ戻る	支払選択画面に戻る。
2	中止	中止画面(ポップアップ)を表示する。

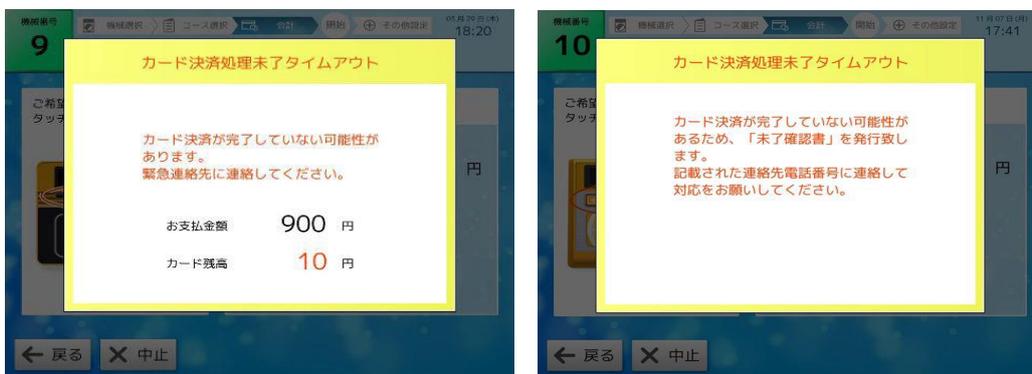
【音声ガイダンス】

「お取扱いできません。」

※ボタンが押されるまで、現在表示されている画面を表示したままとなります。

3.8.8 処理未了タイムアウト画面

電子マネーの処理未了(電子マネー機器にカードをかざしてカード決済処理が完了する前にカードを機器から離れた時)タイムアウトを検出した時に案内する画面です。



【音声ガイダンス】

〈交通系〉

「カード決済が完了していない可能性があります。連絡先電話番号に連絡してください。」

〈流通系〉

「カード決済が完了していない可能性があるため、「未了確認書」を発行致します。

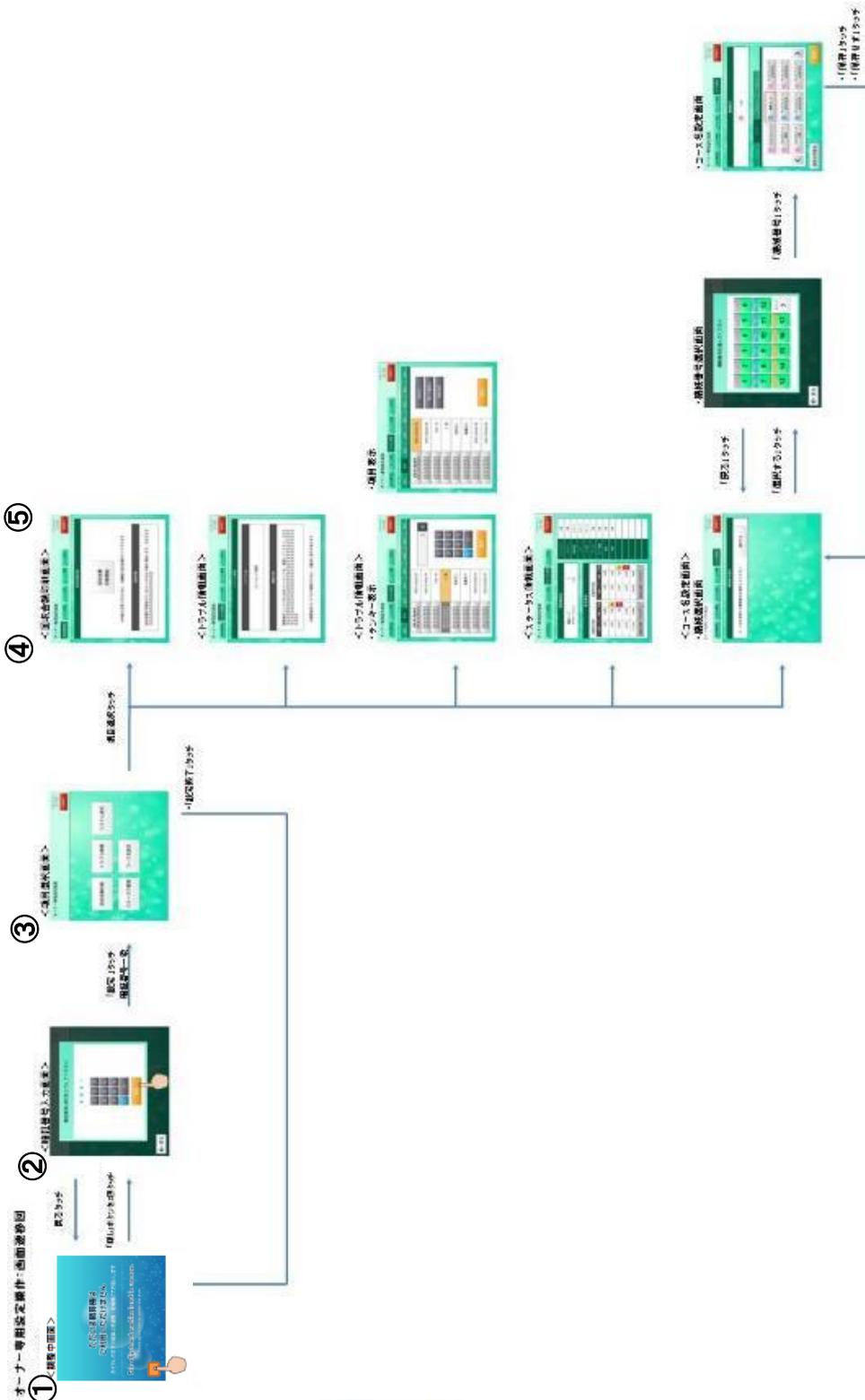
記載された連絡先電話番号に連絡して対応をお願いしてください。」

4. オーナー専用設定画面

■ユーザー操作画面での操作手順(例)

- ① ホーム画面で、隠しボタンを二回押し、暗証番号入力画面を表示させます。
- ② 暗証番号を入力します。
- ③ 項目を選択します。
- ④ 各項目の設定の変更をします。
- ⑤ 各項目の設定が終了したら、「設定終了」ボタンを押し、操作終了です。

※操作の詳細については、次ページからの各項目を参照してください。



4.1 オーナー専用設定に入る方法について

オーナー専用設定画面では、本機の画面に表示するコース名の設定・精算に関するステータス情報表示などの設定を変更できます。

オーナー専用設定は、下記通りの手順で入ることができます。

<手順>

調整中画面：左下側にある  (隠しボタン) を2回タッチする。



【ボタン説明】

1	隠しボタン	オーナー専用設定に入るためのボタン。
---	-------	--------------------

※隠しボタンの有効時間は5秒となっています。隠しボタン入力後、再度ボタンが押されるまでに5秒以上経過した場合、最初に押した隠しボタンは無効となります。

4.2 暗証番号入力画面(ポップアップ画面)

オーナー暗証番号の確認を行うための画面です。

入力した暗証番号と登録されている暗証番号が一致すると項目選択画面(オーナー専用設定)に移行します。

※工場出荷時の初期暗証番号は「0000」に設定されています。

暗証番号は[4.3.3] システム設定画面にて変更できます。

また、THS-300のネット店舗管理システムでも、変更できます。

詳細については、THS-300 Web操作仕様書の[5-4-1] ハローコールシステムを参照してください。



【ボタン説明】

1	0~9	番号を入力する。
2	確認	暗証番号が一致した場合、項目選択画面に移行する。
3	C	入力された暗証番号を消去する。
4	戻る	ホーム画面に戻る。

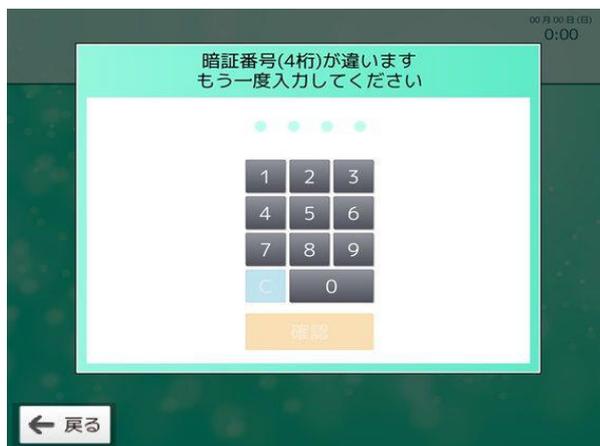
【表示】

1	暗証番号	入力した4桁の暗証番号を表示する。 ※ボタンを離した時、●表示に切り替わる。
---	------	---

☆暗証番号が一致しない場合

暗証番号が一致しなかった場合、入力された暗証番号は消去されますので、

再度暗証番号を入力してください。



4.3 項目選択画面

オーナー専用設定で変更する項目を選択する画面です。



【ボタン説明】

1	回収金額印刷	回収金額印刷画面に移行する。
2	トラブル情報	トラブル情報画面に移行する。
3	システム設定	システム設定画面に移行する。
4	ステータス情報	ステータス情報画面に移行する。
5	コース名設定	コース名設定画面に移行する。
6	設定終了	データ保存後、ホーム画面に移行する。 ※一部データは、TOSNET端末に通信で送信する。

4.3.1 回収金額印刷画面

店舗内にあるランドリー機(TOSNET端末に接続されているランドリー機)が保持している回収金額データを印刷するための画面です。

回収金額の印刷が行われると各ランドリー機で保持している回収金額データはクリアされます。

精算機側の回収金額については、保守用タッチパネルで行います。



【ボタン説明】

1	回収金額印刷開始	回収金額印刷を開始する。
---	----------	--------------

【表示】

1	印刷状態	現在の印刷状態を表示する。
---	------	---------------

<情報内容>

待機中	回収金額印刷開始ボタンをタッチすると印刷を開始します。
データ収集中	現在、データ収集中
印刷中	印刷中
データクリア中	データクリア中
終了	正常に回収金額印刷を行いました。 ※5秒間表示後、待機中に移行する。
ペーパートラブル	印刷する用紙が詰まっている又は用紙がなくなりました。
データ収集失敗	データ収集に失敗しました。
データクリア失敗	データクリアに失敗しました。

印刷するために必要なデータは、TOSNET端末(THS-300)側から取得します。

...売上回収金額...

前回回収日時:2015/12/13 12:30
今回回収日時:2015/12/15 13:15

1号機
現金 : 15,300円
100円硬貨 : 53枚
500円硬貨 : 20枚

2号機
現金 : 15,500円
100円硬貨 : 105枚
500円硬貨 : 10枚

~

10号機
現金 : 10,300円
100円硬貨 : 103枚
500円硬貨 : 0枚

合計
現金 : 80,500円
100円硬貨 : 555枚
500円硬貨 : 50枚

コインランドリー どんふいん
伊豆の国店
TEL 0xxxxxxxxx

【前回回収日時】
TOSNET端末から取得した日時を印刷

【今回回収日時】
印刷開始した日時を印刷(集中精算機の時刻参照)

【回収金額情報】
TOSNET端末から取得した情報を印刷

4.3.2 トラブル情報画面

集中精算機で発生しているトラブル名及び確認内容を確認する画面です。



【表示】

1	トラブル名	精算端末側で発生しているトラブル名を表示する。
2	確認内容	確認内容を表示する。

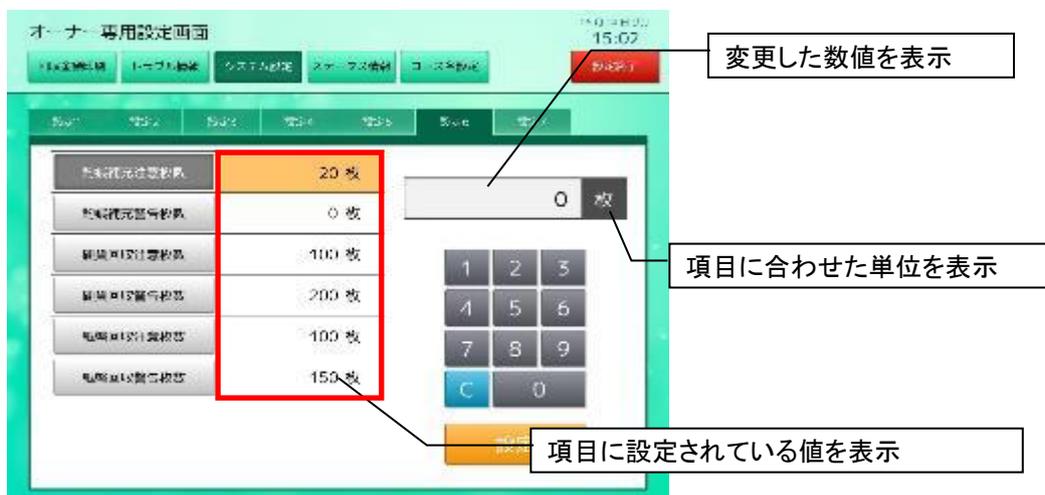
【表示内容】

No.	トラブル名	確認内容
1	正常	現在、精算機は正常に動作しています
2	コインメック異常	精算端末ユニット内にあるコインメックを、確認してください <ul style="list-style-type: none"> ・コインチューブがしっかりセットされていない ・釣銭硬貨不足 ・硬貨詰まり ・制御基板の故障 ・払出し駆動部の異常
3	ビルバリ異常	ビルバリを確認してください <ul style="list-style-type: none"> ・紙幣詰り ・スタッカーが異常 ・紙幣の払い出しに失敗 ・紙幣金庫が満杯 ・紙幣金庫が開いている ・紙幣識別部の異常 ・制御基板の故障
4	硬貨金庫異常	硬貨金庫を確認してください <ul style="list-style-type: none"> ・硬貨金庫が満杯 ・硬貨金庫がセットされていない ・硬貨金庫のセンサー異常
5	ドア異常	ドアを確認してください <ul style="list-style-type: none"> ・ドアセンサーの故障 ・ドアが開いている
6	ドア鍵異常	ドア鍵を確認してください <ul style="list-style-type: none"> ・ドア鍵センサーの故障 ・ドアが開いている
7	プリンタ異常	プリンタを確認してください <ul style="list-style-type: none"> ・用紙なし ・ニアエンドなど
8	カード機器異常	カード機器を確認してください <ul style="list-style-type: none"> ・プリペイドカードの残枚数がカード不足枚数になった時 ・プリペイドカードが1枚もない ・電子マネー機の通信異常
9	盗難	盗難情報を確認してください <ul style="list-style-type: none"> ・ドア閉及びドア鍵閉の時、ドア鍵が開いた時
10	停電	停電中です <ul style="list-style-type: none"> ・停電が発生し復旧した時

4.3.3 システム設定画面

暗証番号設定、ハローコール設定及び集中精算機～TOSNET端末の通信設定など、各種設定を変更する画面です。
また、各項目の設定値を変更するエリアは、選択した項目に対応したボタンとなります。

[テンキー:値を直接入力する時]



[項目ボタン:設定内容を選択する時]



【ボタン】

1	設定1～設定7	選択した設定グループの画面を表示する。
2	項目名	選択した設定グループの各項目名を表示する。
3	0～9	設定値を入力する。
4	C	入力した値をクリアする。
5	設定	入力した値を登録する。
6	選択項目ボタン	選択内容が記載されたボタンを表示する。

【表示】

1	項目設定値	洗濯された設定グループの項目に対応した設定値を表示する。
2	変更値	入力した設定値を表示する。

☆システム設定の流れについて

<テンキー操作による設定値変更の場合>

電話番号など直接数値を入力する場合、テンキーで入力します。



【操作手順】

①設定グループを選択します。

②項目を選択します。

選択されている項目の設定値の背景色はオレンジ色になります。

③テンキーで値を入力します。

④設定ボタンをタッチします。

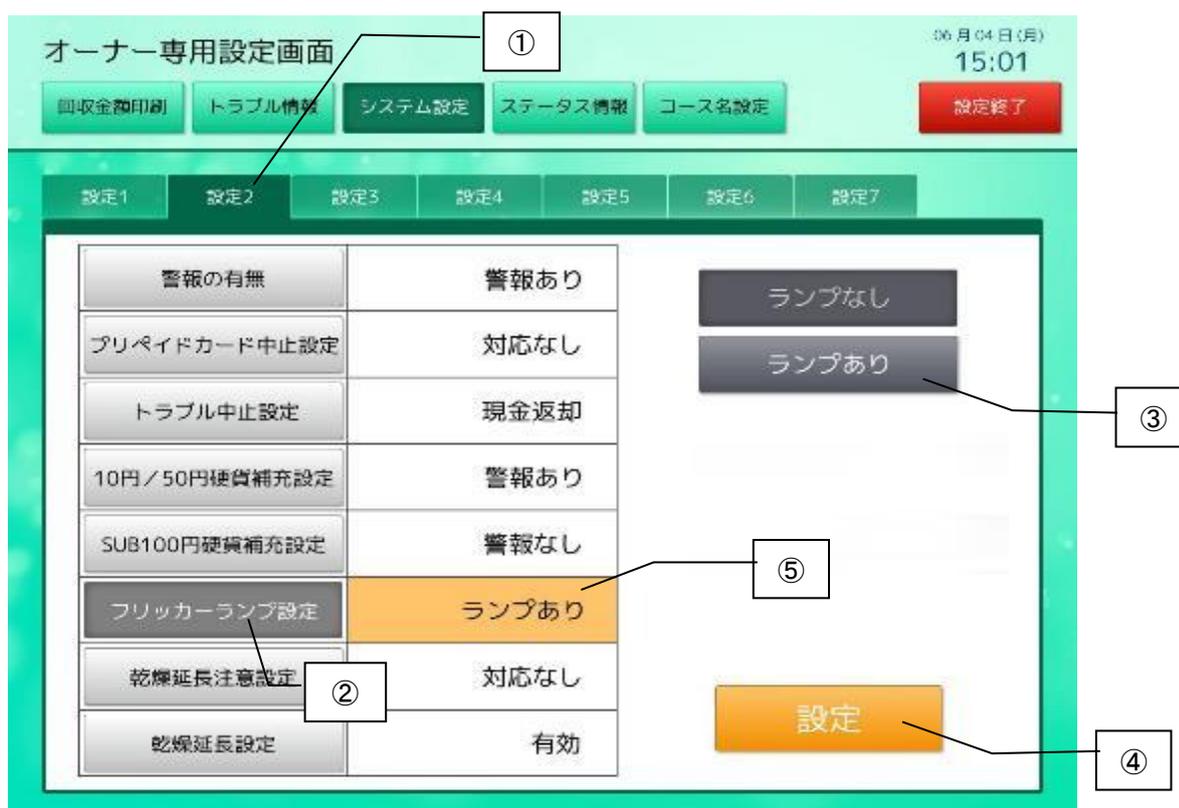
変更した値を保存します。

⑤変更した値を、設定値に表示します。

※テンキー上にある **C** をタッチした場合、入力した値をクリアします。

<項目ボタンによる設定値変更の場合>

決まった項目を選択する場合、表示されている項目ボタンから選択します。



【操作手順】

①設定グループを選択します。

②項目名を選択します。

選択されている項目の設定値の背景色はオレンジ色になります。

③右側の項目ボタンを選択します。

④設定ボタンをタッチします。

変更した値を保存します。

⑤変更した内容を、設定値に表示します。

☆システム設定の設定範囲

グループ	項目名	設定範囲	初期値(工場出荷時)
設定1	通報: 第1電話番号		---
	通報: 第2電話番号		---
	オーナー暗証番号	0000~9999	0
	終了前コール時間	5分~25分	5分
設定2	警報の有無	0:警報なし 1:警報あり	1:警報あり
	プリペイドカード中止設定	0:対応なし 1:預かり書 2:現金返金	1:預かり書
	トラブル中止設定	0:対応なし 1:預かり書 2:現金返金	1:預かり書
	10円/50円硬貨補充設定	0:警報なし 1:警報あり	1:警報あり
	SUB100円硬貨補充設定	0:警報なし 1:警報あり	0:警報なし
	フリッカーランプ設定	0:ランプなし 1:ランプあり	1:ランプあり
	乾燥延長注意設定	0:対応なし 1:預かり書 2:現金返金	1:預かり書
	乾燥延長設定	0:無効 1:有効	1:有効
設定3	起動待機時間	1秒~300秒	60秒
	画面待機時間	0秒~99秒	60秒
	注意喚起画面待機時間	1秒~99秒	10秒
	精算待機時間	0秒~99秒	60秒
	終了画面待機時間	0秒~99秒	20秒
設定4	通信待機時間	1秒~99秒	10秒
	通信再送回数	1回~99回	3回
	音声ガイダンス再送時間	1秒~99秒	30秒
	印刷処理待機時間	1秒~300秒	180秒
	乾燥延長下限時間	1分~20分	1分
設定5	預かり書:連絡先電話番号		----
	店舗の電話番号		-----
設定6	釣銭補充注意枚数	10枚~50枚	20枚
	釣銭補充警告枚数	0枚~9枚	0枚
	硬貨回収注意枚数	50枚~400枚	300枚
	硬貨回収警告枚数	100枚~500枚	400枚
	紙幣回収注意枚数	50枚~200枚	150枚
	紙幣回収警告枚数	100枚~250枚	200枚
設定7	カード販売金額	500円~5,000円	2,000円
	初期カード枚数	1枚~500枚	500枚
	カード不足枚数	1枚~50枚	50枚
設定8	予備		

■グループ:設定1

1. 通報:第1電話番号

トラブル(精算機エラー, コイン機エラー)通報する第1電話番号を登録します。
この電話番号は、ハローコールで使用します。

2. 通報:第2電話番号

トラブル(精算機エラー, コイン機エラー)通報する第2電話番号を登録します。
この電話番号は、ハローコールで使用します。

3. オーナー暗証番号

オーナーモードに入るために必要な暗証番号を設定します。

4. 終了前コール時間

終了前コール(ハローコール)を発信する時間を設定します。

■グループ:設定2

1. 警報の有無

精算機でトラブルが発生した時、エラーとするかしないかを設定します。

設定値	説明
0	"警報なし" 精算機でトラブル発生時、TOSNET側へエラー情報を送信しない
1	"警報あり" 精算機でトラブル発生時、TOSNET側へエラー情報を送信する ※工場出荷時

<警報あり>

精算機でエラーが発生した場合、発生したエラーに合わせて接続されているTOSNETへトラブル情報を送信します。

<警報なし>

精算機でエラーが発生しても、接続されているTOSNETにトラブル情報を送信しません。

2. プリペイドカード中止設定

プリペイドカードで精算中(100円以上投入されている時)、中止した時の対応を設定します。

設定値	説明
0	"対応なし": 預かり書, 現金返金なし。
1	"預かり書": 預かり書発行 ※工場出荷時
2	"現金返金": 現金による返金

3. トラブル中止設定

精算途中又は精算終了後、トラブルが発生した時の対応を設定します。

設定値	説明
0	"対応なし": 預かり書, 現金返金なし。
1	"預かり書": 預かり書発行 ※工場出荷時
2	"現金返金": 現金による返金

4. 10円/50円硬貨補充設定

精算機内にある10円/50円硬貨でコインメック異常を検出した時、エラーとするかしないかを設定します。

設定値	説明
0	"警報なし": コインメック異常を検出した時、TOSNET側へエラー情報を送信しない。
1	"警報あり": コインメック異常を検出した時、TOSNET側へエラー情報を送信する。※工場出荷時

<警報あり>

10円/50円硬貨でコインメック異常エラーが発生した場合、発生したエラーに合わせて接続されているTOSNETへトラブル情報を送信します。

<警報なし>

10円/50円硬貨でコインメック異常エラーが発生しても、しません。

5. SUB100円硬貨補充設定

精算機内にあるSUB100硬貨でコインメック異常を検出した時、エラーとするかしないかを設定します。

設定値	説明
0	"警報なし": コインメック異常を検出した時、TOSNET側へエラー情報を送信しない。※工場出荷時
1	"警報あり": コインメック異常を検出した時、TOSNET側へエラー情報を送信する。

<警報あり>

SUB100円硬貨でコインメック異常エラーが発生した場合、発生したエラーに合わせて接続されているTOSNETへトラブル情報を送信します。

<警報なし>

SUB100円硬貨でコインメック異常エラーが発生しても、接続されているTOSNETにトラブル情報を送信しません

6. フリッカーランプ設定

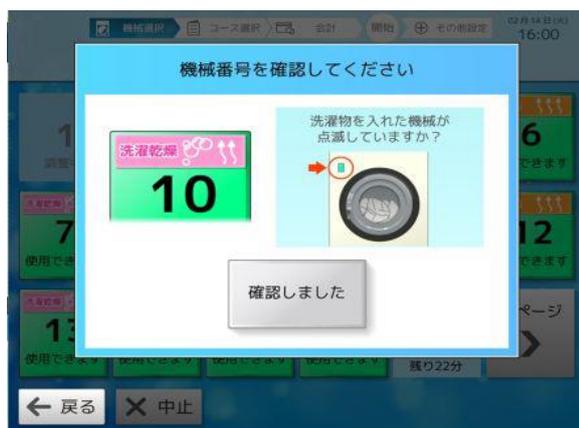
フリッカーランプの設定に合わせて、機械確認画面にフリッカーランプのイラストの表示有無を設定できます。

設定値	説明
0	"ランプなし": 機械確認画面に、フリッカーランプのイラストを表示しない。
1	"ランプあり": 機械確認画面に、フリッカーランプのイラストを表示する。※工場出荷時

<ランプあり>

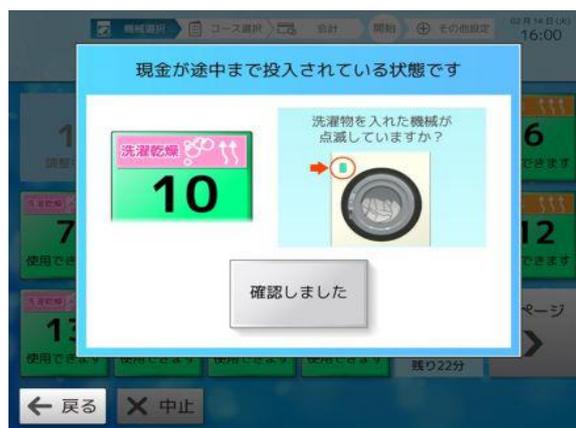
機械確認画面に、フリッカーランプのイラストを表示します。

・機械確認画面



・機械確認画面

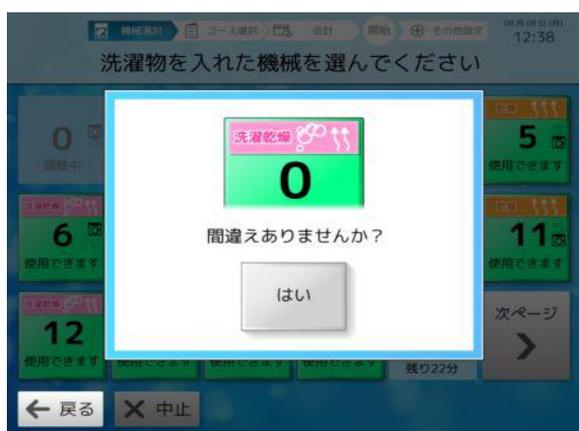
(コース選択及び現金が投入されている時)



<ランプなし>

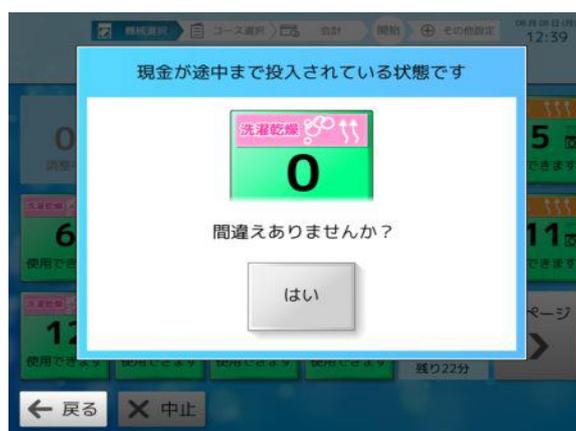
機械確認画面に、フリッカーランプのイラストを表示しません。

・機械確認画面



・機械確認画面

(コース選択及び現金が投入されている時)



■グループ:設定3

1. 起動待機時間

電源投入時、起動画面を表示する時間を設定します。

2. 画面待機時間

ホーム画面、支払い選択画面、注意画面以外(オーナーモード画面は除く)の画面表示中、ホーム画面に戻る待機時間を設定します。

3. 注意喚起画面待機時間

注意画面を表示する時間を設定します。

4. 精算待機時間

支払選択画面の待機時間を設定します。

5. 終了画面待機時間

終了画面を表示する時間を設定します。

■グループ:設定4

1. 通信待機時間

精算機からTOSNETへ要求コマンド送信後、TOSNETからの返信コマンドを待機する時間を設定します。
設定されている時間経過してもTOSNETからコマンドが返信されてこない場合、再度要求コマンドをTOSNETへ送信します。

2. 通信再送回数

要求コマンドを再送する回数を設定します。
設定されている回数TOSNETへ要求コマンドを送信してもTOSNETからコマンドが返信されてこない場合、精算機は調整中画面に移行します。

3. 音声ガイダンス再送時間

音声ガイダンスを再送する時間を設定します。

4. 印刷処理待機時間

オーナーモードで、回収金額印刷指示してから、TOSNETからの返信コマンドを待機する時間を設定します。

5. 乾燥延長下限時間

乾燥延長を行わない時間(残り運転時間)を設定します。
設定時間以下のランドリー機は、乾燥延長機械選択画面で乾燥延長を無効にします。

■グループ:設定5

1. 預かり書:連絡先電話番号

預かり書に印刷する連絡先電話番号を登録します。

※“0120”から始まるフリーダイヤルも登録可能となります。

2. 店舗の電話番号

領収書・利用明細書等に印刷する店舗の電話番号を登録します。

この電話番号は、領収書・利用明細書等の印刷で使用します。

※“0120”から始まるフリーダイヤルも登録可能となります。

■グループ:設定6

1. 釣銭補充注意枚数

ステータス情報画面内にある釣銭保有枚数の状態欄に注意アイコンを表示する枚数

(10円/50円/100円/500円/SUB100円)を設定します。

2. 釣銭補充警告枚数

ステータス情報画面内にある釣銭保有枚数の状態欄に警告アイコンを表示する枚数

(10円/50円/100円/500円/SUB100円)を設定します。

3. 硬貨回収注意枚数

ステータス情報画面内にある金庫保有枚数の状態欄に注意アイコンを表示する硬貨枚数

(10円/50円/100円/500円)を設定します。

4. 硬貨回収警告枚数

ステータス情報画面内にある金庫保有枚数の状態欄に警告アイコンを表示する硬貨枚数

(10円/50円/100円/500円)を設定します。

5. 紙幣回収注意枚数

ステータス情報画面内にある金庫保有枚数の状態欄に注意アイコンを表示する紙幣枚数

(1000円)を設定します。

6. 紙幣回収警告枚数

ステータス情報画面内にある金庫保有枚数の状態欄に警告アイコンを表示する紙幣枚数

(1000円)を設定します。

■グループ:設定7

1. カード販売金額

プリペイドカードの販売金額を設定します。

2. 初期カード枚数

集中精算機にセットしている初期カード枚数を設定します。

3. カード不足枚数

カード不足枚数を設定します。

※不足枚数以下になった時、カード機器異常となります。

4.3.4 ステータス情報画面

集中精算機の各種ステータス情報を確認する画面です。



【ボタン説明】

1	設定終了	データ保存後、ホーム画面に移行する。 ※一部データは、TOSNET端末に通信で送信する。
---	------	---

【表示】

〈精算機情報〉

1	機種コード	機種コードを表示する。
2	ROMバージョン	ROMバージョンを表示する。
3	タッチパネルバージョン	タッチパネルバージョンを表示する。

〈釣銭保有枚数〉

4	10円	10円保有枚数を表示する。
5	50円	50円保有枚数を表示する。
6	100円	100円保有枚数を表示する。
7	500円	500円保有枚数を表示する。
8	サブ100円	100円保有枚数を表示する。
9	釣銭合計金額	釣銭合計金額を表示する。

〈金庫保有枚数〉

10	10円	10円保有枚数を表示する。
11	50円	50円保有枚数を表示する。
12	100円	100円保有枚数を表示する。
13	500円	500円保有枚数を表示する。
14	1000円	1000円保有枚数を表示する。
15	金庫合計金額	金庫合計金額を表示する。

〈状態表示〉

16	コインメック	コインメックの状態を表示する。
17	ビルバリ	ビルバリの状態を表示する。
18	硬貨金庫	硬貨金庫の状態を表示する。
19	ドア	ドアの状態を表示する。
20	ドア鍵	ドア鍵の状態を表示する。
21	プリンタ	プリンタの状態を表示する。
22	カード機器	カード機器の状態を表示する。
23	盗難	盗難状況を表示する。
24	停電	停電の状況を表示する。

☆補充アイコンについて

金庫内の硬貨枚数が足りなくなった場合、情報エリアに補充アイコンを表示します。

補充注意(黄色), 補充警告(赤色), 回収注意(黄色), 回収警告(赤)の4種類のアイコンがあります。



【アイコン】

- ・補充注意: 釣銭保有枚数で、残り枚数が20枚以下になった時
- ・補充警告: 釣銭保有枚数で、残り枚数が 0枚になった時
- ・回収注意: 金庫保有枚数で、300枚(硬貨),150枚(紙幣)以上になった時
- ・回収警告: 金庫保有枚数で、400枚(硬貨),200枚(紙幣)に到達した時

※集中精算機内の設定で、補充・回収の注意、警告枚数を変更できます。

4.3.5 コース名設定画面

機械番号選択画面

集中精算機の各種ステータス情報を確認する画面です。



【ボタン説明】

1	選択する	機械番号選択画面(ポップアップ)を表示する。
2	機械番号	選択した機械のコース名設定画面を表示する。
3	戻る	コース名設定画面に戻る。
4	次ページ	次ページを表示する。 ※接続されている機械台数が18台以上ある場合のみこのボタンを表示する。
5	前ページ	前ページを表示する。
6	設定終了	データ保存後、ホーム画面に移行する。 ※一部データは、TOSNET端末に通信で送信する。

コース名選択画面

コース選択画面で表示されるコース名をコース別に変更する画面です。



【ボタン説明】

1	コース名ボタン	選択したコース名を選択する。
2	>	次ページに進む。 ※登録されているコースボタン数が10コース名以上ある場合表示される。
3	<	前ページに戻る。
4	保存	登録したコース名を保存して機械番号選択画面に戻る。
5	保存せず戻る	登録したコース名を保存せず機械番号選択画面に戻る。
6	1コース	選択されたコースのコース名ボタンを表示する。
7	2コース	選択されたコースのコース名ボタンを表示する。
8	3コース	選択されたコースのコース名ボタンを表示する。
9	4コース	選択されたコースのコース名ボタンを表示する。
10	設定終了	データ保存後、ホーム画面に移行する。 現在、変更中のコース名 (保存ボタンをタッチしていない)は更新しない。 ※一部データは、TOSNET端末に通信で送信する。

【表示】

1	機械番号	選択された機械番号を表示する。
---	------	-----------------

☆コースボタン

コース名設定で表示される各コースボタンの名称は、登録されているコース名称によって変化します。

登録されているコース名称が2行ある場合、2行で表示。



登録されているコース名称が1行のみの場合、1行で表示。



No.	コース名称		洗濯乾燥機			洗濯機 1,2コース	乾燥機 1コース
	1行目	2行目	1,2コース	3コース	4コース		
1	洗乾－標準コース		○	○	×	×	×
2	洗乾－少量コース		○	○	×	×	×
3	洗濯－標準コース		×	○	×	○	×
4	洗濯－少量コース		×	○	×	○	×
5	乾燥のみ		×	×	○	×	○
6	洗乾－ふわふわコース	標準量	○	○	×	×	×
7	洗乾－ふわっとコース		○	○	×	×	×
8	洗乾－羽毛洗濯コース	少量	○	○	×	×	×
9	洗乾－時短ワンショット		○	○	×	×	×
10	洗乾－羽毛・コタツ布団		○	○	×	×	×
11	洗乾－毛布・コタツ布団		○	○	×	×	×
12	洗乾－衣類洗いコース		○	○	×	×	×
13	洗乾－毛布洗いコース		○	○	×	×	×
14	洗乾－毛布・敷き布		○	○	×	×	×
15	洗乾－プレミアムコース		○	○	×	×	×
16	洗乾－ふんわり香り		○	○	×	×	×
17	洗乾－デラックスコース		○	○	×	×	×
18	洗乾－デリケートコース		○	○	×	×	×
19	洗乾－消臭コース		○	○	×	×	×
20	洗乾－ふんわり仕上		○	○	×	×	×
21	洗乾－抗菌仕上りコース		○	○	×	×	×
22	洗乾－しっかり洗濯		○	○	×	×	×
23	洗乾－しっかり洗い		○	○	×	×	×
24	洗乾－温水コース		○	○	×	×	×
25	洗乾－温水洗いコース		○	○	×	×	×
26	洗乾－温水＋ファーファ		○	○	×	×	×
27	洗乾－温水＆ファーファ		○	○	×	×	×
28	洗乾－ファーファ洗濯		○	○	×	×	×
29	洗乾－ファーファ仕上げ		○	○	×	×	×
30	洗乾－香り洗剤コース		○	○	×	×	×
31	洗乾－無臭洗剤コース		○	○	×	×	×
32	洗乾－ミンク加工コース		○	○	×	×	×
33	洗乾－ワンショット		○	○	×	×	×
34	洗乾－ファーファコース		○	○	×	×	×
35	洗乾－どるふいんコース		○	○	×	×	×

○:選択可, ×:選択不可 ※”洗乾－”, ”洗濯－”表示は、コース名設定のみ表示します。

No.	コース名称		洗濯乾燥機			洗濯機 1,2コース	乾燥機 1コース
	1行目	2行目	1,2コース	3コース	4コース		
36	洗乾－短時間コース		○	○	×	×	×
37	洗乾－ノーマルコース		○	○	×	×	×
38	洗乾－ショートコース		○	○	×	×	×
39	洗乾－お急ぎコース		○	○	×	×	×
40	洗乾－ソフター無コース		○	○	×	×	×
41	洗乾－柔軟剤なしコース		○	○	×	×	×
42	洗乾－ソフター有コース		○	○	×	×	×
43	洗乾－柔軟剤有コース		○	○	×	×	×
44	洗乾－ソフト剤あり		○	○	×	×	×
45	洗乾－Standard amount		○	○	×	×	×
46	洗乾－Small amount		○	○	×	×	×
47	洗濯－Standard amount		×	○	×	○	×
48	洗濯－Small amount		×	○	×	○	×
49	洗乾－抗菌・においガード		○	○	×	×	×
50	洗乾－抗菌・においガード	加工コース	○	○	×	×	×
51	洗濯－温水＋ファーファ		×	○	×	○	×
52	洗濯－温水&ファーファ		×	○	×	○	×
53	洗濯－ファーファ洗濯		×	○	×	○	×
54	洗濯－ファーファ仕上げ		×	○	×	○	×

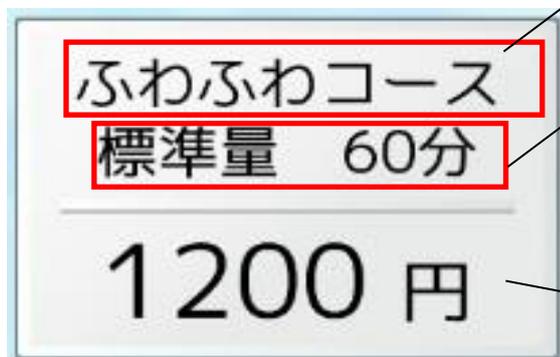
○:選択可, ×:選択不可 ※”洗乾－”, ”洗濯－”表示は、コース名設定のみ表示します。

☆コース選択画面に表示するコースボタンについて

コース選択画面に表示されるコースボタンは、コース名設定画面で選択されたコース名を表示します。

2行目には必ずコース時間(分)を表示します。

<ふわふわコース/標準量>

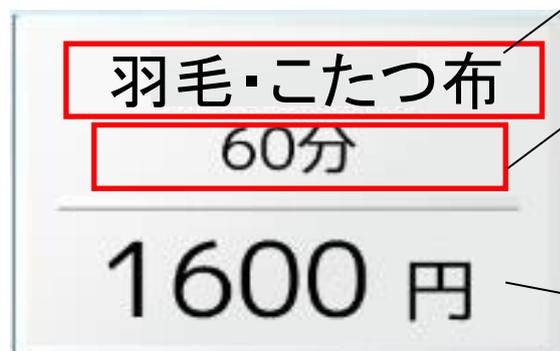


1行目：コース名称

2行目：量, コース時間
※2行目の文字数が5文字未満場合、
文字とコース時間を表示します。

3行目：コース料金

<羽毛布団>



1行目：コース名称

2行目：コース時間
※2行目の文字がない場合、
コース時間を中央に表示します。

3行目：コース料金

5. コインランドリー管理設定方法

ここでは、主にコインランドリーを運営する場合に使用する機能の説明を行います。
コインランドリーの利用者が使用する操作と別けるために、
必要に応じてコインランドリー管理者用と表記します

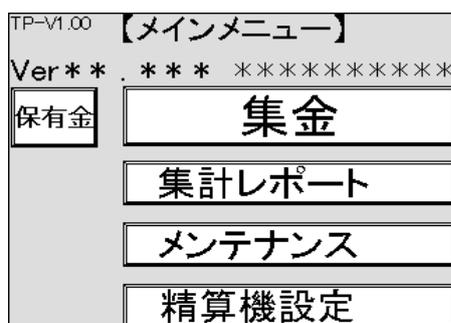
 注意	<p>◆ コインチューブを確実に取り付けてからドアを閉める。 コインチューブが外れたまま集中精算機を使用すると、 警報ブザーが鳴り続けてしまうため、 集中精算機を使用する前に、 コインチューブが取り付けられているか確認してください。</p>	 確認
---	--	---

5.1 保守用タッチパネル

扉を開けた状態で、本機の電源が正常に操作され、起動すると保守用タッチパネルに表示が現れます。
保守用タッチパネルは表示と操作の2つの機能を同時に果たし、
本機の状態を示すのに最適な表示と、設定に必要なボタンが必要時に最適な位置に現れることにより、
分かりやすく誤りにくい操作を実現しています。

5.1.1 保守状態表示

ドアを開けた状態では、コインランドリー管理者が設定変更や
保守を行なうことに適した画面(以下、保守状態)を表示します。
次の図は保守状態表示の例です。内容は設定や状態によって変わります



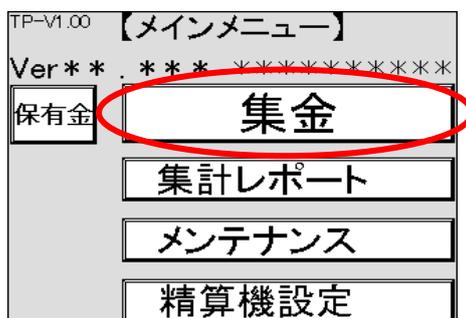
保守状態表示の例

5.1.2 操作入力

タッチパネルは表示と、画面に表示された箇所を直接押してボタンの代わりにさせる機能を持ちます。本機では以下の図のように、状態確認を視覚的に行えるようにし、操作性を確実なものにしています。

 注意	<p>◆ タッチパネルの操作は、指の腹で軽くタッチする</p> <p>強い力でタッチすると、突き指や爪割れなどけがをすることがあります。</p> <p>指以外の硬いものや尖ったものでタッチすると、タッチパネルの故障の原因となり、運営に支障が出る場合があります。</p>	 確認
---	---	---

ボタンは、文字を白地の四角で囲ったデザインとしています



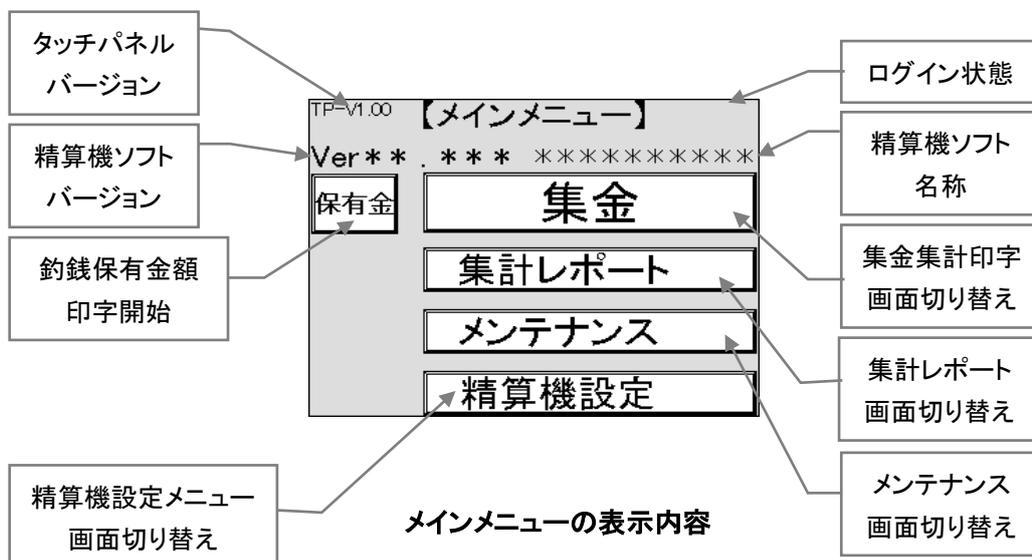
5.2 メインメニュー

5.2.1 メインメニューの表示

メインメニューは、コインランドリー管理者用の画面で、ドアを開けた際に表示されます。

5.2.2 メインメニューの表示内容

メインメニューの表示内容は以下のとおりです。



5.3 集金

集金の手順は以下のとおりで、間違いを防ぐために固定の手順となっており、途中を省いたり、途中から実施したりすることはできません。

- (1) 集金集計印字
- (2) 紙幣回収
- (3) 硬貨回収
- (4) 硬貨調整

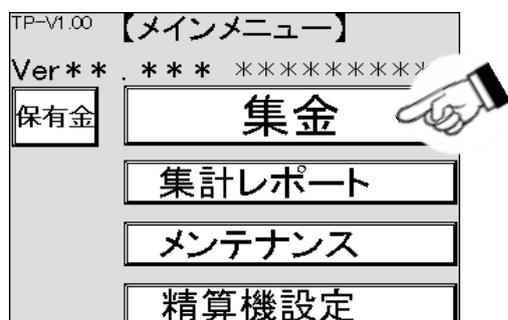
5.3.1 集金集計印字

集金集計とは、前回の集金から今回の集金までの、コインランドリーの利用状況、売上、精算機内の現金などを確認するためのデータで、印字して確認します。

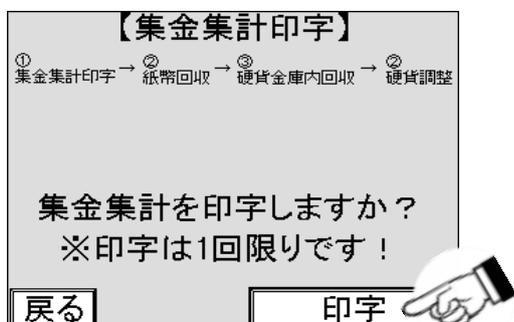
集金集計印字では、電子マネーの締め処理※1が行なわれます。

 注意	<p>◆ 用紙の残りが十分か確認する</p> <p>用紙が不足して印字が途中で終わると、すべての集金確認ができなくなります。</p>	 確認
---	--	---

- (1) メインメニューで **集金** を押します



- (2) 集金集計印字画面が表示されます。 **印字** を押すと、集金集計が印字されます



- (3) 印字が終わったら、用紙を受け取ります

※1: オプションです。

集金集計印字内容については、以下のとおりです。
尚、本機の設定により印字されない項目もあります。

<p>…集金 集計…</p> <p>通し番号*****</p> <p>前回 ****年**月**日 **時**分**秒</p> <p>今回 ****年**月**日 **時**分**秒</p> <p>年/月/日 利用 販売 金額</p> <p>****/**/** * * ****円</p> <p>****/**/** * * ****円</p>	<p>※本機の設定により集金集計印字に印字されない項目があります</p> <p>⇒ 集金集計の通し番号</p> <p>⇒ 前回集金(集金集計印字)を行った日時</p> <p>⇒ 今回集金(集金集計印字)を行った日時</p> <p>⇒ 日毎のランドリーの利用とカード販売の回数、合計金額</p>
<p>期間売上合計</p> <p>売上金額 **回 ****円</p> <p>機械利用 **回 ****円</p> <p>現金 **回 ****円</p> <p>プリペイド **回 ****円</p> <p>電子マネー **回 ****円</p> <p>カード販売 **回 ****円</p> <p>現金 **回 ****円</p> <p>中止回数 **回</p> <p>預かり金 **回 ****円</p> <p>遠隔返金 ****円</p> <p>集金金額 ****円</p> <p>補充金額 ****円</p> <p>カード販売枚数 **枚</p> <p>カード残枚数 **枚</p>	<p>⇒ 期間中の売上合計金額</p> <p>⇒ 機械利用の売上合計金額</p> <p>⇒ 機械利用の現金の売上合計金額</p> <p>⇒ 機械利用のプリペイドカードの売上合計金額</p> <p>⇒ 機械利用の電子マネーの売上合計金額</p> <p>⇒ プリペイドカード販売利用の売上合計金額</p> <p>⇒ プリペイドカード販売利用の現金の売上合計金額</p> <p>⇒ 精算途中で中止した回数</p> <p>⇒ 釣銭不足で預かり書を発行して、払い戻しが必要な合計金額</p> <p>⇒ 遠隔操作で返金した合計金額</p> <p>⇒ 前回集金から今回集金の間に、紙幣金庫、硬貨金庫、チェンジャから集金された合計金額</p> <p>⇒ 前回集金から今回集金の間に、釣銭を補充した合計金額</p> <p>⇒ プリペイドカードを販売した枚数 カード補充操作で0枚に初期化されます。</p> <p>⇒ カード販売ユニットに残っているプリペイドカードの枚数</p>
<p>保有金詳細</p> <p>釣銭金額 ****円</p> <p>前回 今回 合わせ</p> <p>10円 * ⇒ *枚 *枚</p> <p>50円 * ⇒ *枚 *枚</p> <p>100円 * ⇒ *枚 *枚</p> <p>500円 * ⇒ *枚 *枚</p> <p>補助 100円 * ⇒ *枚 *枚</p> <p>硬貨金庫 *****円</p> <p>10円 ****枚</p> <p>50円 ****枚</p> <p>100円 ****枚</p> <p>500円 ****枚</p> <p>紙幣金庫 *****円</p> <p>1000円 ***枚</p>	<p>⇒ 釣銭の合計金額</p> <p>⇒ 前回、今回集金時の釣銭保有枚数、合わせ枚数</p> <p>⇒ 硬貨金庫の合計金額</p> <p>⇒ 紙幣金庫の合計金額</p>
<p>C*****-***-*****</p>	<p>⇒ 集金集計印字内容の管理番号</p>
<p>店舗名2</p> <p>店舗名3</p> <p>TEL 0123456789</p>	

5.3.2 紙幣回収

紙幣の回収とは、ビルバリ内のスタックに入っている紙幣を回収することです。

スタックとは、ビルバリに挿入された紙幣を保管する金庫です。スタックが満杯になると、紙幣を利用できなくなりますので、集金時にすべての紙幣を回収することを推奨します。

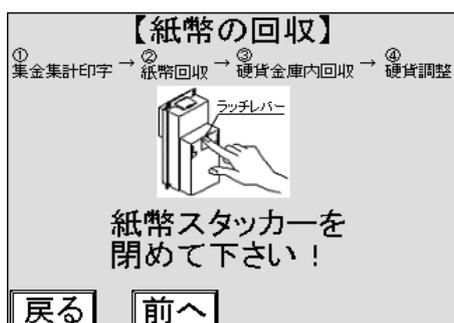
また、スタックを開けると、紙幣回収の有無にかかわらず枚数カウントは自動的に0枚に設定されます。

(1) 集金集計印字が終了すると、自動的に紙幣の回収画面に変わります。



(2) ビルバリに付いている南京錠を解錠して取外し、紙幣スタッカーを開けます。

(3) ビルバリが開くと、自動的にビルバリ内の金額が印字され、閉める手順の画面になります。



(4) 紙幣を全て回収します。

(5) 紙幣スタッカーを閉めます。

(6) 南京錠をビルバリに取り付け施錠しキーを抜きます。

5.3.3 硬貨回収

硬貨の回収とは、硬貨金庫内の硬貨を回収することです。金庫内が硬貨で一杯になると、硬貨を利用できなくなりますので、集金時に回収することを推奨します。

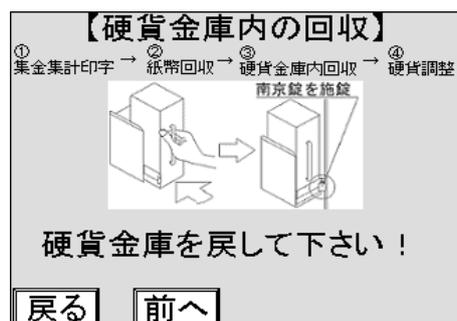
硬貨金庫を取り出すと、硬貨回収の有無に関わらず金庫内の硬貨は0枚に設定されます。

(1) 紙幣スタックが閉められると、硬貨金庫内の回収画面に変わります。



(2) 硬貨金庫に付いている南京錠を解錠して取り外します。

(3) 硬貨金庫が取り外されると、自動的に硬貨金庫内の金額が印字され
硬貨金庫内の回収画面が表示されます。



(4) 硬貨金庫内の硬貨を全て回収してください。

(5) 硬貨金庫を取付けます。

(6) 硬貨金庫に南京錠を取付け、施錠してキーを抜きます。

5.3.4 硬貨調整

硬貨調整とは、コインチェンジャ内の硬貨を補充、払い出しすることです。

コインチェンジャ内の硬貨が不足すると、お釣りが出なくなり※1ますので、

集金時に硬貨を補充することを推奨します。

硬貨金庫が取付けられると、次のような硬貨調整画面に変わり、4種類の調整方法がボタンで表示されますので、運用に合わせ、いずれかの方法で硬貨調整してください。

【硬貨調整】	
①集金集計印字 → ②紙幣回収 → ③硬貨金庫内回収 → ④硬貨調整	
釣銭追加 投入	コインチューブ交換 釣銭自動合わせ
コインチューブ 釣銭任意補充	釣銭自動 調整
調整しない	硬貨調整方法を 選択して下さい
戻る 前へ	

なお、**調整しない**を押すと、硬貨調整作業を省けますが、集金時の取りこぼしや、硬貨枚数の設定値間違いなどの作業間違いは、コインチューブ内の硬貨実枚数と保有金額の直接突き合わせ以外に確認する方法はありませんので、定期的に必ず硬貨調整を実施してください。

※1: 釣銭不足で、お釣りが出せなかった場合、預かり書を印字して発行します。

5.3.5 硬貨調整 — 釣銭投入

釣銭として使用する各硬貨の枚数を集金現場で適宜決める、硬貨調整方法です。
集金時の状況に応じて変更できますので、運営状況に柔軟に対応できます。

(1) **釣銭追加投入**を押します。

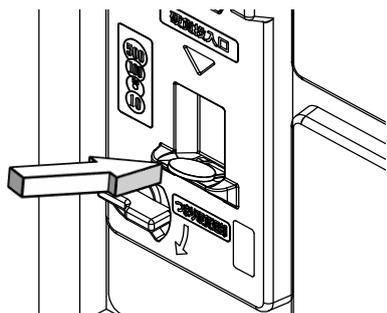


(2) 釣銭保有枚数が印字されます。

(3) 印字が終わると、釣銭追加投入画面に変わります。払い出し可能枚数を確認します。



(4) 不足している硬貨を、硬貨投入口に投入します。



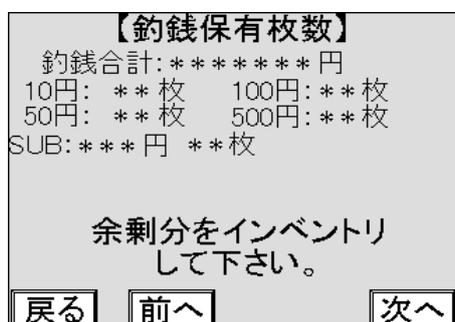
(5) 投入した枚数は、順次表示されます。



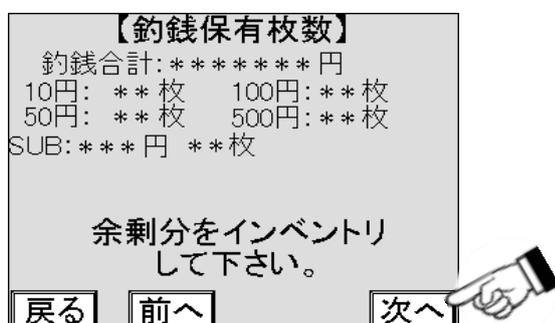
(6) 不足した各硬貨の追加投入がすべて終了したら、**次へ**を押します。



(7) 釣銭保有枚数画面が表示されますので、釣銭として保有する枚数より多い硬貨は、コインチェンジャの回収ボタンでインベントリ※1します。



(8) インベントリが終わったら、**次へ**を押します。押すと、釣銭保有枚数が印字されます。



※1:「棚卸し」の意味で、コインチェンジャの機能を使用して余剰硬貨を払い出すことを指します。

なお、インベントリは、コインチェンジャに付いている南京錠を解錠して取り外して操作する必要があります。

(9)カード枚数の設定画面※2が表示されますので、プリペイドカードを補充して、**はい**を押します。
補充をしない場合は、**いいえ**を押します。

【カード枚数】

カードを補充して
枚数を初期化しますか？

****枚 ⇒ ****枚

いいえ **はい**

※2: オプションでカード販売ユニットを使用している場合のみ表示します。

(10)再度集金集計印字画面が表示※3されますので、印字する場合、**する**を押します。

【再度集金集計印字】

集金集計を印字しますか？

しない **する** 

戻る **前へ**

※3: 再度集金集計印字の設定が有効の場合のみ表示します。

(11)集金作業終了の画面に変わります。

(12)以下の画面が表示されますので、施錠と表示内容を確認し、**メインメニューへ**を押します。

【集金作業終了です】

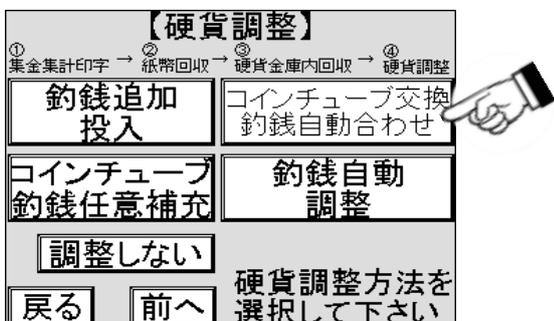
お疲れ様でした。
集金した現金とレシートを
忘れずにお持ち下さい。

メインメニューへ 

5.3.6 硬貨調整 — コインチューブ交換釣銭自動合わせ

予め決めた釣銭枚数※1が入ったコインチューブを用意※2し、このコインチューブと交換する方法です。
集金現場で硬貨の枚数を数える必要が無い硬貨調整方法です。

- (1) 予め決めた釣銭枚数が入ったコインチューブを用意します。
- (2) **コインチューブ交換釣銭自動合わせ**を押します。



- (3) コインチェンジャに付いている南京錠を解錠して取り外します。
- (4) 以下の画面が表示されますので、コインチューブを取り外します。



- (5) コインチューブを取り外すと、コインチューブ内の金額が印字され、以下の画面が表示されますので、予め決めた釣銭枚数が入ったコインチューブを取付けます。



※1: 釣銭保有枚数セットに設定した枚数で、運用状態に合わせて任意に変更することができます。

※2: 交換用に新たなコインチューブを用意しなくても、

釣銭保有枚数に合わせてその場で硬貨を増減することもできます。

(6)コインチューブを取付けると、以下の画面が表示されますので、**自動合わせ実行**を押します。

【釣銭保有枚数合わせ】

10円: ** 枚 100円: ** 枚
50円: ** 枚 500円: ** 枚
SUB:***円 **枚

自動合わせ実行 

戻る **前へ** **保存**

(7)カード枚数の設定画面※1が表示されますので、プリペイドカードを補充して、**はい**を押します。
補充をしない場合は、**いいえ**を押します。

【カード枚数】

カードを補充して
枚数を初期化しますか？

****枚 ⇒ ****枚

いいえ **はい**

※1: オプションでカード販売ユニットを使用している場合のみ表示します。

(8)再度集金集計画面が表示※2されますので、印字する場合、**する**を押します。

【再度集金集計印字】

集金集計を印字しますか？

しない **する** 

戻る **前へ**

※2: 再度集金集計印字の設定が有効の場合のみ表示します。

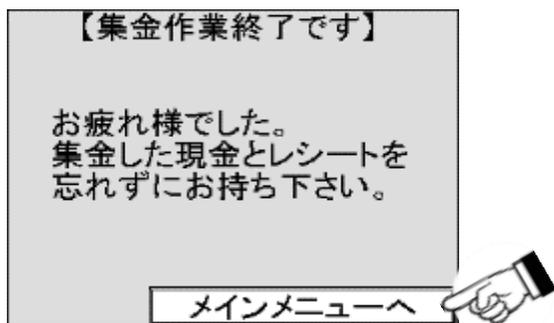
(9)集金作業終了画面になります。

【集金作業終了です】

お疲れ様でした。
集金した現金とレシートを
忘れずにお持ち下さい。

メインメニューへ

- (10)コインチェンジャのカバーを締めます。
- (11)南京錠をコインチェンジャに取付け、施錠してキーを抜きます。
- (12)表示内容を確認し、**メインメニューへ**を押します。

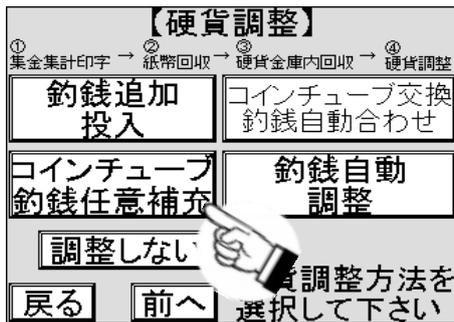


5.3.7 硬貨調整 — コインチューブ釣銭任意補充

補充する硬貨をコインチューブに直接補充し、補充した枚数を設定する方法です。
 実際にコインチューブにある硬貨すべての枚数を直接確認し、現物棚卸しや、
 みなし棚卸しの補正操作としても使用することができます。

	<p>注意</p> <p>◆ コインチューブに補充した硬貨の枚数を確認する 硬貨の枚数を確認しないと、チューブ内の金額が合わなくなり、 運営に支障が出る場合があります。</p>	 確認
---	---	---

(1) **コインチューブ釣銭任意補充**を押します。



(2) コインチェンジャに付いている南京錠を解錠して取り外します。
 (3) 以下の画面が表示されますので、コインチューブを取り外します。



(4) コインチューブを取り外すと、コインチューブ内の金額が印字され、以下の画面が表示されます。



(5) 取り外したコインチューブに釣銭として使用する硬貨を補充します。

(6) 硬貨を補充したコインチューブを取付けます。以下の画面が表示されます。

【釣銭保有枚数セット】	
10円: **枚	100円: **枚
50円: **枚	500円: **枚
SUB: ***円 ***枚	
釣銭最大枚数セット	
10円: **枚	100円: **枚
50円: **枚	500円: **枚
SUB: ***円 ***枚	
戻る	前へ
保存	

(7) 南京錠をコインチェンジャに取付け施錠し、キーを抜きます。

(8) 釣銭保有枚数セットの画面で変更したい数値が表示されている箇所を押します。

【釣銭保有枚数セット】	
10円: **枚	100円: **枚
50円: **枚	500円: **枚
SUB: ***円 ***枚	
釣銭最大枚数セット	
10円: **枚	100円: **枚
50円: **枚	500円: **枚
SUB: ***円 ***枚	
戻る	前へ
保存	



(9) 数字キーがポップアップ表示されますので、該当硬貨の枚数を入力します。

【釣銭保有枚数セット】				
10円: **枚	100円: **枚			
50円: **枚	500円: **枚			
SUB: ***円 ***枚				
釣銭最大枚数セット				
10円: **枚	100円: **	1	2	3
50円: **枚	500円: **	4	5	6
SUB: ***円 ***枚		7	8	9
戻る	前へ	ESC	0	ENT



(10) **ENT** を押し、枚数を確定します。

【釣銭保有枚数セット】				
10円: **枚	100円: **枚			
50円: **枚	500円: **枚			
SUB: ***円 ***枚				
釣銭最大枚数セット				
10円: **枚	100円: **	1	2	3
50円: **枚	500円: **	4	5	6
SUB: ***円 ***枚		7	8	9
戻る	前へ	ESC	0	ENT



(11) 各硬貨すべての枚数を入力し、確認します。

- (12) **保存** を押し、入力したすべての値を保存します。保存前に **戻る** **前へ** を押すと入力したすべての値は破棄され、変更前の値に戻ります。

【釣銭保有枚数セット】
10円: ** 枚 100円: ** 枚
50円: ** 枚 500円: ** 枚
SUB: *** 円 *** 枚

釣銭最大枚数セット
10円: ** 枚 100円: ** 枚
50円: ** 枚 500円: ** 枚
SUB: *** 円 *** 枚

戻る **前へ** **保存** 

- (13) カード枚数の設定画面※1が表示されますので、プリペイドカードを補充して、**はい** を押します。補充をしない場合は、**いいえ** を押します。

【カード枚数】
カードを補充して
枚数を初期化しますか？

**** 枚 ⇒ **** 枚
いいえ **はい**

※1: オプションでカード販売ユニットを使用している場合のみ表示します。

- (14) 再度集金集計印字画面が表示※2 されますので、印字する場合、**する** を押します。

【再度集金集計印字】

集金集計を印字しますか？
しない **する** 
戻る **前へ**

※2: 再度集金集計印字の設定が有効の場合のみ表示します。

- (15) 集金集計の印字が終了すると、集金作業終了の画面に変わります。

- (16) 集金作業終了の画面で、表示内容を確認し、**メインメニューへ** を押します。

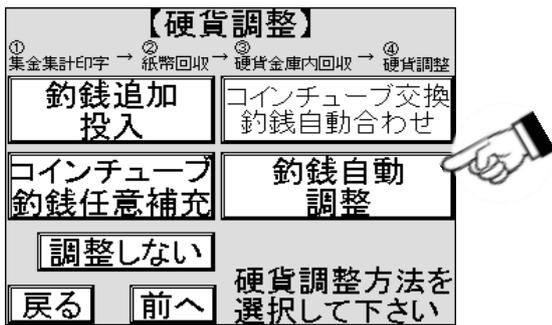
【集金作業終了です】

お疲れ様でした。
集金した現金とレシートを
忘れずにお持ち下さい。

メインメニューへ 

5.3.8 硬貨調整 — 釣銭自動調整

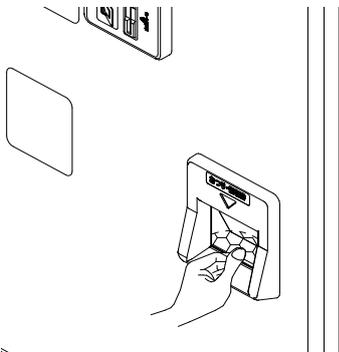
(1) 釣銭自動調整を押します。



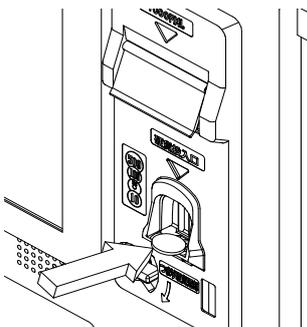
(2) 釣銭自動調整画面に変わります。合わせ枚数に予め決めた釣銭枚数※1が表示されます。



(3) 予め決めた釣銭枚数より多い硬貨は硬貨返却口へ払い出されますので、回収します。



(4) 合わせ枚数より現在枚数が少ない硬貨を必要な枚数、硬貨投入口に投入します。



※1: [8.11] 釣銭保有枚数合わせに設定した枚数で、状態に合わせて変更することができます。

(5)カード枚数の設定画面※1が表示されますので、プリペイドカードを補充して、**はい**を押します。
補充をしない場合は、**いいえ**を押します。

【カード枚数】

カードを補充して
枚数を初期化しますか？

**** 枚 ⇒ **** 枚

いいえ **はい**

※1: オプションでカード販売ユニットを使用している場合のみ表示します。

(6)全ての硬貨で現在枚数と合わせ枚数が一致すると、再度集金集計印字画面が表示※2されます。
印字する場合、**する**を押します。

【再度集金集計印字】

集金集計を印字しますか？

しない **する**

戻る **前へ**



※2: 再度集金集計印字の設定が有効の場合のみ表示します。

(7)集金集計の印字が終了すると、集金作業終了の画面に変わります。

(8)集金作業終了の画面で、表示内容を確認し、**メインメニューへ**を押します。

【集金作業終了です】

お疲れ様でした。
集金した現金とレシートを
忘れずにお持ち下さい。

メインメニューへ



5.4 集計レポート

集計レポートは、一定期間の操作などの履歴（以下ログ）を分類して印字したり、データを集計したりして印字することができます。

印字できる項目は以下のとおりです。

- (1) 集金小計印字
- (2) 集金集計印字
- (3) 月度小計印字
- (4) 月度集計印字
- (5) 集金ログ印字
- (6) 月度ログ印字
- (7) 期間集計
- (8) 機械別集計
- (9) 時間帯別集計
- (10) 期間精算ログ

5.5 集計に関する用語

ここでは、集金、集計、小計、集計開始日、集計日および集計期間の説明と利用方法は、以下のとおりです。

5.5.1 集金

[5.3]集金 を実施し、売上データおよび金庫内の金額データの出力と金庫内の硬貨や紙幣を回収し、釣銭を補充する事を集金と呼びます。売上データおよび金庫内の金額データを出力した時に、硬貨や紙幣を回収しなくても[5.3]集金 を実施したことを集金とします。

5.5.2 集計

ここでの集計※1とは、[5.4]集計レポート の操作を実施し日々の売上金額を計算しその合計を表示する事を集計と言います。集金作業時や月毎の売上金額を確認する場合に、硬貨や紙幣を回収しなくても[5.5.12]集金集計印字や[5.5.14]月度集計印字 の操作を実施したことを集計とします。

5.5.3 小計

前回[5.5.12]集金集計印字 の集金集計と[5.5.14]月度集計印字 の月度集計操作を実施した日です。毎日[5.5.12]集金集計印字 の集金集計と[5.5.14]月度集計印字の月度集計操作を実施した場合は日毎の集計ができます。集計開始日は[5.5.11]集金小計印字 の集金小計と[5.5.13]月度小計印字の月度小計操作を行い、印字された用紙で確認できます。設置直後は出荷日に設定されています。

5.5.4 集計開始日

前回[5.5.12]集金集計印字 の集金集計と[5.5.14]月度集計印字 の月度集計操作を実施した日です。毎日[5.5.12]集金集計印字 の集金集計と[5.5.14]月度集計印字の月度集計操作を実施した場合は日毎の集計ができます。集計開始日は[5.5.11]集金小計印字 の集金小計と[5.5.13]月度小計印字の月度小計操作を行い、印字された用紙で確認できます。設置直後は出荷日に設定されています。

5.5.5 集計日

[5.5.12]集金集計印字 の集金集計と[5.5.14]月度集計印字 の月度集計操作を実施した日です。集計開始日は[5.5.11]集金小計印字 の集金小計と[5.5.13]月度小計印字 の月度小計操作を行い、印字された用紙で確認できます。

※1: 集計は、主に集金のたびに行なう場合と、月毎の売上データを出力する場合に使用するため、集金集計と月度集計の2種類の集計を使うのが一般的です。

5.5.6 集計期間とは

集計開始日から集計日の間の期間です。以降は各集計期間を図で示したものです

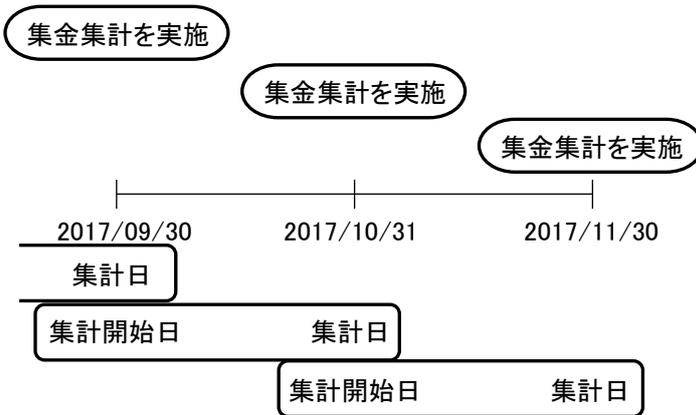


図 1 集計集計を毎月月末に実施した場合

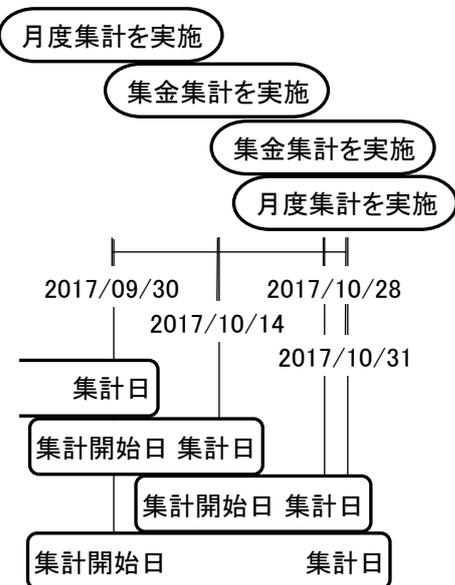


図 2 集計集計を2週毎に行い、月度集計を月末に実施した場合

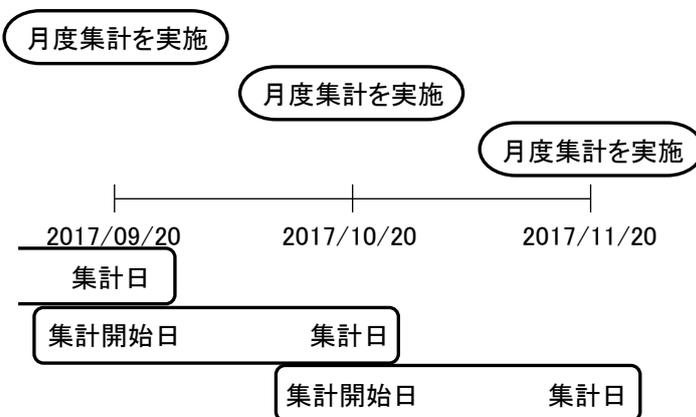


図 3 月度集計を20日締めで実施した場合

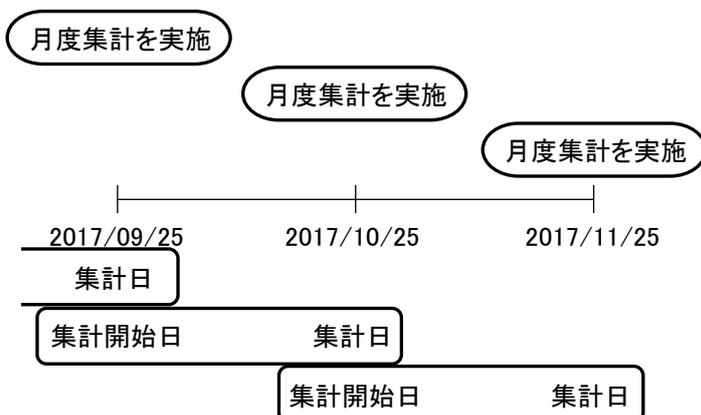


図 4 月度集計を25日締めで実施した場合

5.5.7 集金集計の利用方法

集金した紙幣および硬貨と集計結果を照合する場合に、[5.5.12]集金集計印字 を実施します。

5.5.8 集金小計の利用方法

集金開始日の確認や、現在の集金データのバックアップを取る場合に、[5.5.11]集金小計印字 を実施します。

5.5.9 月度集計の利用方法

集金するたびに、集金集計は実施されるため、別途売上げデータを表示する場合に、[5.5.14]月度集計印字 を実施します。

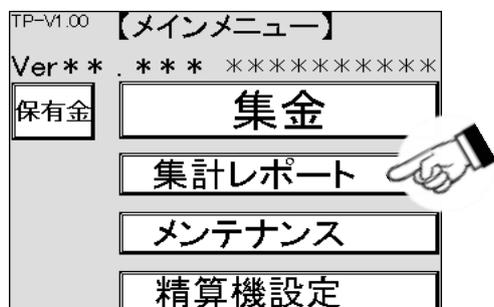
5.5.10 月度小計の利用方法

集金開始日の確認や、現在の集金データのバックアップを取る場合に、[5.5.13]月度小計印字を実施します。

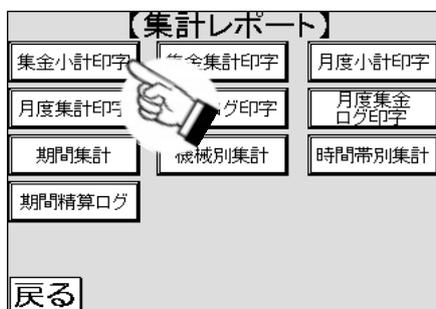
5.5.11 集金小計印字

売上データの小計を印字します。小計する期間は、集金集計を印字した日時から、集金小計の印字を開始する日時までの間です。集金小計の印字は、小計する期間の開始日を更新しませんので、何回印字しても開始日時は同一の日時となります。

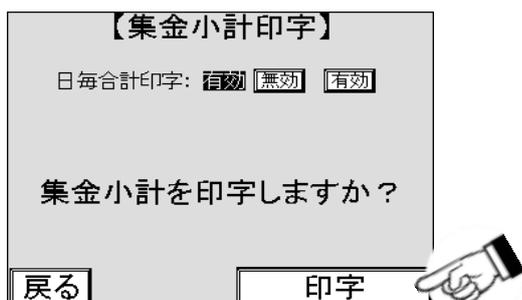
(1)メインメニューで**集計レポート**を押します。



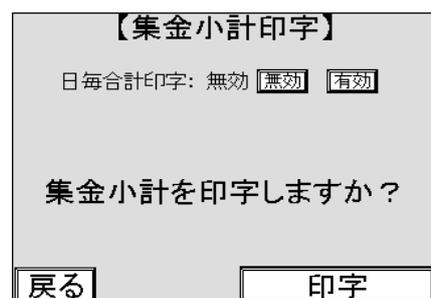
(2)集計レポート画面に変わります。**集金小計印字**を押します。



(3)集金小計印字画面が表示されますので、**印字**を押します。
集金小計が印字されます。



(4)日毎合計印字が不要な場合は、**無効**を押します。

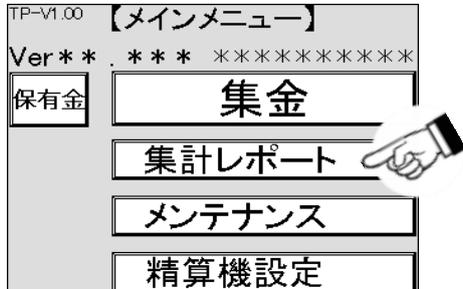


※印字するデータが無い場合は5回音が鳴り、印字されません

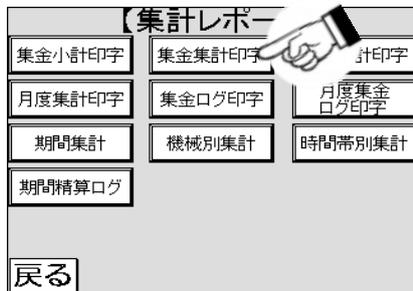
5.5.12 集金集計印字

売上データの集計を印字します。集計する期間は、集金集計を前回印字した日時から、今回印字を開始する日時までの間です。集金集計の印字では、集金集計と集金小計の集計期間の開始日時を更新しますので、いずれも以前の集計と同じ期間の集計を再度行うことはできません。集金集計印字では、電子マネーの締め処理※1が行なわれます。

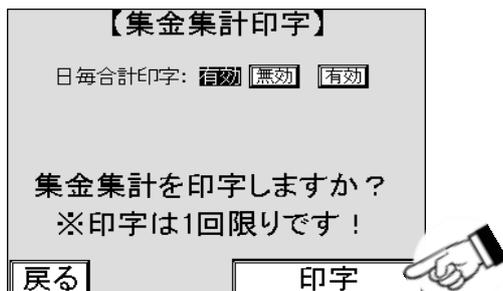
(1)メインメニューで **集計レポート** を押します。



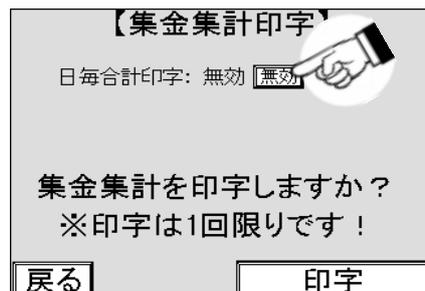
(2)集計レポート画面に変わります。 **集金集計印字** を押します。



(3)集金集計印字確認画面が表示されますので、 **印字** を押します。
集金集計が印字されます。



(4)日毎合計印字が不要な場合は、 **無効** を押します。



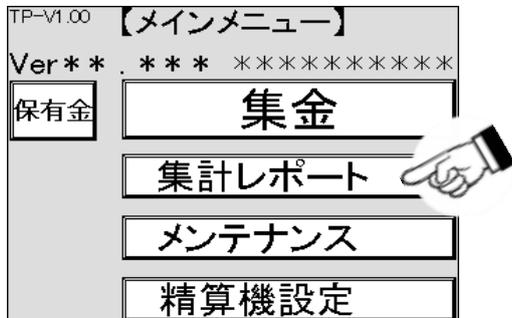
※印字するデータが無い場合は5回音が鳴り、印字されません

※1: オプションです

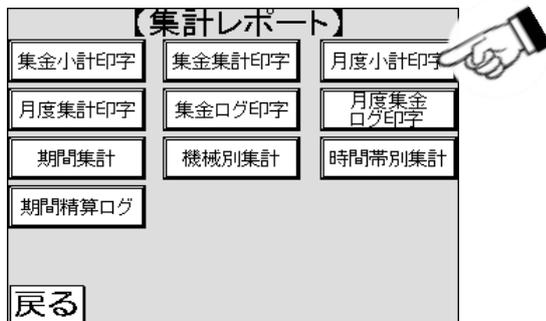
5.5.13 月度小計印字

売上データの月度小計を印字します。小計する期間は、月度集計を印字した日時から、月度小計の印字を開始する日時までの間です。月度小計の印字は、小計する期間の開始日を更新しませんので、何回印字しても開始日時は同一の日時となります。

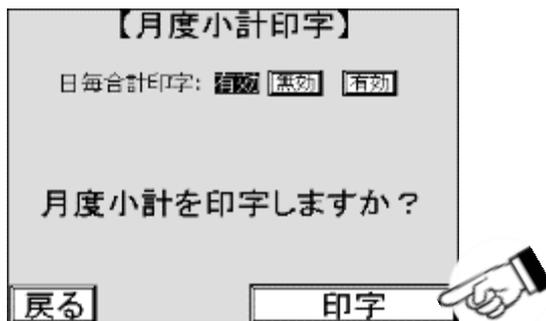
(1)メインメニューで**集計レポート**を押します。



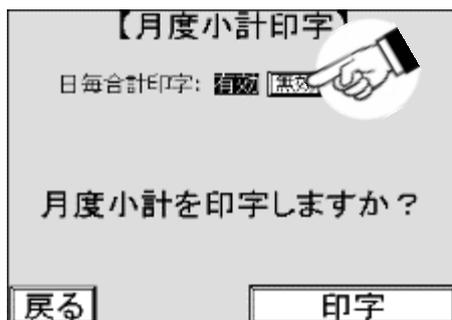
(2)集計レポート画面に変わります。**月度小計印字**を押します。



(3)月度小計印字画面が表示されますので、**印字**を押します。
月度小計が印字されます。



(4)日毎合計印字が不要な場合は、**無効**を押します。

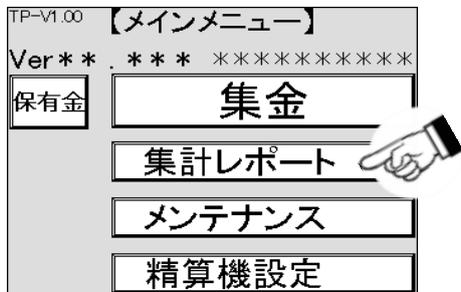


※印字するデータが無い場合は5回音が鳴り、印字されません

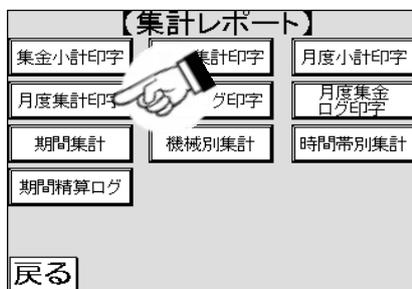
5.5.14 月度集計印字

売上データの月度集計を印字します。集計する期間は、月度集計を前回印字した日時から、今回印字を開始する日時までの間です。月度集計の印字では、月度集計と月度小計の集計期間の開始日時を更新しますので、いずれも以前の集計と同じ期間の集計を再度行うことはできません。集金計印字では、電子マネーの締め処理※1が行なわれます。

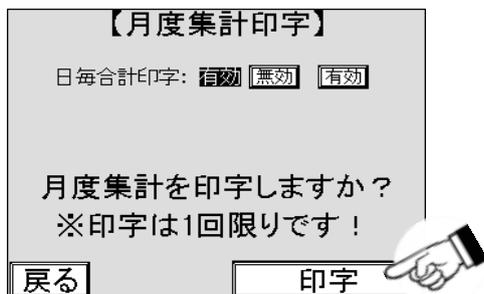
(1)メインメニューで「集計レポート」を押します



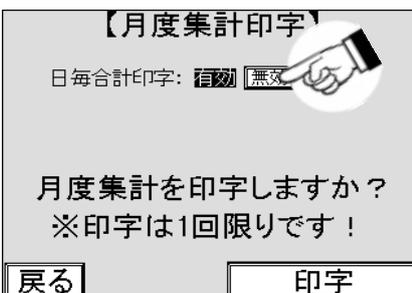
(2)集計レポート画面に変わります。「月度集計印字」を押します



(3)月度集計印字の確認画面に変わります。確認して「印字」を押します。
月度集計が印字されます。



(4)日毎合計印字が不要な場合は、「無効」を押します。

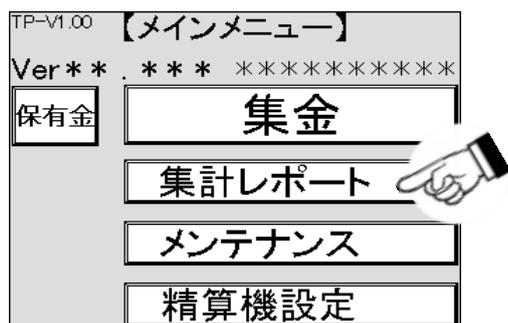


※印字するデータが無い場合は5回音が鳴り、印字されません

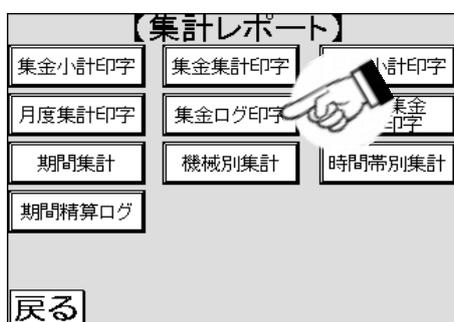
※1:オプションです

5.5.15 集金ログ印字

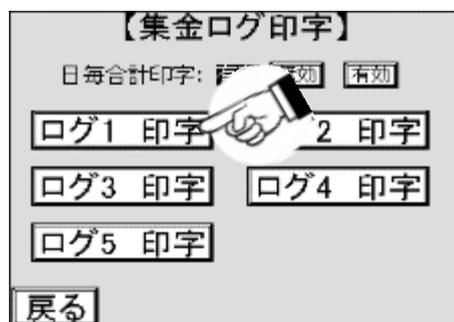
(1)メインメニューで**集計レポート**を押します。



(2)集計レポート画面に変わります。**集金ログ印字**を押します。



(3)集金ログ印字画面に変わります。印字するログのボタンを押します。**ログ1 印字**は
前回のログを意味し、過去5回まで遡って印字できます。

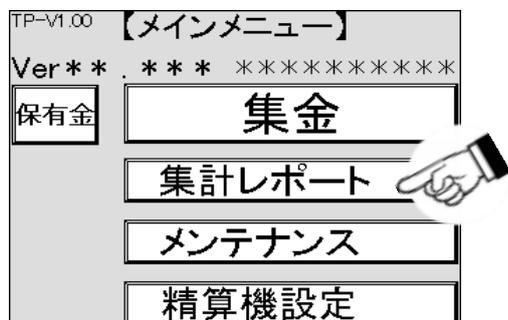


(4)集金ログが印字されます。

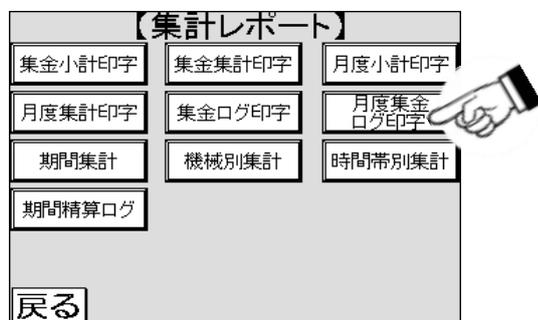
5.5.16 月度集金ログ印字

過去3回の月度集計内容を印字します。印字しても集計する期間の開始日を更新しません。

(1)メインメニューで**集計レポート**を押します。

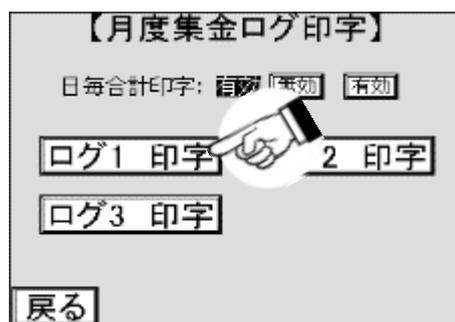


(2)集計レポート画面が表示されますので、**月度集金ログ印字**を押します。



(3)月度集金ログ印字の画面が表示されますので、印字するログのボタンを押します。

ログ1 印字は前回のログを意味し、過去3回まで遡って印字できます。

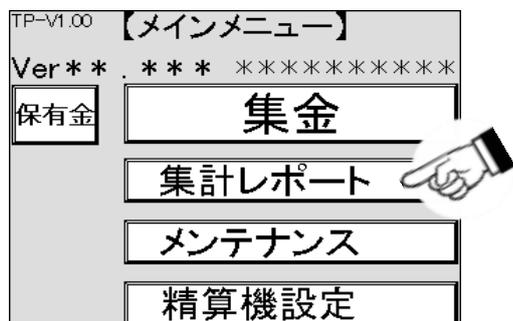


(4)月度集金ログが印字されます。

5.5.17 期間集計

指定した期間の売上データを日毎に集計し、印字します。

(1)メインメニューで**集計レポート**を押します。



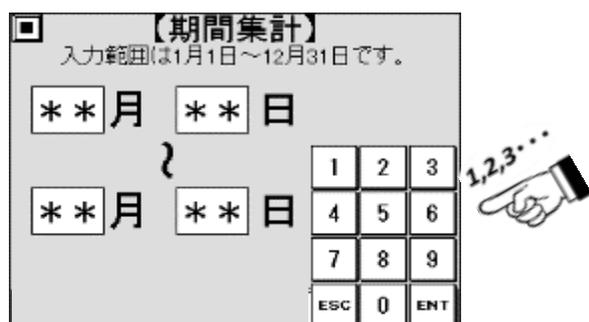
(2)集計レポート画面が表示されますので、**期間集計**を押します。



(3)期間集計の画面が表示されますので、月の数値が表示されている箇所を押します。



(4)数字キーがポップアップ表示されますので、希望する月を入力します。

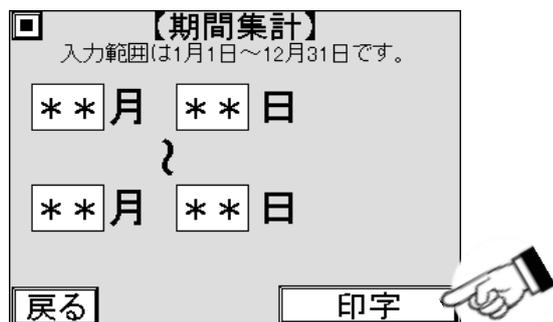


(5) **ENT** を押し、月の入力を確定します。



(6) 同様に他の月日を入力し、希望する期間を設定します。

(7) 希望する期間か確認し、**印字** を押します。



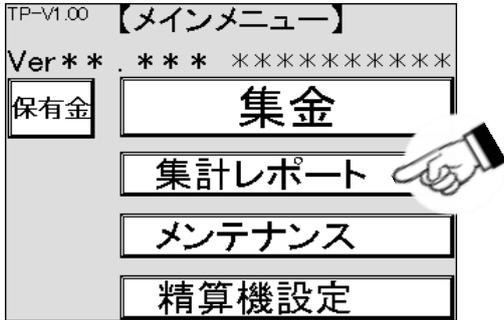
(8) 集金小計が印字されます。

※印字するデータが無い場合は5回音が鳴り、印字されません

5.5.18 機械別集計

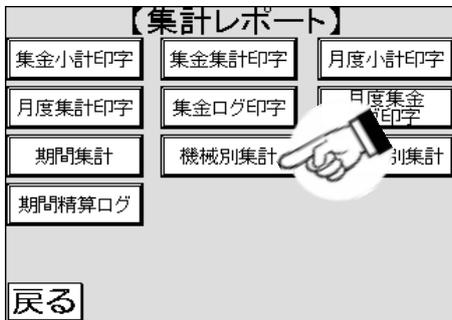
指定した期間の機械別の売上データを印字します。

(1) メインメニューで **集計レポート** を押します。



TP-V1.00 【メインメニュー】
Ver** . *** *****
保有金 集金
集計レポート
メンテナンス
精算機設定

(2) 集計レポート画面が表示されますので、**機械別集計** を押します。



【集計レポート】
集金小計印字 集金集計印字 月度小計印字
月度集計印字 集金ログ印字 日度集金印字
期間集計 機械別集計 別集計
期間精算ログ
戻る

(3) 機械別集計画面が表示されますので、年の数値が表示されている箇所を押します。



【機械別集計】
入力範囲は2000年1月1日～2000年12月31日です。
****年 **日
****年 **月 **日
戻る 印字

(4) 数字キーがポップアップ表示されますので、希望する年を入力します。



【機械別集計】
入力範囲は2000年1月1日～2000年12月31日です。
****年 **日
****年 **月 **日
1 2 3
4 5 6
7 8 9
ESC 0 ENT
1,2,3...

(5) **ENT** を押し、年の入力を確定します。

□ **【機械別集計】**
入力範囲は2000年1月1日～2000年12月31日です。
****年
**月 **日
?
****年
**月 **日
ESC 0 ENT

(6) 同様に他の年月日を入力し、希望する期間を設定します。

(7) 希望する期間か確認し、**印字** を押します。

□ **【機械別集計】**
入力範囲は2000年1月1日～2000年12月31日です。
****年
**月 **日
?
****年
**月 **日
戻る 印字

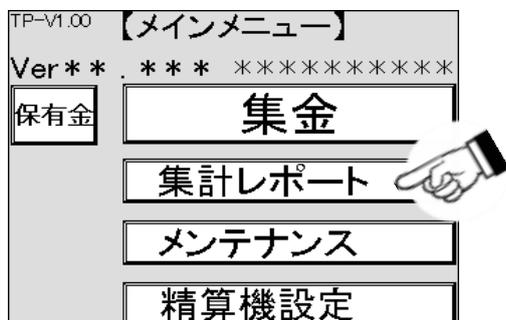
(8) 機械別集計が印字されます。

※印字するデータが無い場合は5回音が鳴り、印字されません

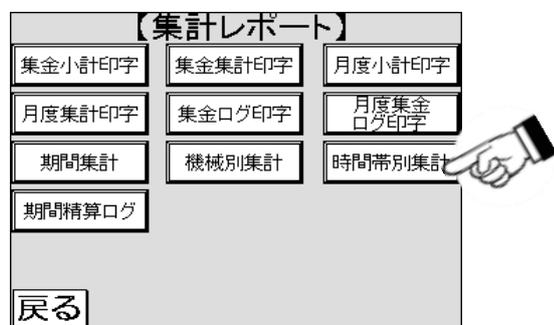
5.5.19 時間帯別集計

指定した期間の売上データを2時間毎に集計し、印字します。

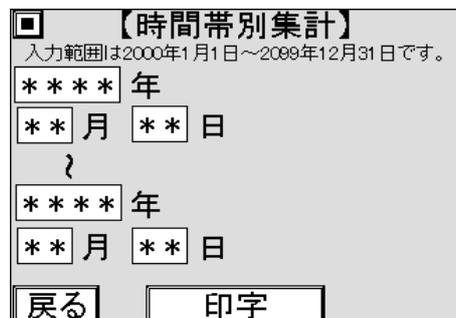
(1)メインメニューで**集計レポート**を押します。



(2)集計レポート画面が表示されますので、**時間帯別集計**を押します。



(3)時間帯個別集計の画面に変わります。



(4)年の数値が表示されている箇所を押します。



(5) 数字キーがポップアップ表示されますので、希望する年を入力します。

【時間帯別集計】
入力範囲は2000年1月1日～2099年12月31日です。

**** 年
** 月 ** 日
?
**** 年
** 月 ** 日

1	2	3
4	5	6
7	8	9
ESC	0	ENT

1,2,3...

(6) ENT を押し、年の入力を確定します。

【時間帯別集計】
入力範囲は2000年1月1日～2099年12月31日です。

**** 年
** 月 ** 日
?
**** 年
** 月 ** 日

1	2	3
4	5	6
7	8	9
ESC	0	ENT

(7) 同様に他の年月日を入力し、希望する期間を設定します。

(8) 希望する期間か確認し、印字 を押します。

【時間帯別集計】
入力範囲は2000年1月1日～2099年12月31日です。

**** 年
** 月 ** 日
?
**** 年
** 月 ** 日

戻る 印字

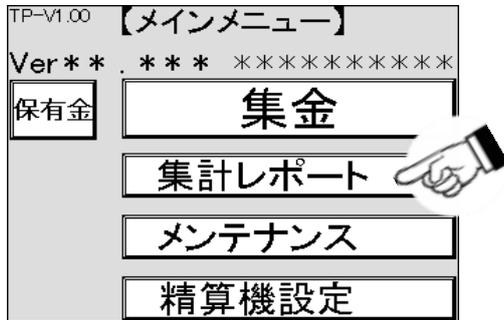
(9) 時間帯別集計が印字されます。

※印字するデータが無い場合は5回音が鳴り、印字されません

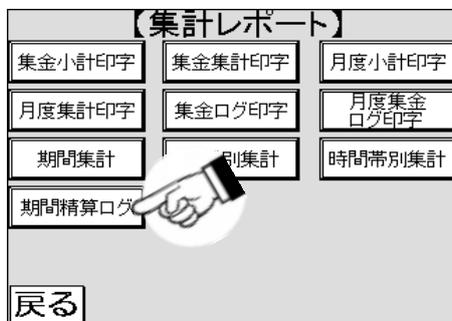
5.5.20 期間精算ログ

指定した期間の売上データを、印字します。

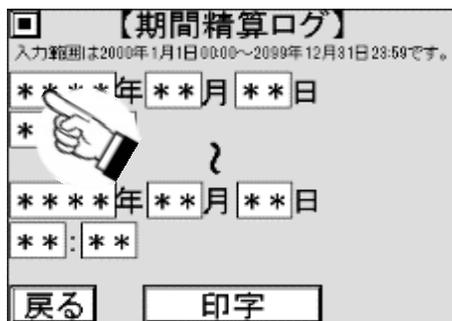
(1)メインメニューで**集計レポート**を押します。



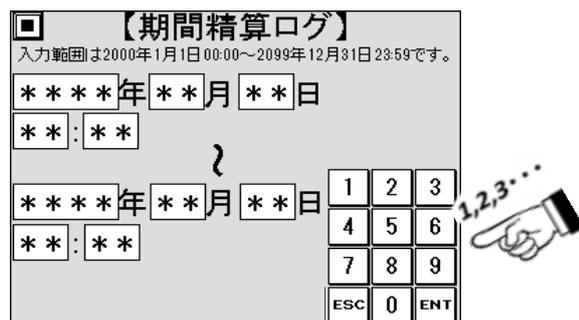
(2)集計レポート画面が表示されますので、**期間精算ログ**を押します。



(3)期間精算ログの画面が表示されますので、年の数値が表示されている箇所を押します。



(4)数字キーがポップアップ表示されますので、希望する年を入力します。



(5) **ENT** を押し、年の入力を確定します。

□ **【期間精算ログ】**
入力範囲は2000年1月1日00:00~2099年12月31日23:59です。

****年**月**日
:

****年**月**日
:

1	2	3
4	5	6
7	8	9
ESC	0	ENT

A hand icon points to the ENT key.

(6) 同様に他の年月日、時分を入力し、希望する期間を設定します。

(7) 希望する期間か確認し、**印字** を押します。

□ **【期間精算ログ】**
入力範囲は2000年1月1日00:00~2099年12月31日23:59です。

****年**月**日
:

****年**月**日
:

戻る **印字**

A hand icon points to the '印字' button.

(8) 期間精算ログが印字されます。

※印字するデータが無い場合は5回音が鳴り、印字されません

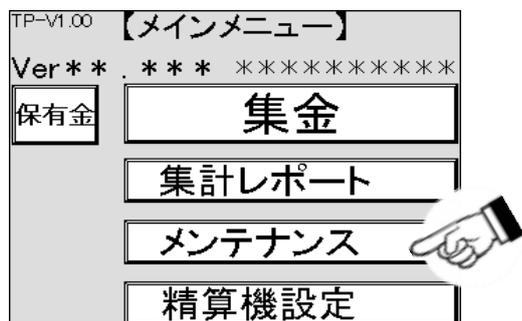
5.6 特殊操作

特殊操作とは、ログを消去したり、設定データの初期化をしたりする、通常のコインランドリー運営では使用頻度の低い操作をいいます。誤って操作しないように、別の操作をしながらタッチパネルを操作したり、ボタンが表示されていないタッチパネル上のある位置を押したりして操作します。

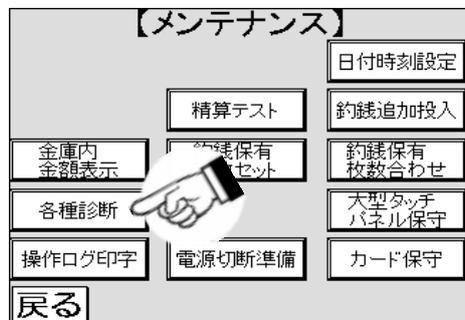
5.6.1 エラーログ消去方法

エラーログとは本機あるいは本機と接続している機器で異常が発生した場合に記録する履歴です。通常時は記録されることはありません。以下にエラーログの消去方法を説明します。

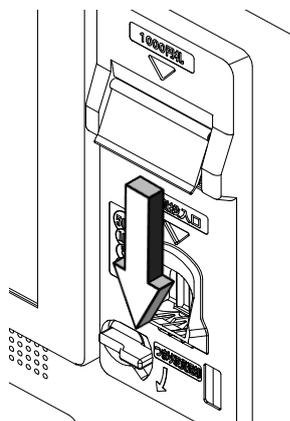
(1) メインメニューで **メンテナンス** を押します。



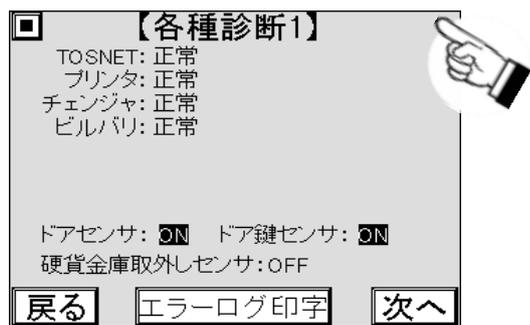
(2) **各種診断** を押します。



(3) 詰まり硬貨返却レバーを押し下げた状態で保持します。



(4)画面右上を押します。

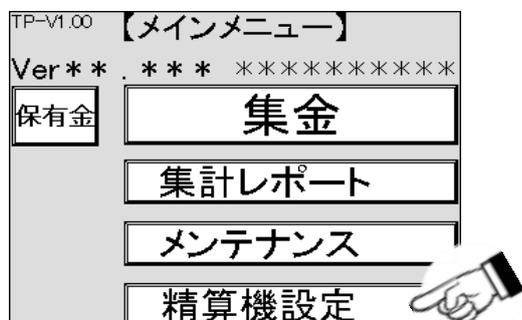


(5)エラーログが消去されます。

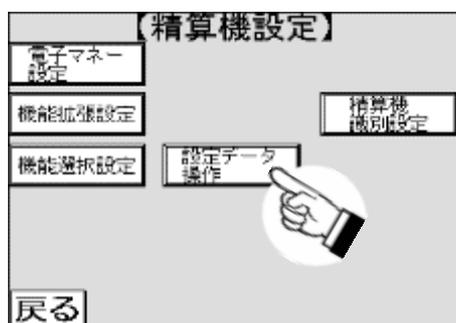
5.6.2 ログの初期化方法

本機では各種履歴、保有金関係の状態を保存しており、それらをログと呼びます。
以下にログを消去し、初期の状態にする手順を説明します。

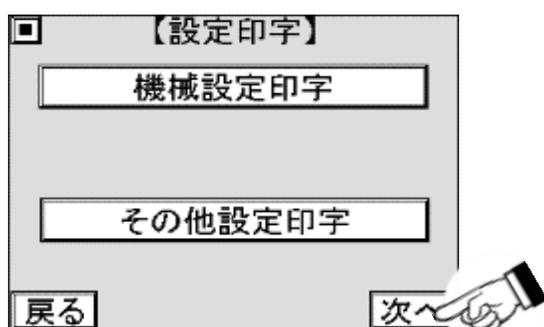
- (1) メインメニューで、**精算機設定**を押します。



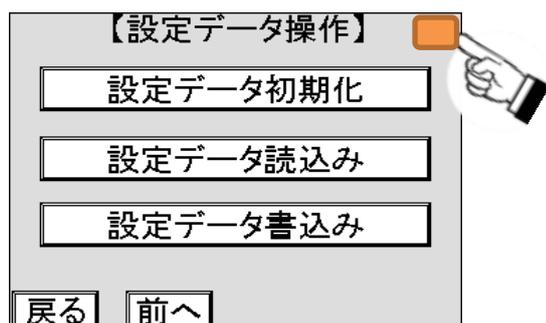
- (2) **設定データ操作**を押します。



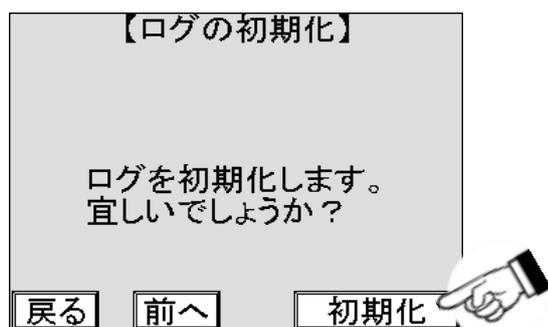
- (3) **次へ**を押します。



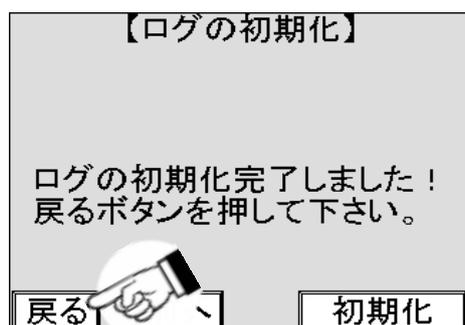
- (4) 画面右上を押します。



(5) **初期化**を押します。押すとログを初期化します。



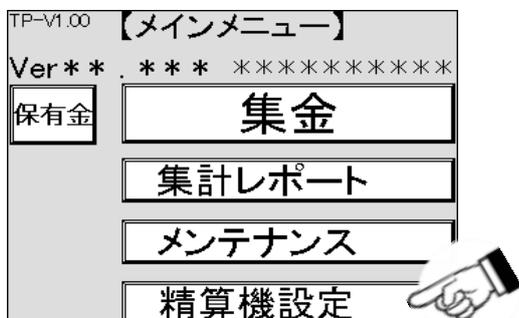
(6) ログが初期化されます。



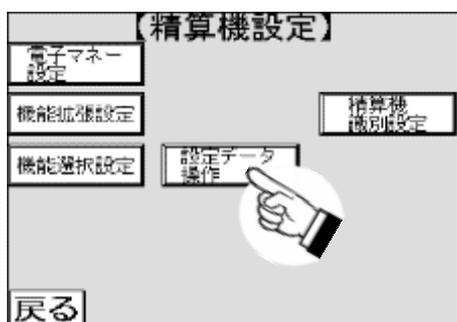
5.6.3 設定データクリア方法

設定データクリアは本機の設定データを初期化します。日付時刻も初期化されます。
以下にその手順を説明します。

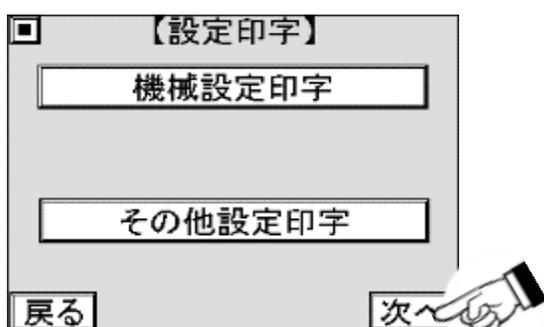
- (1) メインメニューで、**精算機設定**を押します。



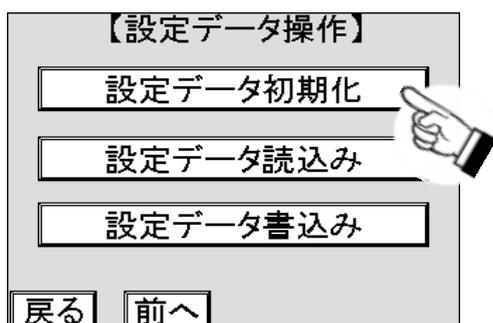
- (2) **設定データ操作**を押します。



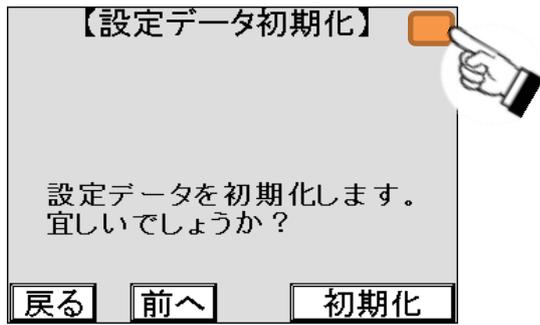
- (3) **次へ**を押します。



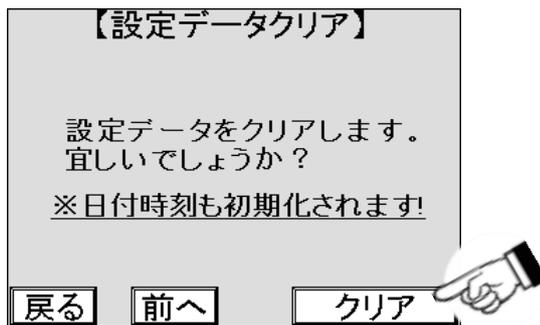
- (4) **設定データ初期化**を押します。



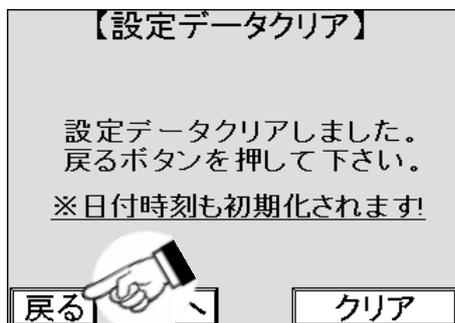
(5)画面右上を押します。



(6)「クリア」を押します。押すと設定データをクリアします。



(7)設定データがクリアされます。



6. その他の設定

本機では、コインランドリーの運営に応じて、さまざまな設定ができます。

設定についての詳細は、下記より記載しています。

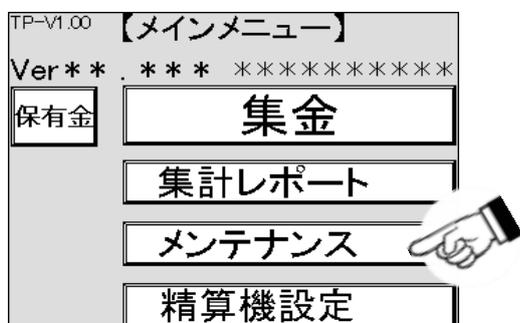
※以下の設定項で記載する設定項目の内容のうち、オプション機器が接続されていない場合、設定しても機能しない項目があります。

6.1 日付時刻設定

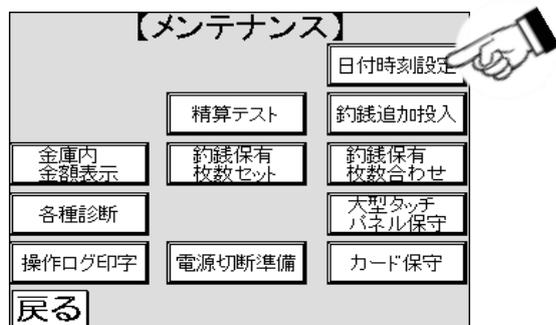
日付時刻は、本機出荷時に調整されています。基本的には、日本標準時と一致している必要がありますが、本機の誤差、コインランドリーの運営により調整がすることができます。

6.1.1 日付時刻の設定方法

(1)メインメニューで、**メンテナンス**を押します。

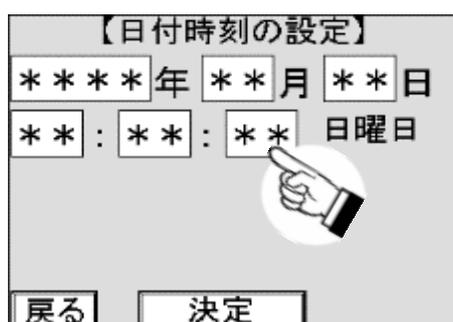


(2)メンテナンス画面で**日付時刻設定**を押します。

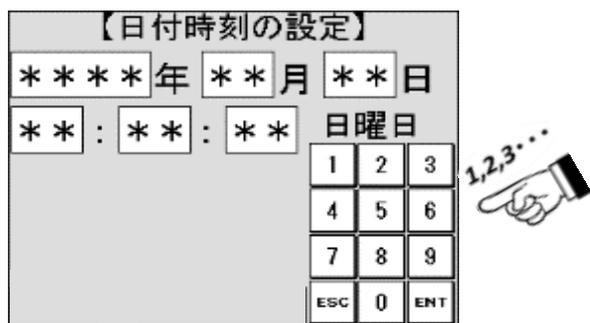


(3)日付時刻の設定の画面が表示されますので、変更する数値が表示されている箇所を押します。

ここでは曜日を表示している箇所を押します。



(4) 数字キーがポップアップ表示されますので、変更後の数値を入力します。



(5) **ENT** を押し、値を確定します。



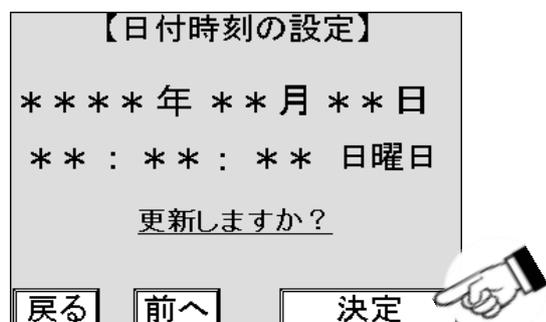
(6) 変更したい他の数値がある場合は、同様の手順で変更します。

(7) 変更が完了したら、**決定** を押します。



(8) 確認画面が表示されますので、表示が変更内容に相違が無ければ**決定** を押し、設定を完了します。

変更内容に相違があり再変更する場合や日付時刻の設定をやめる場合、**戻る**、**前へ** を押します。



6.2 機能拡張

機能拡張は4つの機能からなり、各々の設定でユーザーの運営状況を柔軟に設定することができます。

6.2.1 警報信号時間

ドアを[2.4]ドアの開け方以外の手順で開けられた場合に、盗難信号を出力する時間設定ですが、本機では使用しません。

6.2.2 営業開始時刻、営業終了時刻

営業開始時刻、終了時刻とは音声案内をする時間帯の設定です。
設定範囲は00:00～24:00で初期値は00:00～24:00です。

6.2.3 音声抑制開始、音声抑制終了

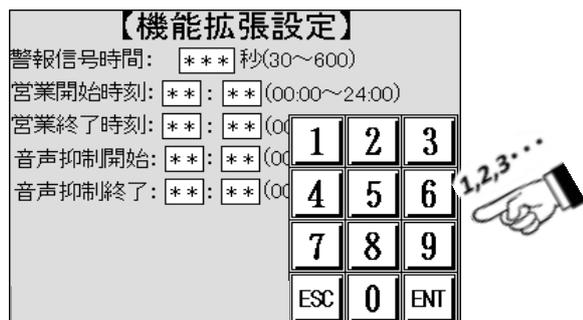
本機周辺的环境雑音が変化することで、設定された音量では音声を聞き取りにくいことがあります。
この変化を時間帯で設定し、音声案内の音量を抑制することができます。

6.2.4 バックライト設定

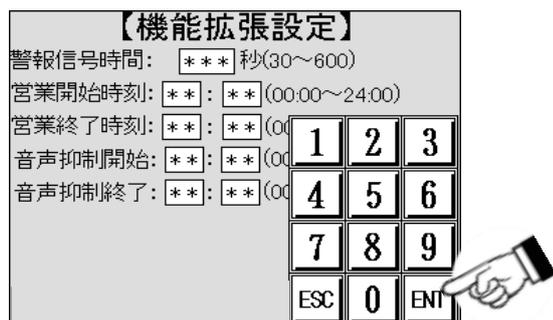
タッチパネルのバックライトの明るさを1～15で設定でき、数字が大きくなるほど明るくなります。
また、待機時と動作時、通常時と抑制時を組み合わせることで、夜間の眩しさを抑えたり、省エネや、バックライトの寿命を伸ばしたりするために切り替えることができます。

- (1) 待機時は、使用しません。
- (2) 動作時は、ドアを開けたときの保守タッチパネルの状態をいいます。
- (3) 通常時明るさは、抑制時明るさの設定時刻外の明るさです。
- (4) 抑制時明るさは、1日の中で、ある時刻間だけ明るさを変更する設定をしたときの明るさのことをいいます。
- (5) 抑制開始と抑制終了は、抑制時明るさを適用する時刻間のことです。
- (6) 動作時間は、使用しません。

(4) 数字キーがポップアップ表示されますので、値を入力します。



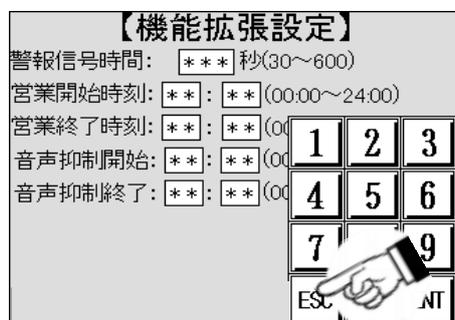
(5) 値を確認し、**ENT**を押すと値が確定します。



(6) 数字キーは消えますので、値を確認したら、**保存**を押します。



(7) 入力を途中で間違えた場合は、**ESC**を押すと値が消え、値の入力をやり直せます。

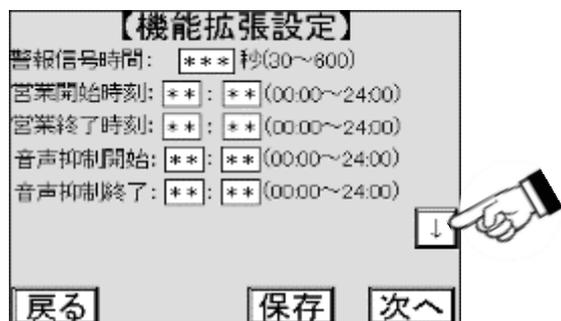


(8) **ENT**を押した後に値を修正する場合は、(3)からやり直します。

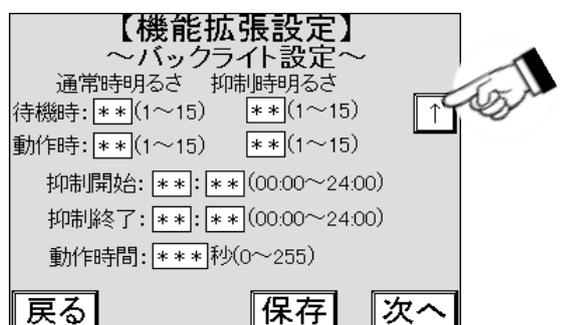
6.3.2 バックライト設定への切り替え

その他の設定画面へは、  で必要な項目のある画面に切り替えます。

(1)最初の機能拡張画面には  だけ表示され、押すと次の画面に切り替えます。



(2)最後の機能拡張画面は  だけ表示され、押すと(1)の画面に切り替わります。



6.4 精算機識別設定

精算機識別設定では、領収書に印字するコインランドリーの情報を設定します。

6.4.1 顧客区分

顧客毎に割り当てられる番号ですが、本機では使用しません。

6.4.2 店舗JISコード印字

JISコードで登録した店舗名をレシート用紙に印字して確認することができます。

以下の印字例は、店舗名1にコインランドリーどるふいん、店舗名2に伊豆の国店と設定したものです。



6.4.3 店舗名設定

領収書に印字する店舗名やメッセージを設定します。

店舗名は1から6まで領収書の異なる位置に割り当てられます。

1つの店舗名に13文字まで、最大で78文字まで

JIS又はシフトJISの文字コードで設定できます。

※JISコード参照

(文字コード表-日本語(シフト JIS)) <https://uic.jp/charset/show/cp932>



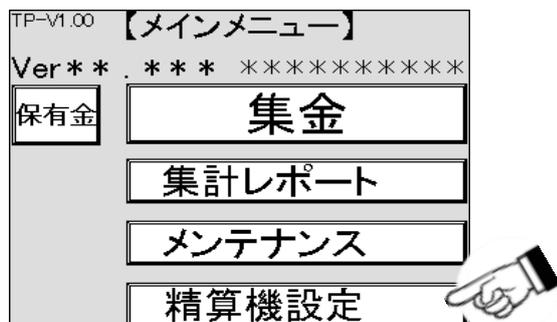
6.5 精算機識別設定の操作

6.5.1 顧客区分の設定方法

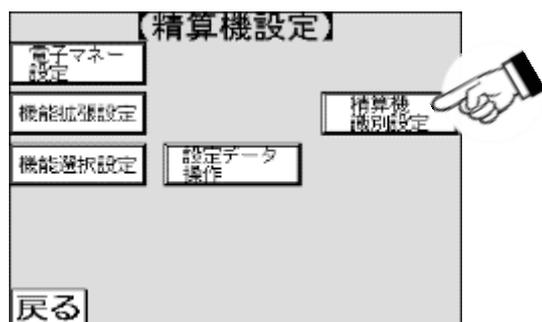
顧客毎に割り当てられる番号ですが、本機では使用しません。

6.5.2 店舗名の設定

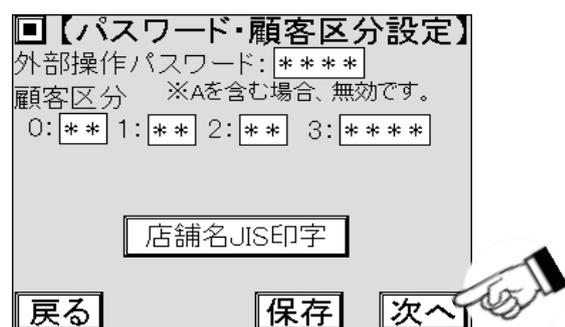
(1)メインメニューで**精算機設定**を押します。



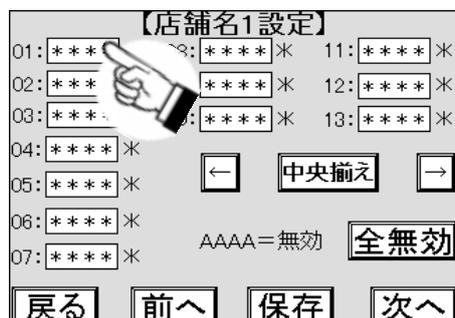
(2)精算機設定の画面で、精算機識別設定を押します。



(3)パスワード・顧客区分設定の画面で、**次へ**を押します。



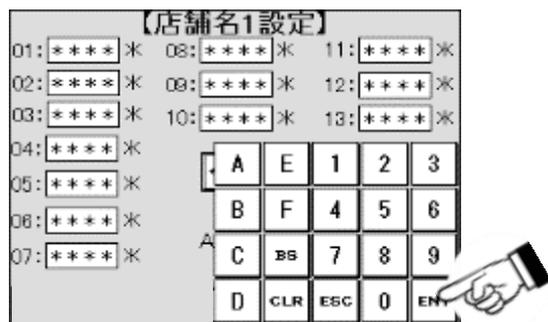
(4)店舗名1設定の画面が表示されますので、文字コードの表示されている箇所を押します。



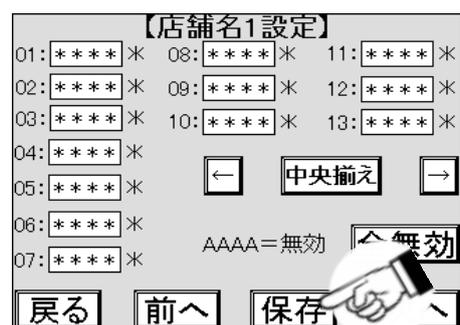
(5) 数字キーがポップアップ表示されますので、文字コードを入力します。



(6) 値を確認し、**ENT**を押すと値が確定します。必要に応じて、2文字 ~ 13文字も同様に設定します。



(7) 内容を確認して、**保存**を押し、設定を保存します。



(8) 店舗名が13文字を超える場合、**次へ**を押します。



(9) 店舗名2設定の画面が表示されますので、文字を設定して「次へ」を押していくことで

店舗名3～店舗名6の設定をします。

【店舗名2設定】

01: **** * 08: **** * 11: **** *
 02: **** * 09: **** * 12: **** *
 03: **** * 10: **** * 13: **** *
 04: **** *
 05: **** * ← 中央揃え →
 06: **** *
 07: **** * AAAA=無効 全無効

戻る 前へ 保存 次へ

(10) 「前へ」を数回押し、店舗名JIS印字の画面まで移動します。

【店舗名1設定】

01: **** * 08: **** * 11: **** *
 02: **** * 09: **** * 12: **** *
 03: **** * 10: **** * 13: **** *
 04: **** *
 05: **** * ← 中央揃え →
 06: **** *
 07: **** * AAAA=無効 全無効

戻る 前へ 保存 次へ

(11) 「店舗名JIS印字」を押し、店舗名JIS印字を行います。

【パスワード・顧客区分設定】

外部操作パスワード: **** *
 顧客区分 ※Aを含む場合、無効です。
 0: ** 1: ** 2: ** 3: **** *

店舗名JIS印字

戻る 保存 次へ

店舗名JIS印字(例)

.....店舗名JIS印字.....

精算機ID 00-01-02-1234

店舗名-11	8352hex	=	コ
店舗名-12	8343hex	=	イ
店舗名-13	8393hex	=	ン
店舗名-14	8389hex	=	ラ
店舗名-15	8393hex	=	ン
店舗名-16	8368hex	=	ド
店舗名-17	838Ahex	=	リ
店舗名-18	815Bhex	=	ー
店舗名-19	82C7hex	=	ど
店舗名-1A	82E9hex	=	る
店舗名-1B	82D3hex	=	ふ
店舗名-1C	82A1hex	=	い
店舗名-1D	82F1hex	=	ん
店舗名-21	88C9hex	=	伊
店舗名-22	93A4hex	=	豆
店舗名-23	82CChex	=	の
店舗名-24	8D91hex	=	国
店舗名-25	9358hex	=	店
店舗名-26	AAAAhex	=	
	.		
	.		
	.		

6.6 機能選択設定1

機能選択設定では有効または無効で本機の動作をいずれかに切り替える設定をします。
以下に切り替えられる機能と動作の説明をします。

6.6.1 集金詳細印字

集金集計に日毎の詳細を印字する設定をします。
初期値は無効です。

6.6.2 人検知機能

本機では使用しません。

6.6.3 保有金簡易操作

ビルバリ開時の紙幣データクリア操作を省略し、自動的にクリアする設定をします。
初期値は無効です。

6.6.4 料金案内

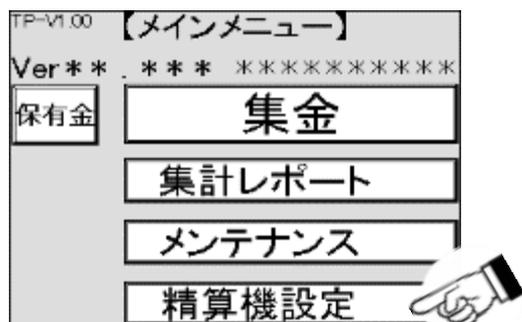
精算画面で料金を読み上げる有無を設定します。
初期値は無効です。

6.6.5 再度集金集計印字

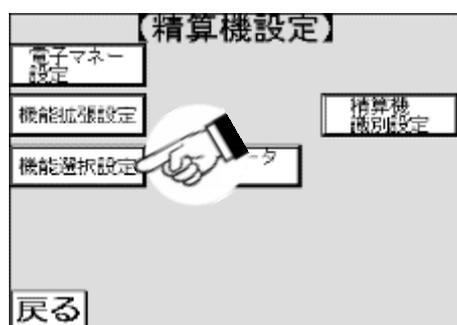
メインメニューの集金ボタンで集金作業を行った際、集金作業の最後に再度集金集計を印字する画面を表示するかの設定をします。集金集計を集金前後に行う場合に使用します。
初期値は無効です。

6.7 機能選択設定1の操作

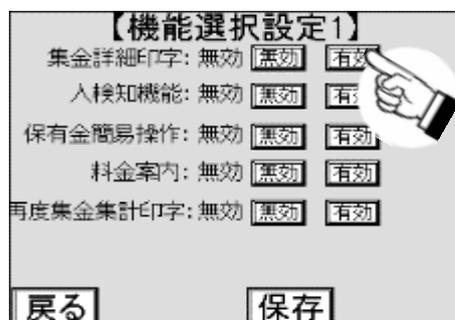
(1)メインメニューで**精算機設定**を押します。



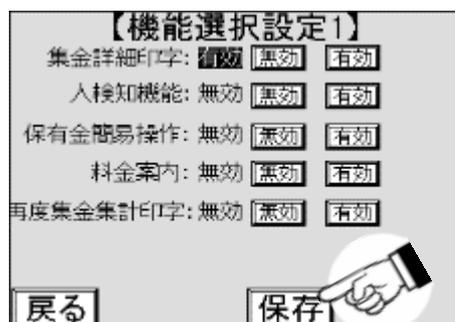
(2)精算機設定画面で**機能選択設定**を押します。



(3)機能選択設定1の画面が表示されますので、設定が必要な項目の**有効**または**無効**を切り替えます。



(4)内容を確認して、**保存**を押し、設定を保存します。



6.8.2 設定データ操作方法

設定データの初期化の方法、書込まれた設定データの読み込み方法、設定データの書き込み方法を説明します。

■ 設定データ初期化

本機の設定変更を削除し、出荷時の設定状態にします。

■ 設定データ読み込み

「設定データ読み込み」で保存された設定データに、設定を変更します。

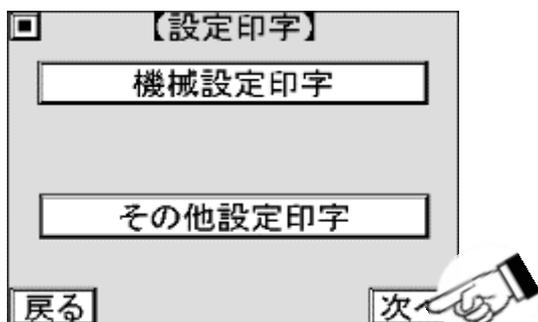
■ 設定データ書き込み

本機で設定したデータを保存します。

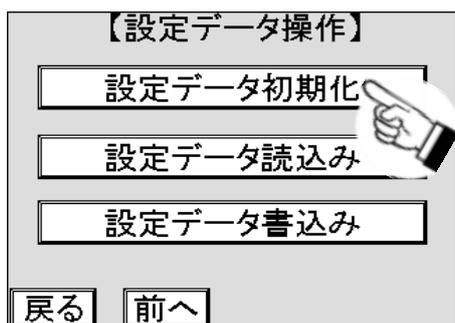
この操作で保存した設定は「設定データ初期化」後も残ります。

※この操作を行うと、コース3のコース名が消えてしまうので、再度コース名を設定してください。

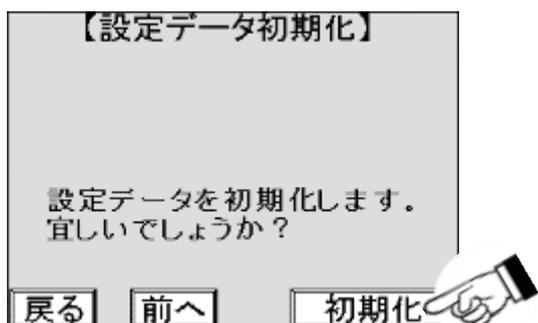
(1) 設定印字画面で「次へ」を押します。



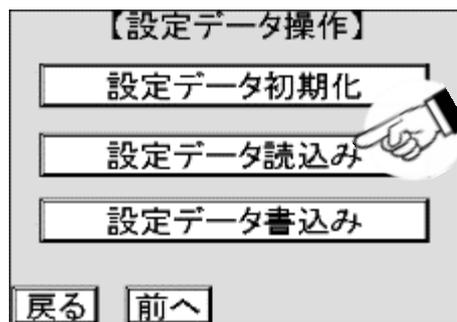
(2) 設定データ操作画面が表示されますので「設定データ初期化」を押します。



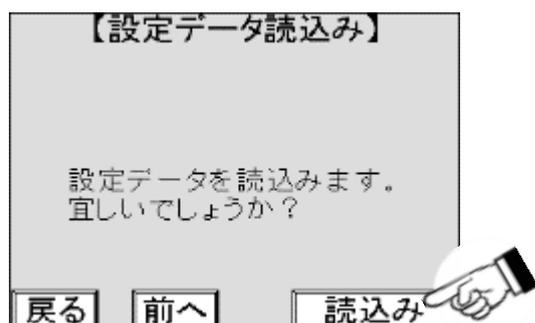
(3) 「初期化」を押すと設定データが初期化されます。



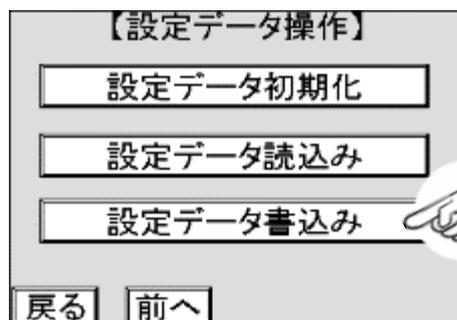
(4) **設定データ読み**を押します。



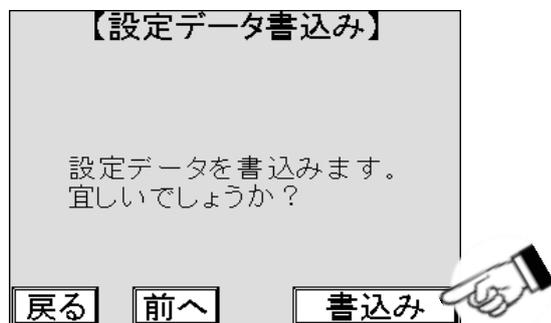
(5) **読み**を押すと、設定データを読み込みます。



(6) **設定データ書込み**を押します。



(7) **書込み**を押すと、設定データを書込みます。



7. トラブルシューティング

以下の表は本機のトラブルが発生した場合の処置・対応表です。

該当するトラブルが発生した場合、症状・原因を確認し、トラブルの処置・対応を行ってください。

7.1 症状と原因、対応

機器の主な症状から、推定される原因と対応を記載します。

No.	症状	原因	処置・対応
1	硬貨を受付けない	コインチェンジャ内に硬貨が詰まっている	詰まっている硬貨を取り除いてください
		コインチェンジャが汚れている	コインチェンジャをクリーニングしてください
		コインチューブが外されている	コインチューブを装着してください
		コインチェンジャとの通信エラー	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行ってください。
2	紙幣を受付けない	紙幣が詰まっている	詰まった紙幣を取り除いてください
		紙幣識別機が汚れている	紙幣識別機内部をクリーニングしてください
		紙幣スタッカが満杯になっている	紙幣を収集してください
		紙幣が濡れている	濡れている紙幣は受付けません
		ビルバリとの通信エラー	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行ってください。
3	釣銭が出てこない	硬貨通路、又は釣銭取出し口での硬貨詰まり	詰まっている硬貨を取り除いてください 硬貨通路が汚れている場合はクリーニングしてください
		釣銭切れ	釣銭を補充してください
		硬貨がコインチェンジャのチューブに縦に入っている	硬貨を入れ直してください
4	領収書が出てこない	用紙がセットされていない	用紙をセットしてください
		幅の広い用紙をセットしている	正規の用紙を使ってください
		プリンタとの通信エラー	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行ってください。
		プリンタの電源が入っていない	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行ってください。
		精算機制御基板の故障	精算機制御基板を交換してください
5	中止ボタンを押してもお金が戻ってこない	コインチェンジャ、又は硬貨通路に硬貨詰まり	詰まっている硬貨を取り除いてください
		紙幣が詰まっている	詰まった紙幣を取り除いてください
6	プリペイドカードを受付けない	カードの挿入方向が違っている	正規な向き、方向で再挿入してください
		カード、又は異物が詰まっている	詰まっているカード、異物を取除いてください
		カードリーダーとの通信エラー	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行ってください。

No.	症状	原因	処置・対応
6	プリペイドカードを受付けない	カードの挿入方向が違っている	正規な向き、方向で再挿入してください
		カード、又は異物が詰まっている	詰まっているカード、異物を取除いてください
		カードリーダーとの通信エラー	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行ってください。
7	画面が表示されない	電源が入っていない	モニタあるいはNUCの電源スイッチを確認し、電源をONしてください
		タッチパネルとの通信エラー	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行ってください。
		タッチパネルの故障	タッチパネルを交換してください
		精算機制御基板の故障	精算機制御基板を交換してください
8	音声が出力されない	電源が入っていない	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行ってください。
		精算機との通信エラー	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行ってください。
		スピーカの故障	スピーカを交換してください
		音声基板の故障	基板を交換してください
9	ユーザー操作画面で操作中停電が発生し、復電後約60秒でホーム画面へ戻ってしまう	操作画面中の停電発生時、復電処理としてホーム画面へ移行する。	復電後、60秒以内にタッチパネルを操作してください。
10	復電時にフリーズしてしまう	バッテリー切れ	バッテリーを交換してください。

7.2 各種診断の表示エラー原因と対応

保守用タッチパネルの各種診断画面で表示されるエラーの原因と対応を記載します。

機器	エラー表示	原因	処置・対応
TOSNET	通信異常	受信データ異常、応答なし	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行なってください。 TOSNETあるいは本機の制御基板の状態を確認してください。
	通信エラー	受信キャラクタのエラー	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行なってください。 TOSNETあるいは本機の制御基板の状態を確認してください。
	フォーマットエラー	ASCIIコード以外のコードを受信した	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行なってください。 TOSNETあるいは本機の制御基板の状態を確認してください。
	コマンドエラー	対応していないコマンドを受信した	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行なってください。 TOSNETあるいは本機の制御基板の状態を確認してください。
	パラメータエラー	コマンドに対応しないパラメータを受信した	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行なってください。 TOSNETあるいは本機の制御基板の状態を確認してください。
	データ長エラー	受信したデータ長と受信したデータ量が合わない	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行なってください。 TOSNETあるいは本機の制御基板の状態を確認してください。
	BCCエラー	受信したデータのBCCと受信したBCCが合わない	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行なってください。 TOSNETあるいは本機の制御基板の状態を確認してください。
	受信タイムアウトエラー	受信開始から一定時間内に受信終了コードを受信できない	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行なってください。 TOSNETあるいは本機の制御基板の状態を確認してください。
	機器間通信異常	TOSNETと洗濯乾燥機、洗濯機、乾燥機との通信異常	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行なってください。 TOSNETあるいは洗濯乾燥機の状態を確認してください。
	サーバエラー	TOSNETと小型サーバの通信異常	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、配線を行なってください。 TOSNETあるいは小型サーバの状態を確認してください。

プリンタ	用紙無し	用紙切れの状態。 プリンタに用紙が供給されていない。	プリンタの状態を確認して、 プリンタ用紙をセットしてください
	ニアエンド	用紙が残り少ない状態。 ニアエンドセンサに 光が透過しないくらいの 汚れが付着。	プリンタの状態を確認して、 プリンタ用紙を交換してください。 ニアエンドセンサから 汚れを取り除いてください。
	異常	プリンタと制御基板の通信異常。 紙送りローラーユニットが セットされていない。	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、 配線を行なってください。 紙送りローラーユニットを セットしてください。
チェンジャ	金庫満杯	硬貨金庫が満杯になっている	金庫内の硬貨を回収してください
	アクセプター異常	アクセプターが異常。 硬貨詰まりが発生している。	アクセプターの状態を確認してください。 硬貨詰まりがあれば、 硬貨を取り除いてください。
	エンプティSW異常	コインチューブの満杯センサと エンプティSWが両方検知している	コインチューブおよび アクセプターの状態を確認してください。 硬貨詰まりがあれば 硬貨を取り除いてください。
	返却SW異常	返却レバーが押され続けている 状態になっている	返却レバーを確認して、 返却レバーを戻してください
	払出異常	払出し駆動部が異常	払出し駆動部の状態を確認して、 インベントリスイッチを押して 硬貨を1枚払いだしてください
	チューブセット 異常	コインチューブが しっかりセットされていない	コインチューブの状態を確認して、 再セットしてください
	パルスSW異常	硬貨の払出しを検知できなかった	コインチューブを再セットして、 精算テストを行なってください
通信異常	制御基板とチェンジャ間で 通信ができていない	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、 配線を行なってください。 制御基板あるいは チェンジャの状態を確認してください。	
ビルバリ	識別機異常	紙幣識別部が異常	紙幣識別部を確認してください。 ビルバリのクリーニングをしてください
	スタッカ異常	スタッカが異常	スタッカの状態を確認してください
	紙幣詰まり異常	紙幣詰まりが発生している	紙幣を取り除いてください
	払出異常	紙幣の払出しに失敗	紙幣を取り除いてください
	金庫満杯	紙幣金庫が満杯	紙幣金庫から紙幣を回収してください
	金庫開	紙幣金庫が開いている	紙幣金庫を閉めてください
	通信異常	制御基板とビルバリ間で 通信ができていない	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、 配線を行なってください。 制御基板あるいは ビルバリの状態を確認してください。
電子マネー	通信異常	制御基板と 電子マネー決済ユニット間で 通信ができていない	ハーネスの接触不良・未接続を確認し、 配線を行なってください。 制御基板あるいは 電子マネー決済ユニットの状態を 確認してください。
	異常発生	電子マネー決済ユニットの異常	電子マネー決済ユニットの状態表示や 状態LEDを確認して、 機器の状態を確認してください。

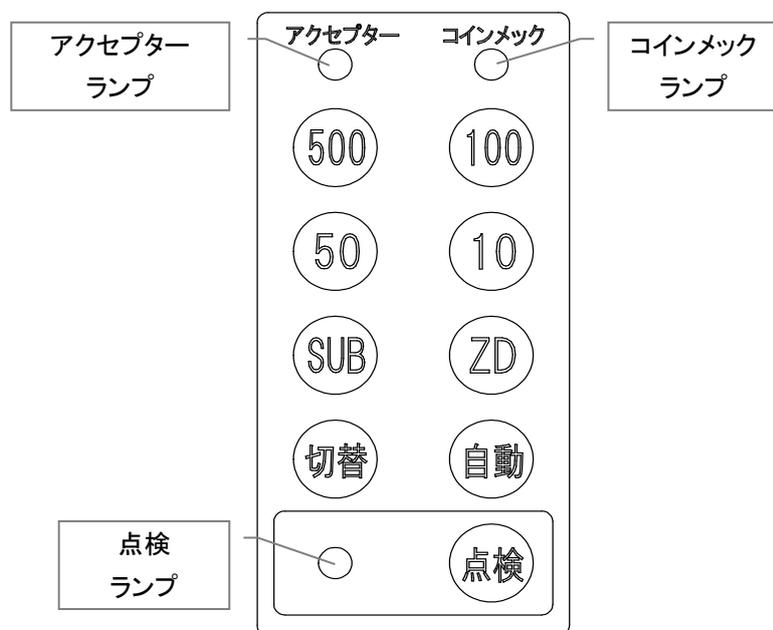
7.3 コインチェンジャ状態表示と対応

コインチェンジャのランプの点灯状態によるエラーと対応を説明します。

症状や各種診断以外の方法でコインチェンジャの状態を判断する場合は以下をご確認ください。

7.3.1 コインチェンジャ状態表示ランプ箇所

コインチェンジャの状態表示ランプは以下の図の各箇所にあります。



7.3.2 コインチェンジャ状態と対応

コインチェンジャの状態と対応方法は以下の通りです。

状態	アクセプターランプ	コインメックランプ	点検ランプ	処置・対応
正常時	赤点灯	黄点灯	消灯	
アクセプター部の異常時	赤点滅	黄点灯	消灯	アクセプターの状態を確認してください。硬貨が詰まっている場合は、取り除いてください。
コインメック部の異常時	赤点灯	黄点滅	消灯	コインチューブがしっかりセットされているか確認してください。コインチューブを再セットしてください。
受け入れ率が低下した時	赤点滅	黄点灯	点灯	クリーニングの時期になりました。コインチェンジャをクリーニングしてください。
払出しモータロック時	赤点灯	黄点滅	点灯	各硬貨のインベントリボタンを押して、硬貨払出し部の動作を確認してください。

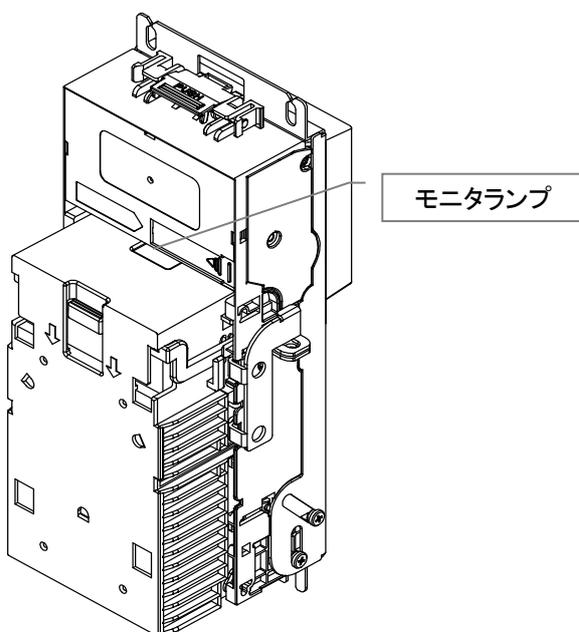
7.4 ビルバリ状態表示と対応

ビルバリのモニタランプの点灯状態によるエラーと対応を説明します。

症状や各種診断以外の方法でビルバリの状態を判断する場合は以下をご確認ください。

7.4.1 ビルバリのモニタランプ箇所

ビルバリの状態表示ランプは、以下の図の箇所にあります。



7.4.2 ビルバリのモニタランプ表示

ビルバリの状態と対応方法は以下の通りです。

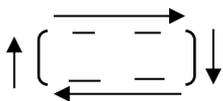
状態	モニタランプ	処置・対応
正常	消灯	
スタッカ開状態	赤点灯	スタッカの状態を確認してください。 スタッカが開いている場合は、 確実に閉めてください。
機器異常	赤点灯	紙幣が詰まっている場合は、 取り除いてください。 センサの汚れの場合は清掃してください。
本体側異常	赤・緑交互点滅	本体の状態を確認してください。 本体が開いている場合は、 確実に閉めてください。
センサ汚れ	赤点滅	識別センサの状態を確認してください。 識別センサを清掃してください。
点検通知	緑点灯	紙幣識別機の点検を行なってください。 電源をオンオフして、 精算テストで紙幣の認識を確認してください。

7.5 プリペイドカードリーダー状態表示と対応

プリペイドカードリーダーのエラー表示について説明します。

7.5.1 プリペイドカードリーダーの表示

数値表示器の基本的な表示と、その意味は以下の通りです。

状態	意味
L_2.1	バージョン 電源投入時に約2秒間表示します。 本機のバージョンナンバーを表示します。
EECL	EE-PROMクリア状態 本機の動作に関する設定が何も設定されていない状態を表します。 各設定を行ってください。
n-id	エラー状態 IDが設定されていない状態を表します。 ユーザーカードを挿入して設定を行ってください。
n-SE	エラー状態 動作設定がされていない状態を表します。 動作設定カードを挿入して設定を行ってください。
Good	正常終了 行った動作が正常に終了したことを表します。
C-	度数不足 引き落とし可能な残度数のあるカードを用意してください。
ErXX	エラー 異常なカードです。XXには数値が入ります。 [7.5.2]プリペイドカードリーダーのエラーコードを参照してください。
bUSy	稼動中 本機がビジー状態です。接続している機器が動作中です。 (硬貨投入禁止信号を使用した場合のみ表示可)
oFF	読み取り禁止 本機が読み取り禁止状態です。 一定時間をおいてからカードを挿入してください。
	待機状態 7SEGメントLEDの外側に右周りに順次移動表示(図中の矢印)していきます。
...	引き落とし済みカード 一度でも度数の引き落としを行ったユーザーカードは度数表示時に下3ケタ部にドット表示が入り、新品未使用カードとの区別が出来ます。

7.5.2 プリペイドカードリーダーのエラーコード

数値表示器に`Erxx`と表示されるエラーの意味は以下の通りです。(xxは数字)。

表示	エラー内容	原因
Er21	カードリーダー読み込み時の異常	カードの挿入方向が逆、または天地逆の場合
Er22	カードリーダー読み込みリトライエラー	カードの読み込み時にリトライを行った結果、最終的に読み込み出来なかった場合など
Er30	用途コード違い	プリペイドカードリーダーで取扱わない用途コードがあった場合
Er32	EEPROM読み込みエラー、IDコード違い、度数部に数字以外がある	プリペイドカードリーダー内蔵のEEPROMのエラー時や、ユーザーIDが異なるカードを挿入した時、ユーザーカードの度数部分に数字以外が入っている場合など
Er40	設定異常	出力パルス幅を出力1,2共に`0mS`に設定した場合や、その他正常動作できない様な無効な値になっている設定を行った場合など
Er41	操作異常	動作設定ID設定が未設定の時に累計表示をさせた場合
Er42	操作異常	ユーザーカードのIDと累計表示カードのIDが異なる場合
Er44	動作異常	ユーザーカードの傷付け動作が異常な場合
Er71	カードリーダー書き込み時の異常1	
Er72	カードリーダー書き込み時の異常2	
Er73	カードリーダー書き込み時の異常3	
Er74	カードリーダー書き込みリトライエラー	カードの書き込み時にリトライを行った結果、最終的に書き込み出来なかった場合など

8. 保守・点検

安全にご使用いただくため、また故障や事故予防のため、定期点検、ユニット交換を実施してください。

主な保守、点検の周期やユニット交換目安は以下の通りです。

以下に保守・点検項目の機能および方法を説明します。

 注意	<p>◆ 点検/清掃周期を守り、保守を行なう 誤動作、故障の原因となり、 交換周期が著しく短くなる場合があります。</p>	 確認
---	---	--

ユニット名	点検周期	清掃周期	ユニット交換目安
タッチパネル	約3ヵ月または パネル表面の汚れが目立つ毎	約3ヵ月または パネル表面の汚れが目立つ毎	約5年※1
ビルバリ	約1ヵ月毎	約3ヵ月毎	紙幣100万枚受け入れ時
コインチェンジャ	約1ヵ月毎	約3ヶ月毎	硬貨100万枚受け入れ時
プリペイドカードリーダーライター	約1ヵ月毎	約3ヵ月毎	15万パス (1パス:カード1往復)
電子マネー 決済ユニット(OP)	約3ヵ月毎	約3ヵ月毎	連続運用時5年/停電保持時間4年
保守用タッチパネル	約3ヵ月または パネル表面の汚れが目立つ毎	約3ヵ月または パネル表面の汚れが目立つ毎	約5年※1
プリンタ	約1ヵ月または、 プリンタ用紙交換毎	約3ヵ月毎	オートカッター部：30万回 印字行：300万行
カード販売ユニット	約3ヵ月毎	約3ヵ月	プリペイドカード発券枚数 10 万枚
バッテリー	約3ヵ月毎	-	約3年※2 未満

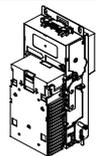
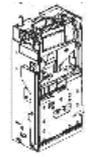
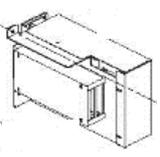
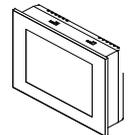
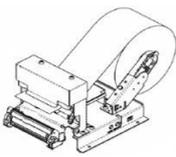
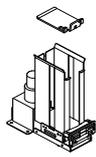
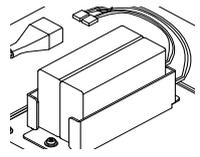
※1: 硬く、尖ったものでの操作や強い衝撃などの使用状況により、タッチパネルの交換周期が著しく短くなる場合があります。

※2: 停電などでバッテリーの使用状況により、交換周期が著しく短くなる場合があります。
バッテリーの交換時期がわかるように、バッテリー交換時には交換年月日を記載してください。

保守・点検表

No.	点検項目	点検内容	期間
1	タッチパネル	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチパネルに、ヒビ・割れなどがいないか確認 ・タッチパネル画面上の文字や図に、読みとりにくい部分がないか確認 ・タッチパネルの動作が正常に行えるか確認 	3ヵ月/1回
2	ビルバリ	<ul style="list-style-type: none"> ・変形、割れが無い確認 ・[8.12.1]機器の診断と対策を参照し、状態を確認 ・[8.7]精算テストを行い、動作が正常に行えるか確認 	1ヵ月/1回
3	コインチェンジャ	<ul style="list-style-type: none"> ・変形、割れが無い確認 ・[8.12.1]機器の診断と対策を参照し、状態を確認 ・[8.7]精算テストを行い、動作が正常に行えるか確認 	1ヵ月/1回
4	プリペイドカードリーダーライター	<ul style="list-style-type: none"> ・変形、割れが無い確認 ・カードの読み取りが正常に行えるか確認 	1ヵ月/1回
5	電子マネー決済ユニット (OP)	<ul style="list-style-type: none"> ・変形、割れがないか確認 ・電子マネーの通信が正常に行えるか確認 ・マネー切替スイッチ、保守操作スイッチが動作するか確認 	3ヵ月/1回
6	保守用タッチパネル	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチパネルに、ヒビ・割れなどがいないか確認 ・タッチパネル画面上の文字や図に、読みとりにくい部分がないか確認 ・[8.12.5]タッチパネルの診断を行い、タッチパネルの反応を確認 	3年※2
7	プリンタ	<ul style="list-style-type: none"> ・本体の破損、ペーパーホルダの変形、割れが無い確認 ・[8.12.1]機器の診断と対策を参照し、状態を確認 ・[8.12.1]機器の診断と対策を参照し、ロール紙をペーパーホルダから外し、ニアエンドが表示されるか確認 ・[8.12.1]機器の診断と対策を参照し、ロール紙を外し、用紙無しが表示されるか確認 ・[8.12.3]バージョンの確認を参照し、領収書サンプルが印字されるか確認 	1ヵ月/1回
8	カード販売ユニット (OP)	<ul style="list-style-type: none"> ・変形、割れが無い確認 ・[4.3.4]ステータス情報画面を参照し、カード機器の状態を確認 ・[9.2.7]テスト発券を行い、動作が正常に行えるか確認 	3ヵ月/1回
9	バッテリー	<ul style="list-style-type: none"> ・バッテリーの箱から液体が染み出していないか確認 ・バッテリー本体の割れ・ヒビがないか確認 ・ACアダプタのACコードを抜いて、本機の電源が落ちてしまわないか確認 ・バッテリーの使用期間が、3年以上経過していないか確認 <p>※停電などでバッテリーの使用状況により、交換周期が著しく短くなる場合があります。</p>	3ヵ月/1回

保守部品 交換表

No.	点検項目	図	交換目安
1	タッチパネル		5年※1
2	ビルバリ		紙幣100万枚受け入れ時
3	コインチェンジャ		硬貨100万枚受入れ時
4	プリペイドカードリーダーライター		15万パス (1パス:カード1往復)
5	電子マネー決済ユニット(OP)		連続運用時5年/ 停電保持時間4年
6	保守用タッチパネル		5年※1
7	プリンタ		オートカッター部 : 30万回 印字行 : 300万行
8	カード販売ユニット(OP)		プリペイドカード発券枚数 10万枚
9	バッテリー		3年※2

※1: 硬く、尖ったものでの操作や強い衝撃などの使用状況により、
タッチパネルの交換周期が著しく短くなる場合があります。

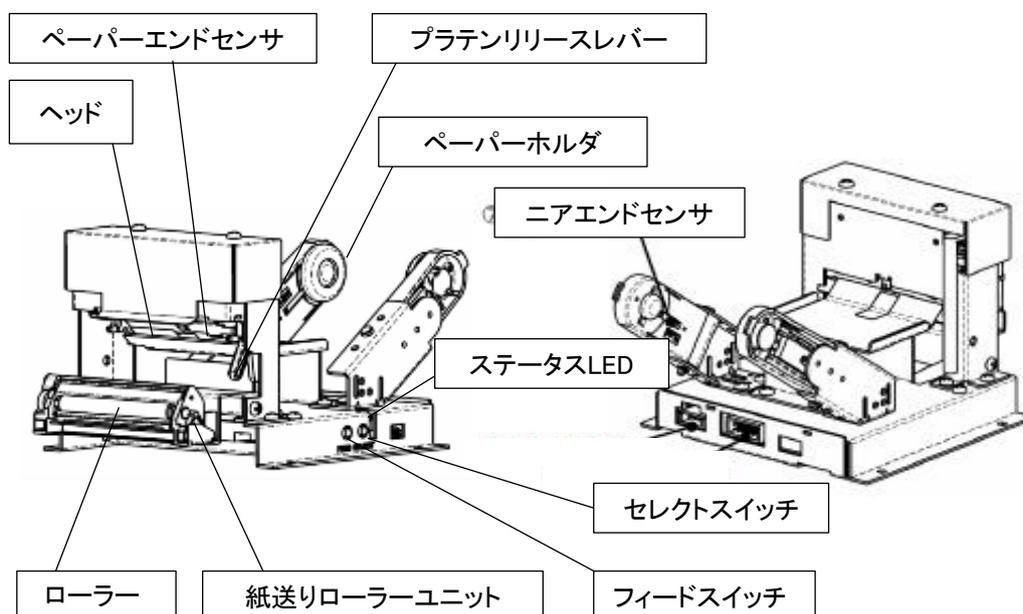
※2: 停電などでバッテリーの使用状況により、交換周期が著しく短くなる場合があります。
バッテリーの交換時期がわかるように、バッテリー交換時には交換年月日を記載してください。

8.1 プリンタのメンテナンス

プリンタは、紙粉・ほこり・異物の付着などで徐々に汚れます。汚れると、用紙の検出ができなくなりますので、定期的に清掃してください。

 注意	<p>◆ 印字動作の直後は、メンテナンスしない ヘッド部が高温のため、やけどをする場合があります。</p>	 確認
	<p>◆ ヘッド部に、指で直接触れない 皮脂汚れの付着などで印字品質が低下したり、 静電気がプリンタ基板に流れて故障したりする恐れがあります。</p>	 確認
	<p>◆ AC100Vコンセントは接地コンセントを使用する 使用しないと、雷サージの影響で電子部品が壊れて、 運営に支障が出る場合があります。</p>	 確認
	<p>◆ シンナー、ベンジンなどの揮発性の薬品は使用しない プリンタの部品が劣化したり、溶けたりして故障する恐れがあります。</p>	 確認

8.1.1 プリンタの各部名称



プリンタ各部の名称

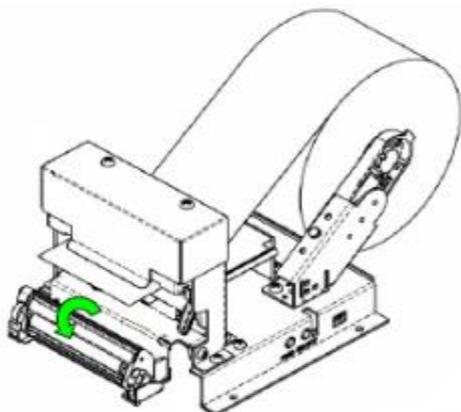
8.1.2 プリンタの点検項目

- (1) 本体の変形、割れ、ペーパーホルダの変形、割れが無いか確認します。
- (2) [8.12.1] 機器の診断と対策 の各種診断1画面でプリンタが正常表示されているか確認します
- (3) [8.12.1] 機器の診断と対策 の各種診断1画面でロール紙をペーパーホルダから外してニアエンドが表示されるか確認します。
- (4) [8.12.1] 機器の診断と対策 の各種診断1画面でロール紙を外してして用紙無しが表示されるか確認します。
- (5) [8.12.3] バージョンの確認 の各種診断2画面で領収書サンプルが印字されるか確認します。

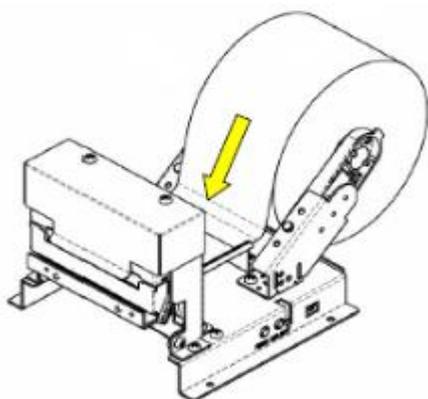
8.1.3 プリンタ用紙の交換

(1)オートローディングによりセットする場合

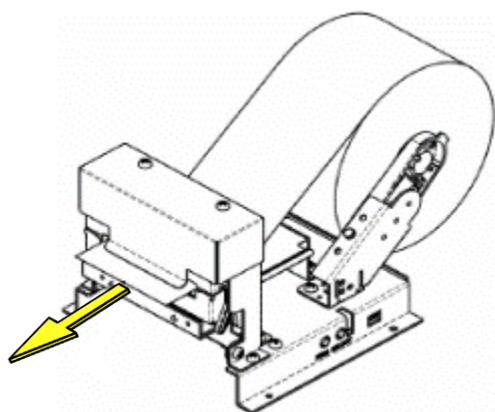
- ①本機のドアを、[2.4]ドアの開け方を参照して開けます。
- ②用紙が残っている場合は、プラテンリリースレバーを押して、紙送りローラーユニットを外します。



- ③ペーパーホルダを外側に広げて、使用済みロール紙を外します。
- ④ペーパーホルダを外側に広げて、交換用のロール紙を芯に挟むように取り付けます。
- ⑤ロール紙の先端を用紙の挿入口に手で送ります。



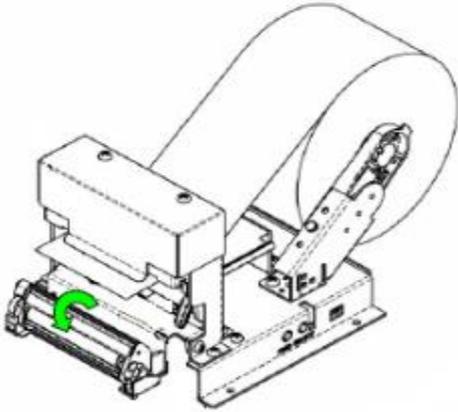
- ⑥用紙が自動的に送られてカットされます。



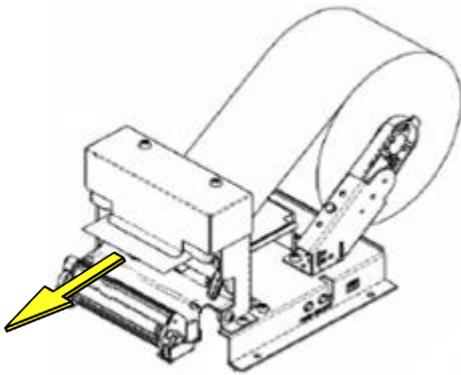
- ⑦カットされた用紙を取ります。

(2) 紙送りローラーユニットをあけてセットする場合

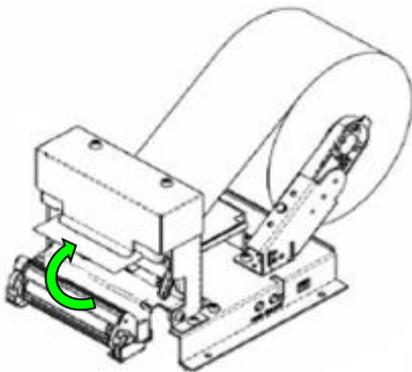
- ① 本機のドアを、[2.4]ドアの開け方を参照して開けます。
- ② プラテンリリースレバーを押して、紙送りローラーユニットを外します。



- ③ ペーパーホルダを外側に広げて、使用済みロール紙を外します。
- ④ ペーパーホルダを外側に広げて、交換用のロール紙を芯に挟むように取り付けます。
- ⑤ ロール紙の先端を用紙の排出口より外に出します。



- ⑥ 紙送りローラーユニットを取り付けます。

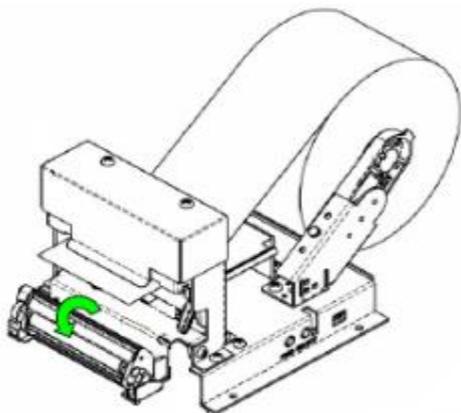


8.1.4 プリンタのクリーニング

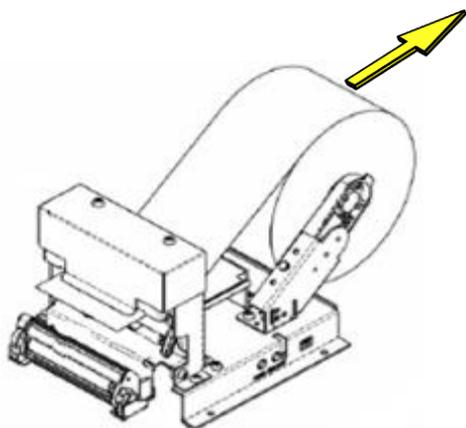
エアブローや綿棒を使用してヘッド部、センサ、ローラーから埃や紙粉を除去します。

 注意	◆ エアブローは空気あるいは不燃性のガスを使用する 静電気の放電で火花が発生し、引火して火災の恐れがあります。	 確認
---	--	---

(1) プラテンリリースレバーを押して、紙送りローラーユニットを外します。



(2) ロール紙を排出口から外します。



(3) ヘッド部、ニアエンドセンサ、ペーパーエンドセンサ、ローラーを
エアブロー※1で吹いてゴミや埃を飛ばします。

(4) 綿棒に無水エタノールを付けて各箇所を拭き取ります。

(5) ロール紙をセットします。

※1: エアブローは、ほこりなどを除去する能力のあるものをご使用ください。

8.2 ビルバリのメンテナンス

ビルバリは紙幣・ほこり・水ぬれ・異物の付着などで徐々に汚れます。
汚れると紙幣受入率低下、札詰まりが発生し易くなるので定期的に清掃してください。

ビルバリの点検項目

- (1) 本体の変形、割れが無いか確認します変形、割れが確認された場合は、
お買上げの販売店までお問合せください。
- (2) ビルバリの状態を、[8.12.1]機器の診断と対策 項を参照して、確認します。

8.3 コインチェンジャのメンテナンス

コインチェンジャは硬貨・メタル・ほこり・水ぬれ・異物の付着などで徐々に汚れます。
汚れると硬貨の選別・払出し異常が発生し易くなるので定期的に清掃してください。

コインチェンジャの点検項目

- (1) 本体の変形、割れが無いか確認します変形、割れが確認された場合は、
お買上げの販売店までお問い合わせください。
 - (2) コインチェンジャの状態を、[8.121]機器の診断と対策 項を参照して、確認します。
- ※集中精算機を使用する際は、コインチューブを確実に取り付けてからドアを閉めてください。

8.4 プリペイドカードリーダーのメンテナンス

プリペイドカードリーダーは、ほこり・水ぬれ・異物の付着などで徐々に汚れます。
汚れるとカード読み取り不良、カード詰まりが発生し易くなるので定期的に清掃してください。

プリペイドカードリーダーの点検項目

- (1) 本体の変形、割れが無いか確認します変形、割れが確認された場合は、
お買上げの販売店までお問い合わせください。
- (2) カードの読み取りが正常に行えるか確認してください。
不良等がある場合はクリーニングキットを利用し、掃除してください。

8.5 バッテリーのメンテナンス

本機には、状態保持用にバッテリーが接続されております。停電した場合に短時間ですが状態を保持することが可能です。
定期的に点検することを推奨します。DC24V側のみバッテリーを接続しておりますので、
タッチパネル、プリペイドカード、NUC、ルータはバッテリーを接続していません。

バッテリーの点検項目

以下のいずれかがひとつでも該当する場合は、バッテリーが正常に機能しないため、全て新しいバッテリーと交換してください。

- (1) バッテリーの箱から液体が染み出している
- (2) バッテリー本体の割れ・ヒビがある
- (3) ACアダプタのACコードを抜いて、本機の電源が落ちてしまう
- (4) バッテリーの使用期間が3年以上経過している

※停電などでバッテリーの使用状況により、交換周期が著しく短くなる場合があります。
バッテリーの交換時期がわかるように、バッテリー交換時には交換年月日を記載してください。

8.6 タッチパネルのメンテナンス

タッチパネルは、ほこり・水ぬれ・異物の付着・皮脂などで徐々に汚れて、視認性が落ちて操作に支障が出る恐れがありますので定期的に清掃してください。

 注意	<ul style="list-style-type: none">◆ タッチパネルは柔らかい布と水でやさしく縦に拭く 位置ずれを起こして、誤動作や故障の原因となり、運営に支障が出る恐れがあります。◆ シンナー、ベンジンなどの揮発性の薬品は使用しない タッチパネルが劣化したり、溶けたりして故障する恐れがあります。	 確認
---	--	---

8.6.1 タッチパネル表示部のクリーニング

ここでは、柔らかい布と水でタッチパネルの表示部をクリーニングする方法を説明します。

- (1) 本機のドアを、[2.4]ドアの開け方 を参照して開けます。
- (2) 電源を、[8.16]電源の遮断 を参照して遮断します。
- (3) 柔らかい布を水に濡らして、水が垂れない程度に固くしぼります。
- (4) タッチパネルの表示部の汚れをやさしく縦に拭きます。
- (5) タッチパネルの表示部に付着した水滴を乾燥した柔らかい布でやさしく縦に拭き取ります。
- (6) 電源を、[2.7]電源の投入 を参照し、投入します。
- (7) 本機のドアを閉めます。

8.6.2 タッチパネルの点検項目

以下のいずれかひとつでも異常があれば、お買上げの販売店までお問い合わせください。

- (1) タッチパネル本体の外観上、ヒビ・割れなどがある。
- (2) タッチパネル画面上の文字や図に読みとりにくい部分がある。
- (3) その他タッチパネル表示に異常がある。

8.6.3 タッチパネルの停止方法

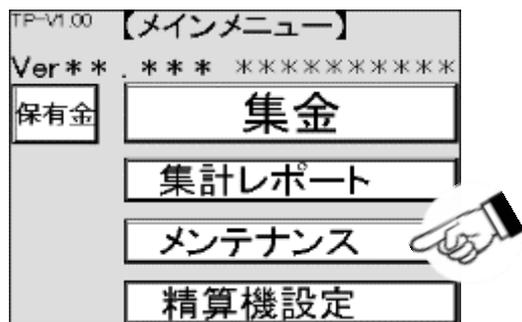
保守用タッチパネルを操作して、扉側のタッチパネルの画面を停止することができます。

ここでいう停止とは、本来の画面からタッチパネル自体を保守するための画面に切り替えることをいいます。

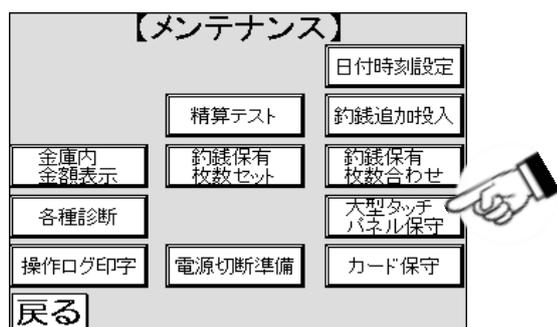
- (1) 本機のドアを、[2.4]ドアの開け方 を参照して開けます。
- (2) タッチパネルの画面が切り替わります。



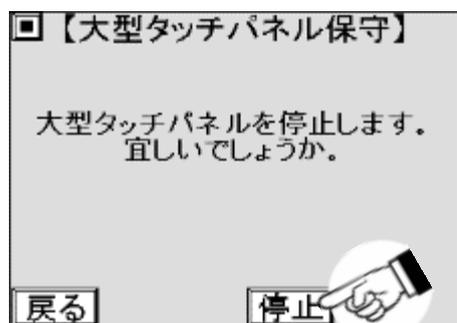
(3) 保守用タッチパネルのメインメニューで **メンテナンス** を押します。



(4) メンテナンス画面が表示されますので、**大型タッチパネル保守** を押します。



(5) 大型タッチパネル保守の停止画面が表示されますので、**停止** を押します。



(6) タッチパネルの画面が本来の画面から保守用の画面に切り替わり、タッチパネルが停止します。



8.7 精算テスト

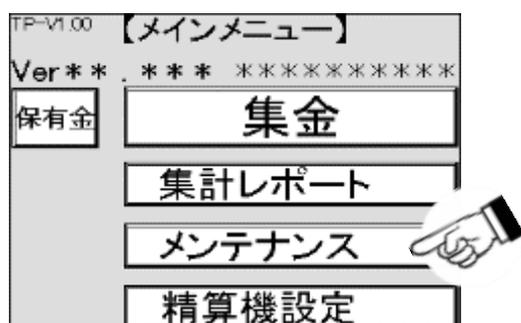
料金機器が正常に動作しているか確認する場合に使用します。

硬貨や紙幣を投入しても返金されるため、金庫内の金額は変動しません。

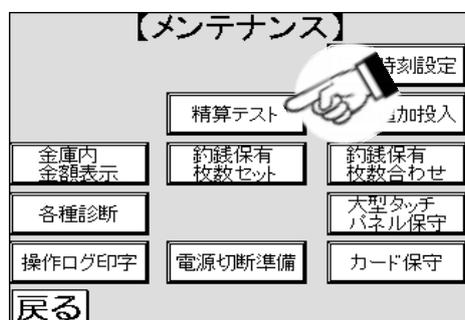
紙幣は、連続投入することもできますが、金庫内に保管されます。

 注意	◆ 精算テストを行なう際は、事前に金庫内の紙幣を回収する 千円札を連続投入すると、金庫内に千円が保管されるため、 金庫から取り出す枚数を間違えると金額が 合わなくなる恐れがあります。	 確認
---	--	---

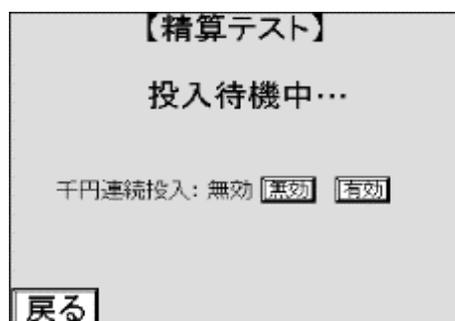
(1)メインメニューで「メンテナンス」を押します。



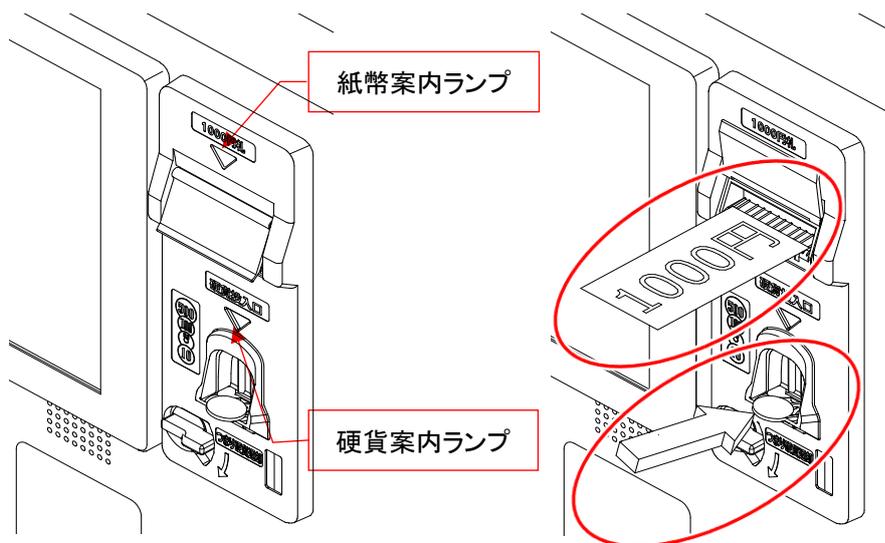
(2)メンテナンス画面が表示されますので「精算テスト」を押します。



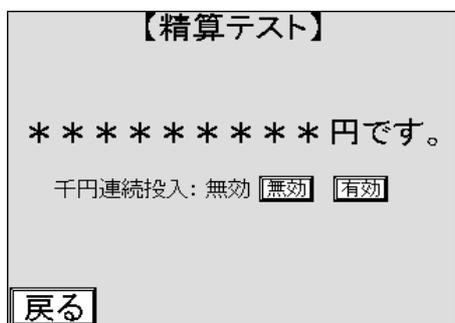
(3)精算テスト画面が表示されます。



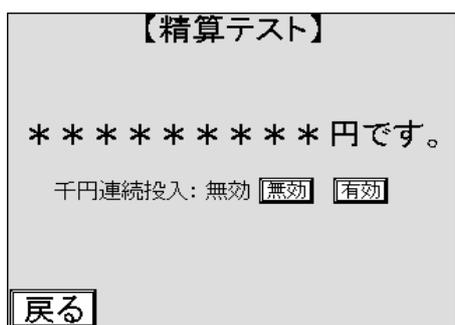
(4) 硬貨または紙幣を投入します。硬貨または紙幣は返金されません。



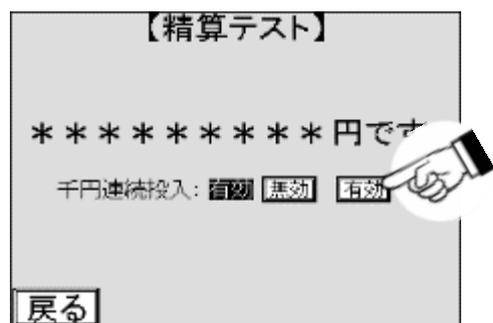
(5) 硬貨または紙幣を投入すると、受け入れられた金額を表示します。



(6) 投入した硬貨または紙幣の金額と画面に表示された金額が合っているか確認します。



(7) **[有効]** を押すと、千円連続投入テストになり、以降紙幣を入れると紙幣金庫に保存されます。



(5) 投入した枚数は、順次表示されます。

【釣銭追加投入】	
釣銭合計:*****円	
10円: **枚	100円:**枚
50円: **枚	500円:**枚
SUB:***円 **枚	
払出し可能枚数	
10円: **枚	100円:**枚
50円: **枚	500円:**枚
戻る	印字

(6) 投入が完了したら、**印字**を押します。

【釣銭追加投入】	
釣銭合計:*****円	
10円: **枚	100円:**枚
50円: **枚	500円:**枚
SUB:***円 **枚	
払出し可能枚数	
10円: **枚	100円:**枚
50円: **枚	500円:**枚
戻る	印字

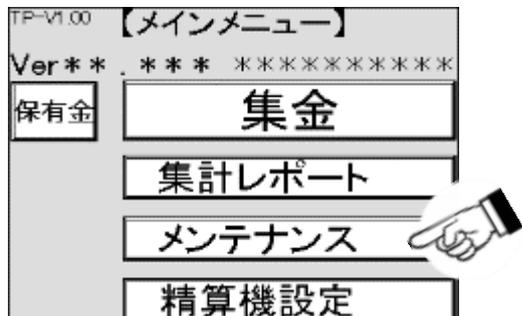


(7) 釣銭保有枚数が印字されます。

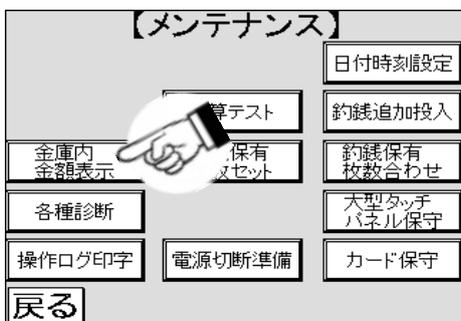
8.9 金庫内金額表示

コインランドリーの運営において金庫内の硬貨や紙幣がいっぱいになると、運営に支障が出る場合があるため、金庫内の金額を把握することで、現金回収周期の目安を確認することができます。

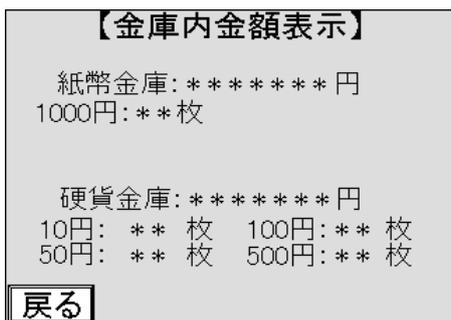
(1)メインメニューで「メンテナンス」を押します。



(2)メンテナンス画面が表示されますので、「金庫内金額表示」を押します。



(3)金庫内の金額が表示されますので、紙幣金庫内の枚数が300枚以上、硬貨金庫内の枚数が500枚以上の場合、金庫内の現金を回収してください。



(5) **ENT** を押し、枚数を確定します。

【釣銭保有枚数セット】			
10円:	**枚	100円:	**枚
50円:	**枚	500円:	**枚
SUB:***円***枚			
釣銭最大枚数セット			
10円:	**枚	100円:	**
50円:	**枚	500円:	**
SUB:***円 ***枚			
		ESC	0 ENT



(6) 各硬貨すべての枚数を入力し、確認します。

(7) 保存を押し、入力したすべての値を保存します。保存前に **戻る** を押すと入力したすべての値は破棄され、変更前の値に戻ります。

【釣銭保有枚数セット】			
10円:	**枚	100円:	**枚
50円:	**枚	500円:	**枚
SUB:***円***枚			
釣銭最大枚数セット			
10円:	**枚	100円:	**枚
50円:	**枚	500円:	**枚
SUB:***円 ***枚			
戻る		保存	



8.12 各種診断

各種診断は、画面が1から5まであり、本機の状態をみることができます。

他にエラーログ、領収書サンプル、ロム設定の印字や精算機のソフトバージョン表示ができます。

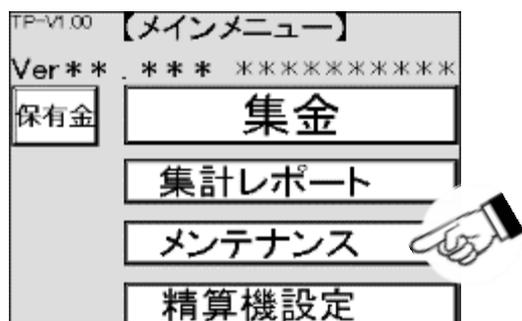
保守・点検を行なった後に、本機の状態を確認してコインランドリーを運営してください。

8.12.1 機器の診断と対策

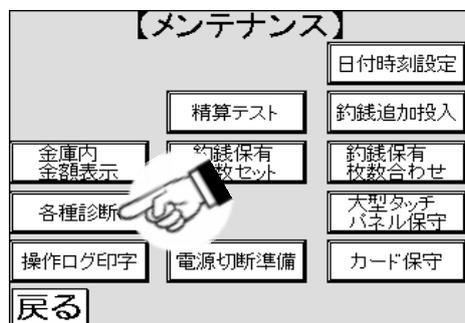
機器の診断において異常が判明した場合、[7]トラブルシューティングを参照して対策を行ってください。

それでも解決しない場合は、お買上げの販売店までお問い合わせください。

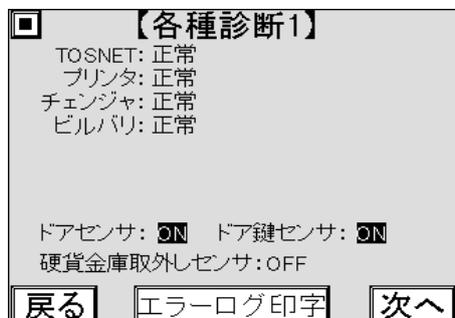
(1)メインメニューで「メンテナンス」を押します。



(2)メンテナンス画面が表示されますので、「各種診断」を押します。



(3)各種診断1画面が表示されます。



(4) TOSNETの状態を確認します

- ①正常と表示されている場合、TOSNETは正常に動作します。
- ②通信エラーの場合、TOSNETからの通信が来ていないため、ハーネスの未接続や配線を確認して、接続してください。
- ③それ以外の場合、お買上げの販売店までお問合せください。

(5) プリンタの状態を確認します

- ①正常と表示されている場合、プリンタは正常に動作します。
- ②用紙無しの場合、プリンタの用紙が無いのでプリンタ用紙を交換してください。
- ③ニアエンドの場合、プリンタの用紙が残り僅かなのでプリンタ用紙を交換してください。
- ④異常の場合、紙送りローラーユニットが開いている状態ですので閉めてください。

(6) コインチェンジャの状態を確認します

- ①正常と表示されている場合、コインチェンジャは正常に動作しています。
- ②チューブセット異常の場合、コインチューブが正しく取り付けられていない状態ですので、再度取り付けてください。
- ③それ以外の表示の場合、お買上げの販売店までお問合せください。

(7) ビルバリの状態を確認します

- ①正常と表示されている場合、ビルバリは正常に動作しています。
- ②金庫開と表示されている場合、紙幣金庫が開いた状態ですので、閉めてください。
- ③それ以外の表示の場合、お買上げの販売店までお問合せください。

(8) ドアセンサの状態を確認します

- ①ONと表示されている場合、ドアが開いている状態です。
- ②OFFと表示されている場合、ドアが閉まっている状態です。
- ③上記と表示が異なる場合、お買上げの販売店までお問合せください。

(9) ドア鍵センサの状態を確認します

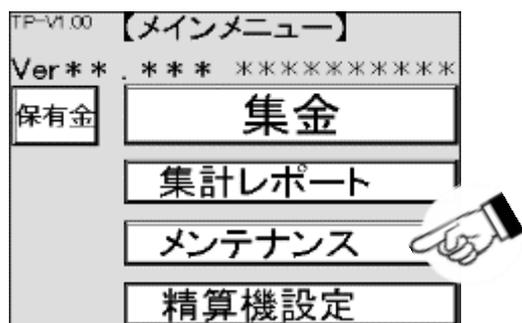
- ①ONと表示されている場合、ポップハンドルがロック解除されている状態です。
- ②OFFと表示されている場合、ポップハンドルがロックされている状態です。
- ③上記と表示が異なる場合、お買上げの販売店までお問合せください。

(10) 硬貨金庫取外しセンサの状態を確認します

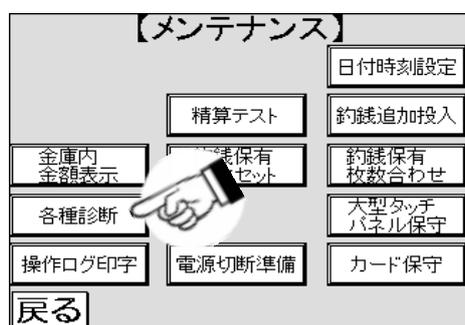
- ①ONと表示されている場合、硬貨金庫を外した状態です。
- ②OFFと表示されている場合、硬貨金庫をセットした状態です。
- ③上記と表示が異なる場合、お買上げの販売店までお問合せください。

8.12.2 エラーログの印字

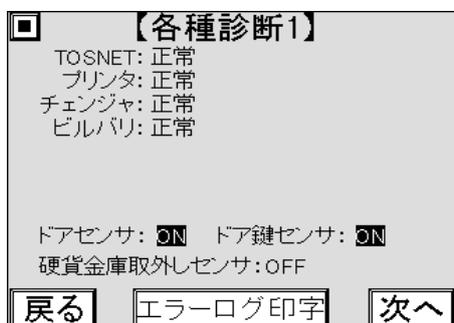
(1)メインメニューで **メンテナンス** を押します。



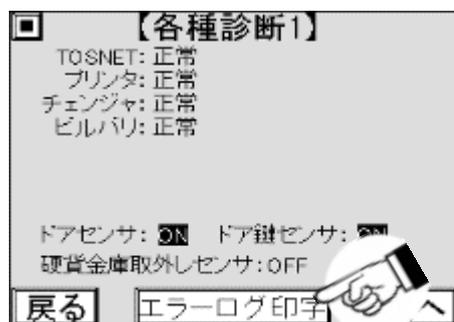
(2)メンテナンス画面が表示されますので、**各種診断** を押します。



(3)各種診断1画面が表示されます。



(4) **エラーログ印字** を押します。



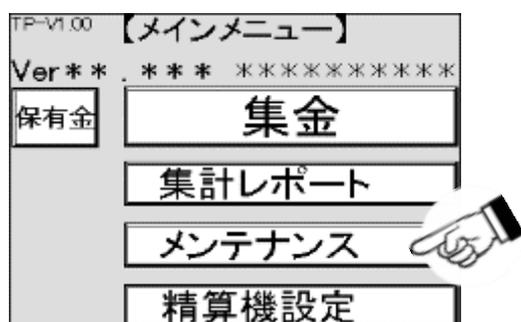
(5)エラーログが印字されます。

8.12.3 バージョンの確認

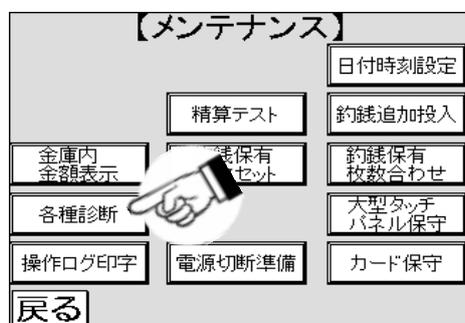
本機のソフトウェアはバージョンで管理しており、
どのようなバージョンのソフトウェアが使用されているか確認する為に使用します。
バージョンは2種類あり、精算機のソフトバージョンとタッチパネル画面のソフトバージョンが
それぞれ画面に表示されます。

 注意	<p>◆ 精算機のソフトバージョンとタッチパネルの画面対応 ソフトバージョンを確認する 本機の機能やタッチパネルの表示について、当社に お問い合わせの場合は本項を参照し、バージョンをお伝えください。</p>	 確認
---	---	---

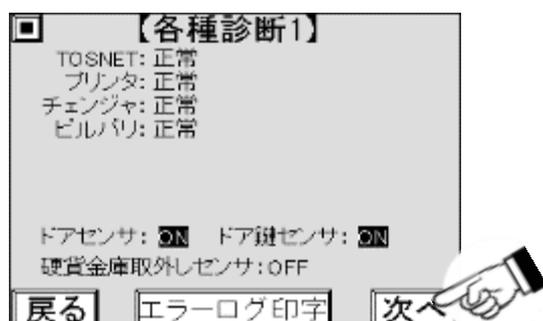
(1)メインメニューで **メンテナンス** を押します。



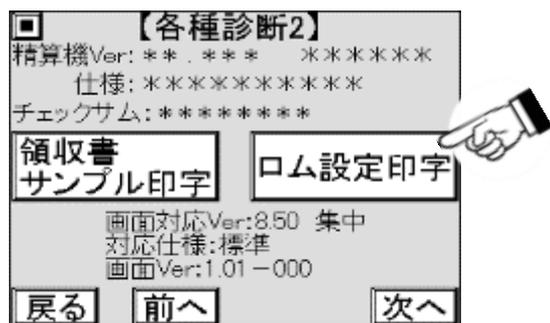
(2)メンテナンス画面が表示されますので、**各種診断** を押します。



(3)各種診断1画面が表示されます **次へ** を押します。



(6)ソフトウェアの情報を印字する場合、**ロム設定印字**を押します。



(7)ソフトウェアの情報が印字されます。

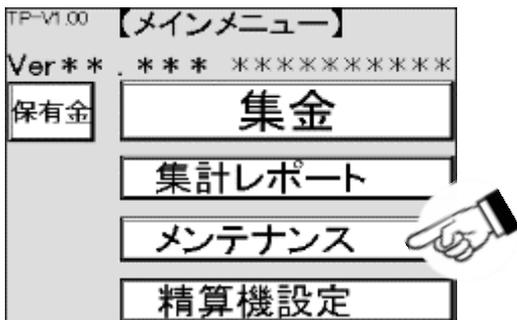
8.12.5 タッチパネルの診断

本機のソフトウェアはバージョンで管理しており、どのようなバージョンのソフトウェアが使用されているか確認する為に使用します。

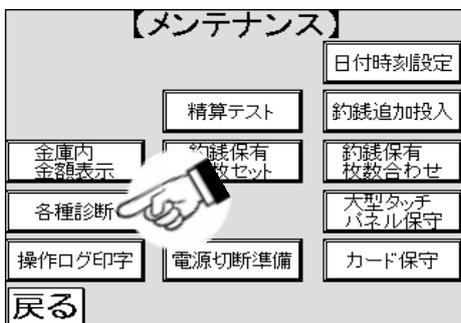
バージョンは2種類あり、精算機のソフトバージョンとタッチパネル画面のソフトバージョンがそれぞれ画面に表示されます。

	注意	◆ タッチパネルを押して反応があるか必ず確認する 反応しない箇所がある場合、運営に支障が出る場合があります。	 確認
---	-----------	--	---

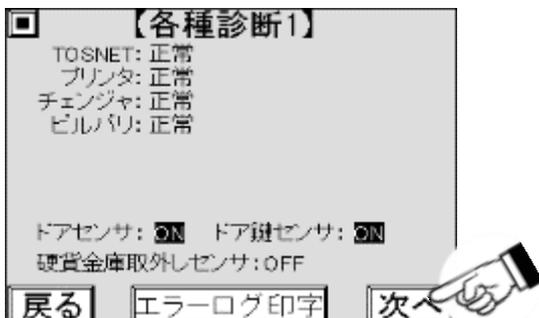
(1)メインメニューで **メンテナンス** を押します。



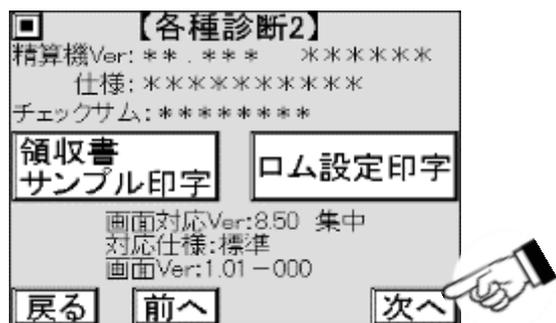
(2)メンテナンス画面が表示されますので、**各種診断** を押します。



(3)各種診断1画面が表示されます **次へ** を押します。



(4) 各種診断2画面が表示されます **次へ** を押します。



(5) 各種診断3画面が表示されますので、白く表示されている枠を全て押します。



(6) 白く表示されている枠を押している間だけ、白が黒に反転して押されたことを表示します。

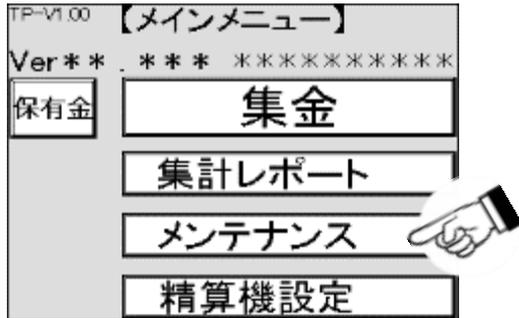
(7) 1箇所でも押して色が反転しない、または異なる箇所が反転する場合は、
お買上げの販売店までお問合せください。

8.12.6 画面表示の診断

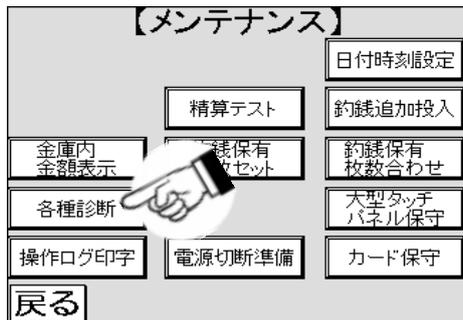
画面表示の診断は、一般的にドット落ち※1という画面を構成する微細な画素の不具合の程度を確認するための点検です。

 注意	◆ タッチパネルの画面表示点検を必ず行なう 文字が判別できないほどのドット落ちがある場合、運営に支障が出る場合があります。	 確認
---	---	---

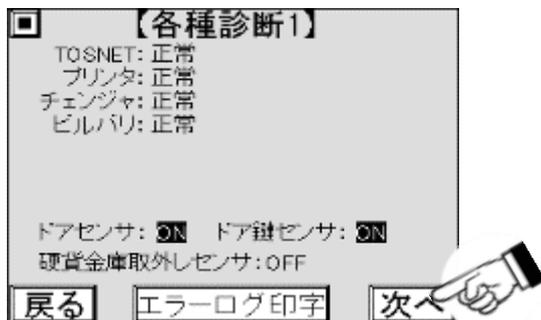
(1)メインメニューで **メンテナンス** を押します。



(2)メンテナンス画面が表示されますので、**各種診断** を押します。

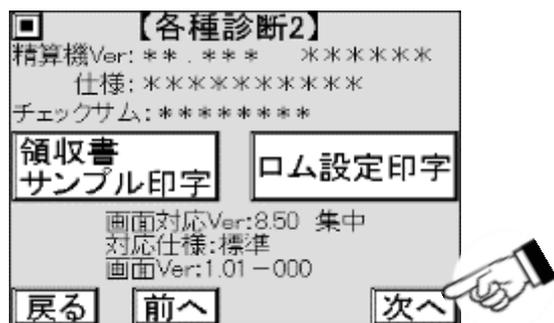


(3)各種診断1画面が表示されます **次へ** を押します。



※1:ドット落ちは、画素が光らないもしくは光り続けることを言いますが、ここでいうドット落ちは晶の品質レベル以上のことを言います。

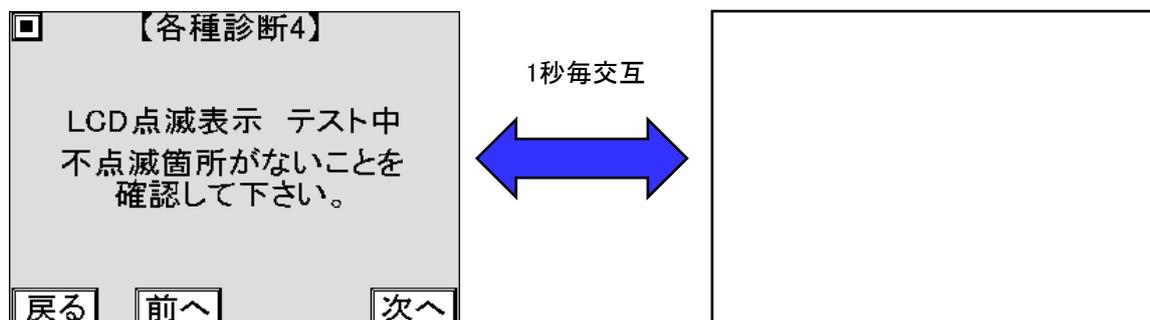
(4) 各種診断2画面が表示されます **次へ** を押します。



(5) 各種診断3画面が表示されます **次へ** を押します。



(6) 各種診断4画面が表示されると、約1秒毎に白地の画面と交互に切り替わります。



(7) 白地の画面の時に黒く表示されている箇所がないか確認します。

(8) 黒く表示されている箇所がある場合は、位置を特定し繰り返し表示されるか確認します。

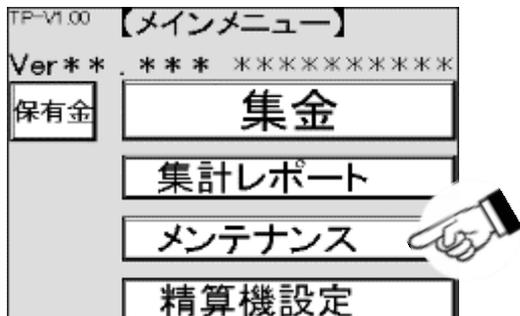
(9) 黒く表示されている箇所がないか、一辺が5 mm 以下の四角形は正常です。

(10) 正常範囲を超えた場合は、お買上げの販売店までお問い合わせください。

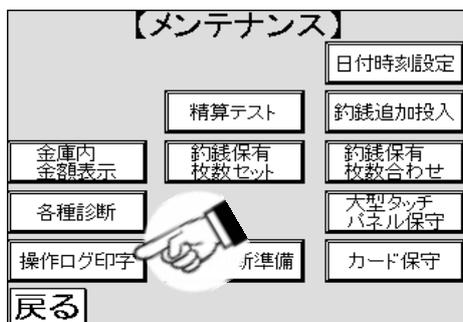
8.13 操作ログ印字

操作ログ※1とは精算機の精算や設定変更、メンテナンス操作をした履歴のことで、正常な操作がされているかを確認する際に使用します。

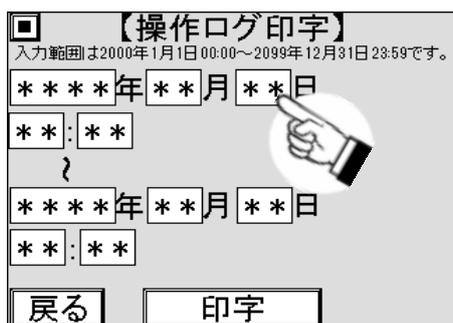
(1)メインメニューで「メンテナンス」を押します。



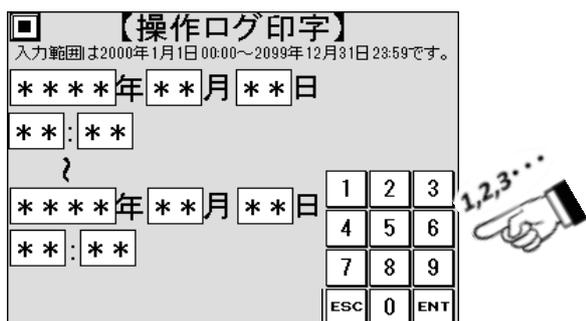
(2)メンテナンス画面が表示されますので、「操作ログ印字」を押します。



(3)操作ログ印字画面が表示されますので、印字期間の年月日や時刻が表示されている箇所を押します。



(4)数字キーがポップアップ表示されますので、(3)で選択した年月日や時刻の数値を入力します。



※1: 指定期間内にログが無い場合、印字されません。

(5) **ENT** を押し、値を確定します 必要に応じて、範囲を設定します。

【操作ログ印字】
入力範囲は2000年1月1日 00:00~2099年12月31日 23:59です。

****年**月**日
:

?

****年**月**日
:

1	2	3
4	5	6
7	8	9
ESC	0	ENT

(6) 値を確認し、**印字** を押します。

【操作ログ印字】
入力範囲は2000年1月1日 00:00~2099年12月31日 23:59です。

****年**月**日
:

?

****年**月**日
:

戻る 印字

(7) 操作ログが印字されます。

(8) 途中で印字を止める場合 **■** を押します。

【操作ログ印字】
入力範囲は2000年1月1日 00:00~2099年12月31日 23:59です。

****年**月**日
:

?

****年**月**日
:

戻る 印字

8.14 音声ガイドンス

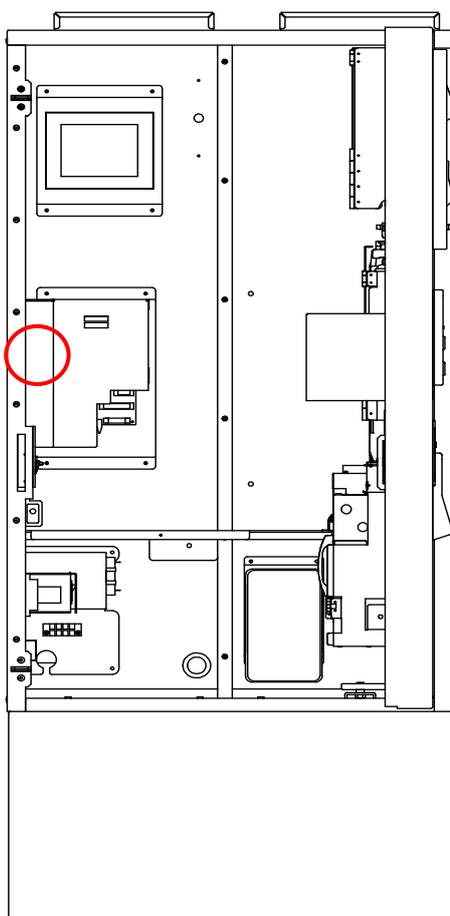
この機能は、本機の操作や精算などの際の音声案内あるいは、エラーが発生したときの内容を音声で案内することができます。

8.14.1 通常音声の音量調整方法

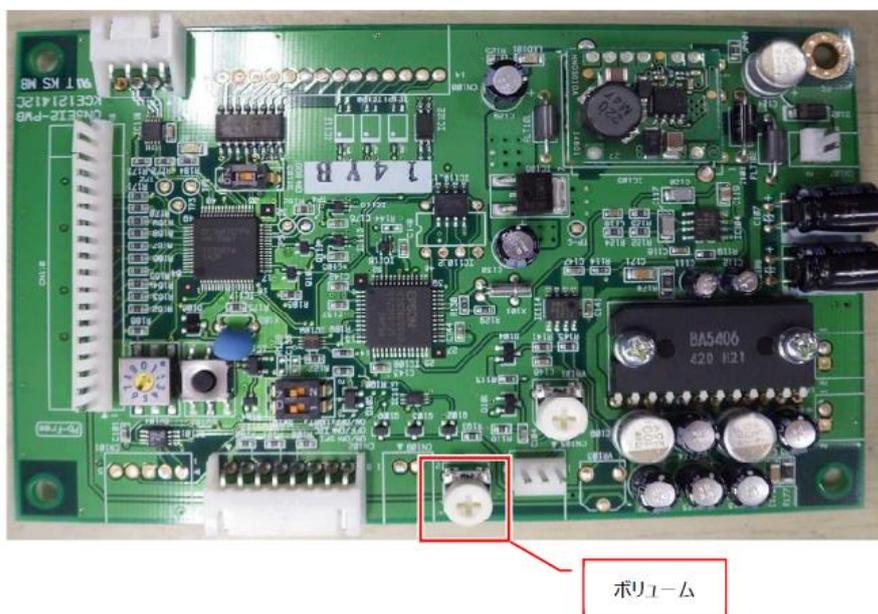
本機の設置環境により、設定の音量が小さいまたは大きい場合があります。

設置環境に合わせて、適宜お客様で音量の調整をしてください。調整は、ボリュームを以下の手順で調整します。

[扉内部]



[音声基板]

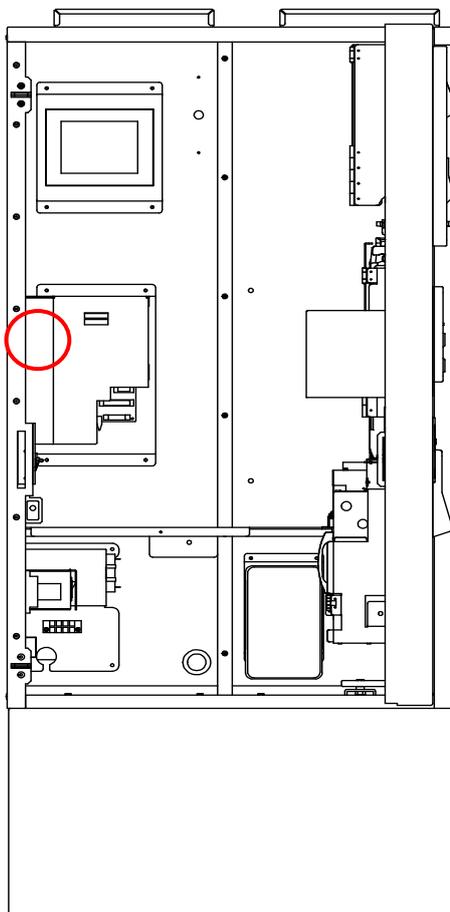


- (1) 本機のドアを、[2.4]ドアの開け方を参照して開けます。
- (2) 精算機の電源スイッチを切にします。
- (3) ネジ2箇所を緩めて基板カバーを外します。
- (4) 音声基板上のボリュームを先端サイズNo.1のプラスドライバで調整します。
- (5) 音量を上げる場合は、時計回りに回し、音量を下げる場合は、反時計回りに回します。

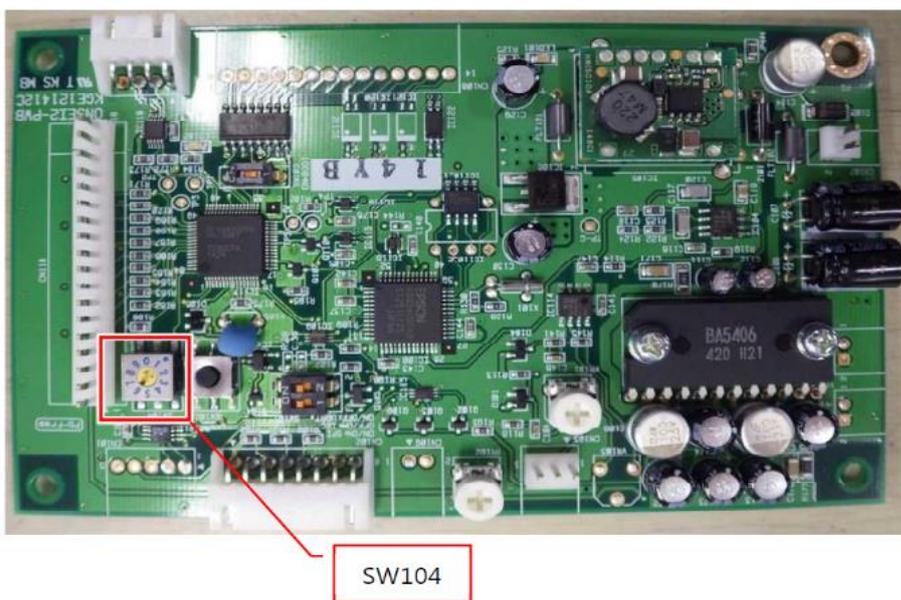
8.14.2 抑制音声の音量調整方法

音声抑制の時間帯を設定した場合の抑制音量の設定です。設定は、1～9 の段階で抑制できます。通常音声と本設定は別の設定です。音声を抑止する時間帯の設定は、[6.2.3] 音声抑制開始、音声抑制終了 を参照してください。

[扉内部]



[音声基板]

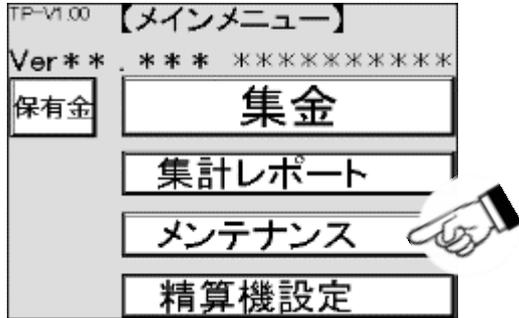


- (1) 本機のドアを、[2.4] ドアの開け方 を参照して開けます。
- (2) 精算機の電源スイッチを切にします。
- (3) ネジ2箇所を緩めて基板カバーを外します。
- (4) SW104 を先端サイズ2.5 × 0.35 mmのマイナスドライバで1～9のいずれかに設定します。
- (5) 0 は抑制音声無効で、通常音量で流れます。

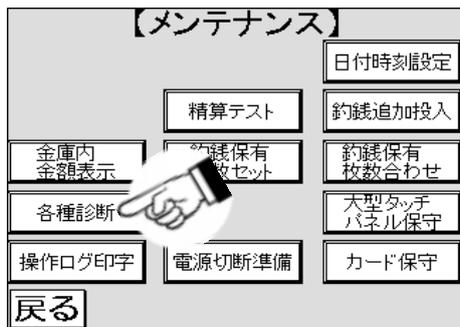
8.14.3 音声のテスト再生

音声案内が正しく流れることを確認したり、音量調整をしたりするために音声のテスト再生を使用します。
音声は0番からFF番までであり、番号を選択することで音声案内の音声を流すことができます。
0番は無音のため、音量に関係なく、音声は流れません。

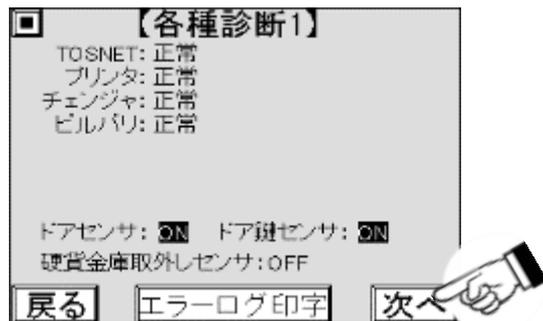
(1)メインメニューで **メンテナンス** を押します。



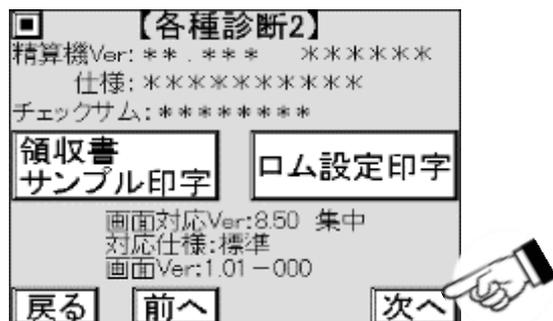
(2)メンテナンス画面が表示されますので、**各種診断** を押します。



(3)各種診断1画面が表示されます **次へ** を押します。



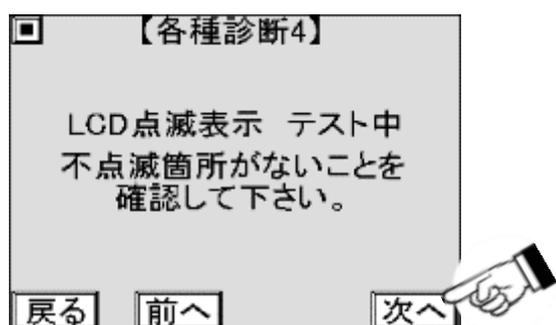
(4)各種診断2画面が表示されます **次へ** を押します。



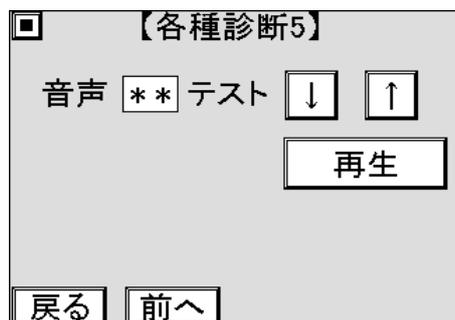
(5) 各種診断3画面が表示されます。次へを押します。



(6) 各種診断4画面が表示されます。次へを押します。



(7) 各種診断5画面が表示されます。

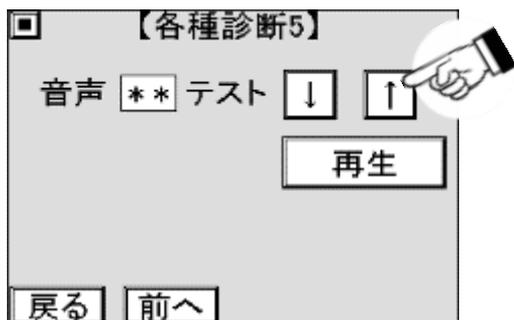


(8) 各種診断5画面で音声と表示された右側にある音声番号を確認します。

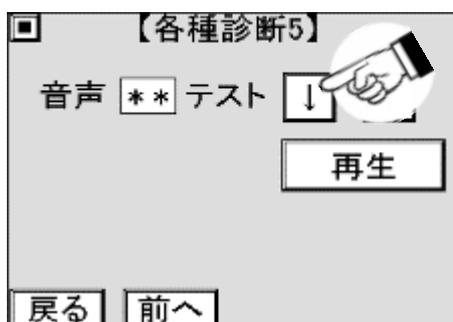
音声番号は、始め0番が表示されております。



- (9)  ボタンを押すと音声番号が1増加します。現在0ですので1になります。
FFの時は0になります。



- (10)  ボタンを押すと音声番号が1減少します。現在1ですので0になります。
0の時はFFになります。



- (11) 画面内の音声と表示された右側にある数字を押すと、数字キーがポップアップ表示されます。



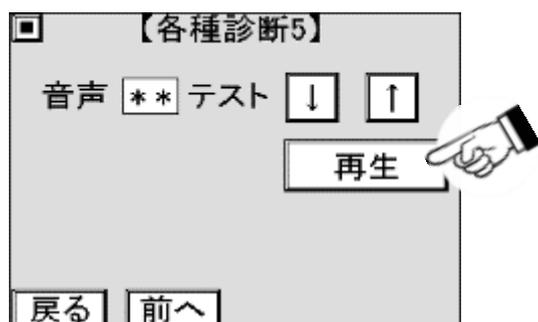
- (12) 音声番号を入力します。



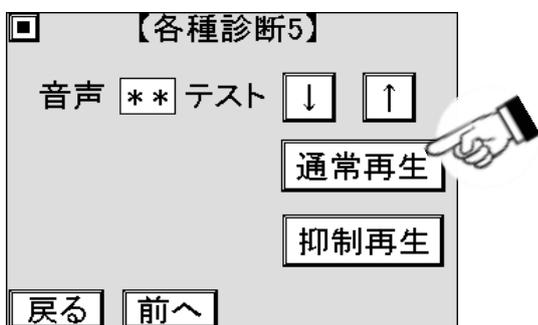
(13) **ENT**を押して音声番号を確定します。



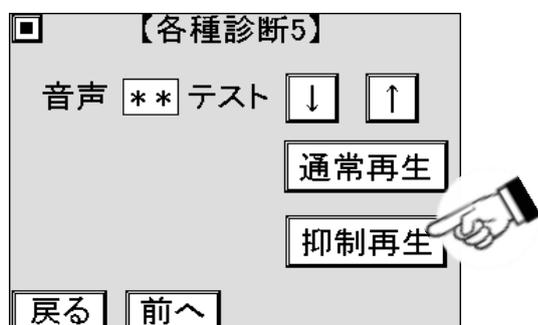
(14) **再生**を押します 音声番号に対応した音声案内を再生します。



(15) 抑制音声を、[6.2.3] 音声抑制開始、音声抑制終了 で設定した場合は、**通常再生**を押します。
音声番号に対応した音声を通常音量で再生します。



(16) 抑制再生を押します 音声番号に対応した音声を**抑制音量**で再生します。



8.14.4 音声ガイダンス一覧

タッチパネルに表示する各画面に対応した音声ガイダンスを流します。

音声ガイダンスを再生後、一定時間(音声ガイダンス再送時間:15秒)画面操作がない場合、

再度音声ガイダンスを流します。(ホーム画面をのぞく)

No.	画面	音声ガイダンス
1	起動中画面	
2	ホーム画面	いらっしやいませ ご利用される機械に洗濯物を入れ、 ドアをしっかり閉めてあるかご確認の上、 ご利用の方ボタンをタッチしてください。
	(券売機使用)	また、プリペイドカードを購入される方は、 購入ボタンをタッチしてください。
	カード販売できない時にプリペイドカード ご購入の方ボタンをタッチした	現在、プリペイドカードを販売することができません。
3	機械選択画面	洗濯物を入れた機械番号をタッチしてください。
4	乾燥延長機械選択画面	乾燥を延長する機械番号をタッチしてください。
5	機械確認画面(現金投入なし)	洗濯物を入れた機械と画面表示の番号があっているか ご確認の上、タッチしてください。
6	機械確認画面(現金投入あり)	選択された機械は、現金が途中まで投入されています。 選択した機械にお間違えなければ、タッチして 支払選択画面に従い精算を続けて下さい。
7	ドア開画面(機械番号選択後)	ドアが開いています。ドアを閉めてからタッチしてください。 もし、ドアが閉まらない場合、戻るボタンをタッチしてから、 再度ドアを閉め直してください。
8	ドア開画面(精算終了後)	ドアが開いています。ドアを閉めてからタッチしてください。
9	コース選択画面(洗濯乾燥機)	ご希望のコースを選んでください。
10	コース選択画面(洗濯機)	
11	コース選択画面(乾燥機)	
12	支払選択画面	支払方法を選んでください。
13	現金マルチテンド画面	
14	※電子マネー端末が利用できない時に 電子マネーボタンをタッチした	現在、ご利用できません。
15	プリペイドカードマルチテンド画	支払方法を選んでください。 また、プリペイドカードを購入される方は、 プリペイドカードを新規購入して支払うボタンを タッチしてください。
16	現金支払画面	現金を入れてください。
17	現金残額画面	
18	プリペイドカード販売支払画面	
19	新規プリペイドカード販売支払画面	
20	現金:終了画面	ご利用ありがとうございました お釣りのある方は、お取り忘れにご注意ください。 洗濯終了コール(*1)、領収書発行をご希望の方は、 コールボタン(*2)をタッチしてください。

No.	画面	音声ガイダンス
21	発券終了画面 新規プリペイドカード発券終了画面	プリペイドカードが発券されました。 お取り忘れにご注意ください。 マルチ発券終了画面また、領収書をご希望の方は、 領収書発行ボタンをタッチしてください。
22	プリペイドカード支払画面	プリペイドカードを入れて下さい。
23	プリペイドカード残額画面	
24	プリペイドカード: 終了画面	利用ありがとうございました。 カードのお取り忘れにご注意ください。 洗濯終了コール(*1),領収書発行をご希望の方は、 コールボタン(*2)をタッチしてください。
25	プリペイドカード中止画面: 対応なし	中止した場合、カード残高は戻りません。 よろしいですか。
26	プリペイドカード中止画面: 預かり書	中止した場合、預かり書が発行されます。 お取り忘れにご注意ください。
27	プリペイドカード中止画面: 現金返却	中止した場合、現金で払い戻します。 お取り忘れにご注意ください。
28	電子マネー支払画面	ご希望の電子マネーを選択し、 決済音が鳴るまでタッチしてください。
29	電子マネー残額画面	
30	電子マネー残額不足画面	電子マネーの残高不足です。 支払方法を変更してください。
31	電子マネー: 終了画面	ご利用ありがとうございました 洗濯終了コール, 領収書発行をご希望の方は、 コールボタンをタッチしてください。
32	取扱い禁止画面	お取扱いできません。
33	処理未了タイムアウト画面(流通系)	カード決済が完了していない可能性があるため、 「未了確認書」を発行致します。 記載された連絡先電話番号に連絡して 対応をお願いしてください。
	処理未了タイムアウト画面(交通系)	カード決済が完了していない可能性があります。 連絡先電話番号に連絡してください。
34	お忘れもの注意画面(図入り) <現金> <カード> <預かり書> <カード+預かり書> <現金+カード> <現金+カード+預かり書>	現金のお取り忘れにご注意ください。 カードのお取り忘れにご注意ください。 預かり書のお取り忘れにご注意ください。 カード・預かり書のお取り忘れにご注意ください。 現金・カードのお取り忘れにご注意ください。 現金・カード・預かり書のお取り忘れにご注意ください。
35	中止画面	本当に中止しますか。
36	終了連絡コール確認画面	洗濯終了コールを利用しますか。
37	電話番号登録画面	連絡する電話番号を入力後、 登録ボタンをタッチしてください。
38	領収書発行確認画面	領収書を発行しますか。
39	領収書発行画面 カード販売領収書発行画面 マルチカード販売領収書発行画面	領収書を発行しました。 お取り忘れにご注意ください。

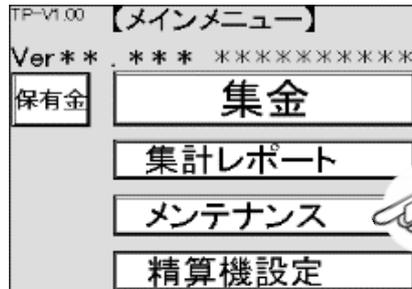
No.	画面	音声ガイダンス
40	電話番号入力間違え画面	入力した電話番号に発信することができません。 再度入力を行ってください。
41	終了連絡コール中止画面	現在、洗濯終了コールを中止しています
42	領収書発行不可画面	現在、領収書を発行できません。 領収書をご希望の方は、緊急連絡先に連絡してください。
43	トラブル発生画面:対応なし	選択した機械でトラブルが発生しました。 申し訳ありませんが、他の機械をご利用ください。
44	トラブル発生画面:預かり書	選択した機械でトラブルが発生しました。 申し訳ありませんが、他の機械をご利用ください。 また、預かり書が発行されます。 お取り忘れにご注意ください。
45	トラブル発生画面:現金返却	選択した機械でトラブルが発生しました。 申し訳ありませんが、他の機械をご利用ください。 また、現金で払い戻します。 お取り忘れにご注意ください。
46	取扱い禁止画面 <カード読み取り失敗> <カード有効期限切れ> <取扱い不可> <センター接続失敗:タイムアウト> <問い合わせエラー> <回線接続エラー> <機器障害>	カード読み取りに失敗しました。 このカードは、有効期限切れです。 このカードは、ご利用できません。 センター接続に失敗しました。 センター接続に失敗しました。 ご契約のカード会社にお問い合わせください。 センター接続に失敗しました。 ご契約のカード会社にお問い合わせください。 カード機器、異常です。 緊急連絡先に連絡してください。
47	調整中画面	
48	乾燥延長不可画面:対応なし	選択した機械は、運転が終了したため 乾燥延長することができなくなりました。 また、選択した機械で乾燥を引き続き行う場合、 ドアを一旦開閉し、再度精算機で 精算を行ってください。
49	乾燥延長不可画面:預かり書	選択した機械は、運転が終了したため乾燥延長することが できなくなりました。 このため、精算した金額を現金で払い戻しいたします。 お取り忘れにご注意ください。 また、選択した機械で乾燥を引き続き行う場合、 ドアを一旦開閉し、再度精算機で精算を行ってください。
50	乾燥延長不可画面:現金返却	選択した機械は、運転が終了したため乾燥延長することが できなくなりました。 このため、精算した金額を現金で払い戻しいたします。 お取り忘れにご注意ください。 また、選択した機械で乾燥を引き続き行う場合、 ドアを一旦開閉し、再度精算機で精算を行ってください。

8.15 電源切断準備

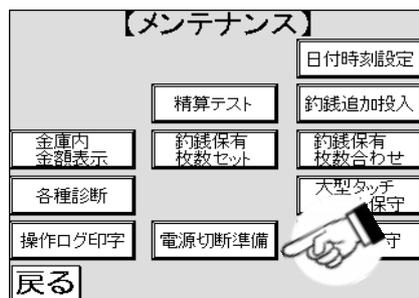
電源切断準備では安全に電源を切断する為に使用します。[8.16] 電源の遮断と合わせて使用してください。

 注意	◆ 電源を切断する場合には、電源切断準備を行なう 通信が途切れて、運営に支障が出る場合があります。	 確認
---	---	---

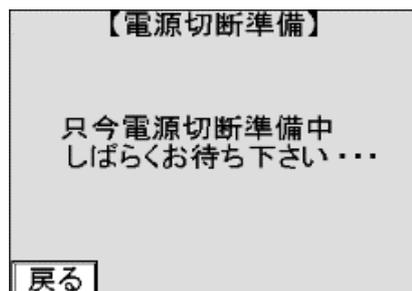
(1) メインメニューで **メンテナンス** を押します。



(2) メンテナンス画面が表示されますので、**電源切断準備** を押します。

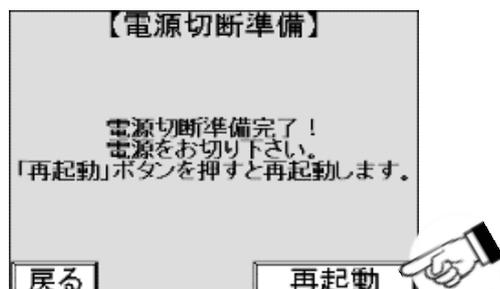


(3) 電源切断準備完了画面になるまで待ちます。1分以上待っても画面が切り替わらない場合、お買上げの販売店までお問合せください。



(4) 電源を切断する場合、精算機電源を切断します。

(5) 再起動する場合、**再起動** を押します。



8.16 電源の遮断

長期の運用停止など、本機の電源を完全に遮断する場合は以下の手順を行ってください。
既に運用が開始されている場合は、事前に運用上問題がないか確認し、
電源の切断準備を行ってから電源を遮断してください。



注意

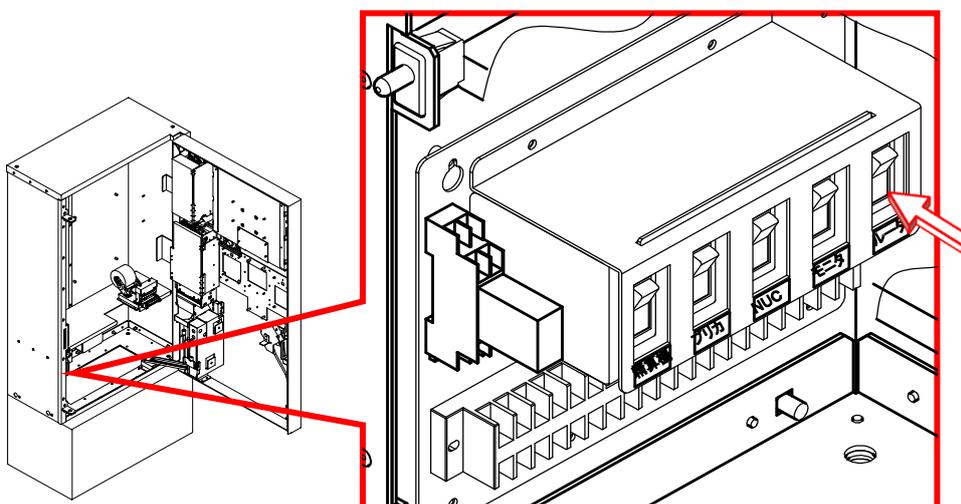
- ◆ 電源スイッチは全てのスイッチを必ず遮断する
一部の機器のみが動作した状態では、正常に動作しないため
運営に支障が出る場合があります。



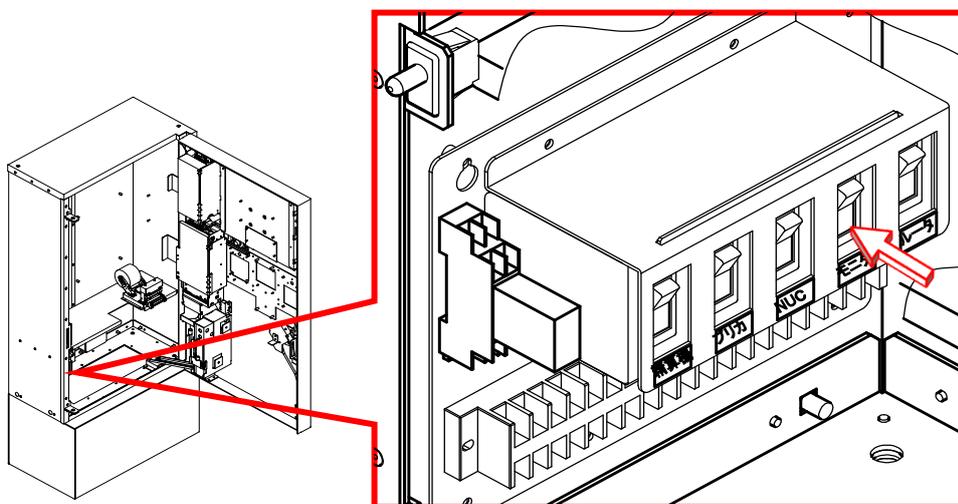
確認

- (1) 本機のドアを、[2.4]ドアの開け方を参照し、開けます。
[8.15]電源切断準備を参照し、電源の遮断準備を行ってください。

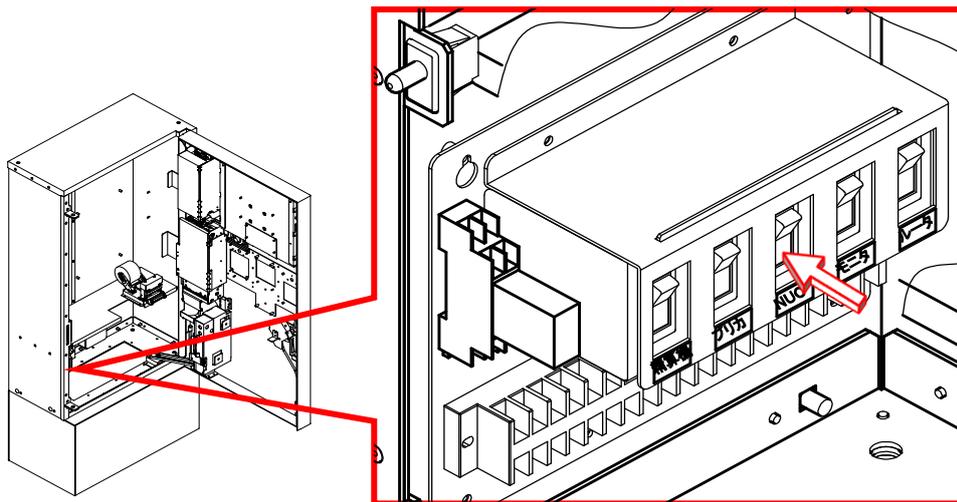
- (2) ルータ電源スイッチの下側を押し、遮断します。



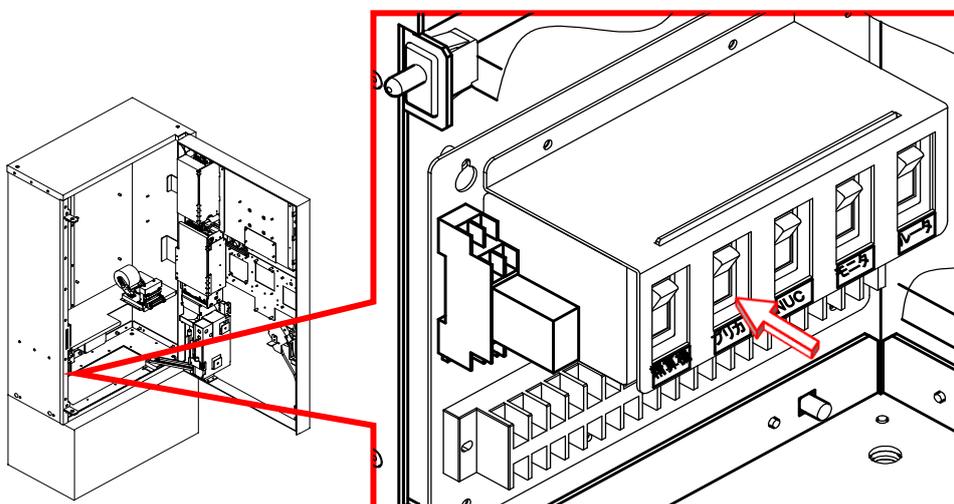
- (3) モニタ電源スイッチの下側を押し、遮断します。



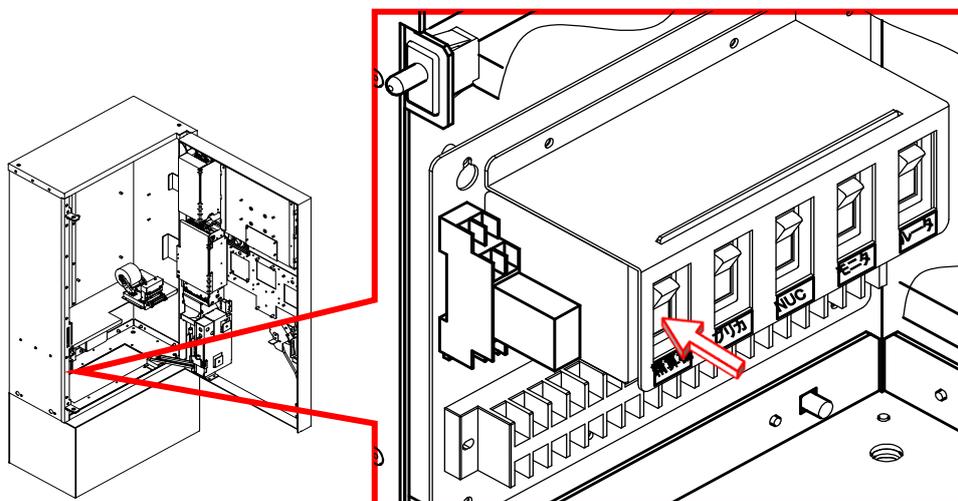
(4) NUC電源スイッチの下側を押し、遮断します。



(5) プリカ電源スイッチの下側を押し、遮断します。



(6) 精算機電源スイッチの下側を押し、遮断します。



(7) ACアダプタ2台のプラグをサンダーブロッカーから抜き、主電源を遮断します。

(8) サンダーブロッカーをAC100V接地コンセントから抜きます。

9. オプション

オプションとして、マルチ電子マネー決済ユニットを搭載する事が可能で、料金を電子マネー※1による精算をする事ができます。

9.1 電子マネー決済ユニット

9.1.1 機能

電子マネー決済ユニットは、料金を電子マネー※1ICのカードなどで支払う場合に必要なオプションです。料金が支払われる仕組みは、カードの認証と決済サービスは電子マネー決済ユニット自身が通信・制御して、本機との通信で行なうことで、支払いが完了します。料金がデータとして扱われる関係上、料金の一部を現金で、残りを電子マネーで支払うような併用支払いはできません。本機では、電子マネーのチャージはできません。

※1: 対応する電子マネーについては、当社にお問合せください。

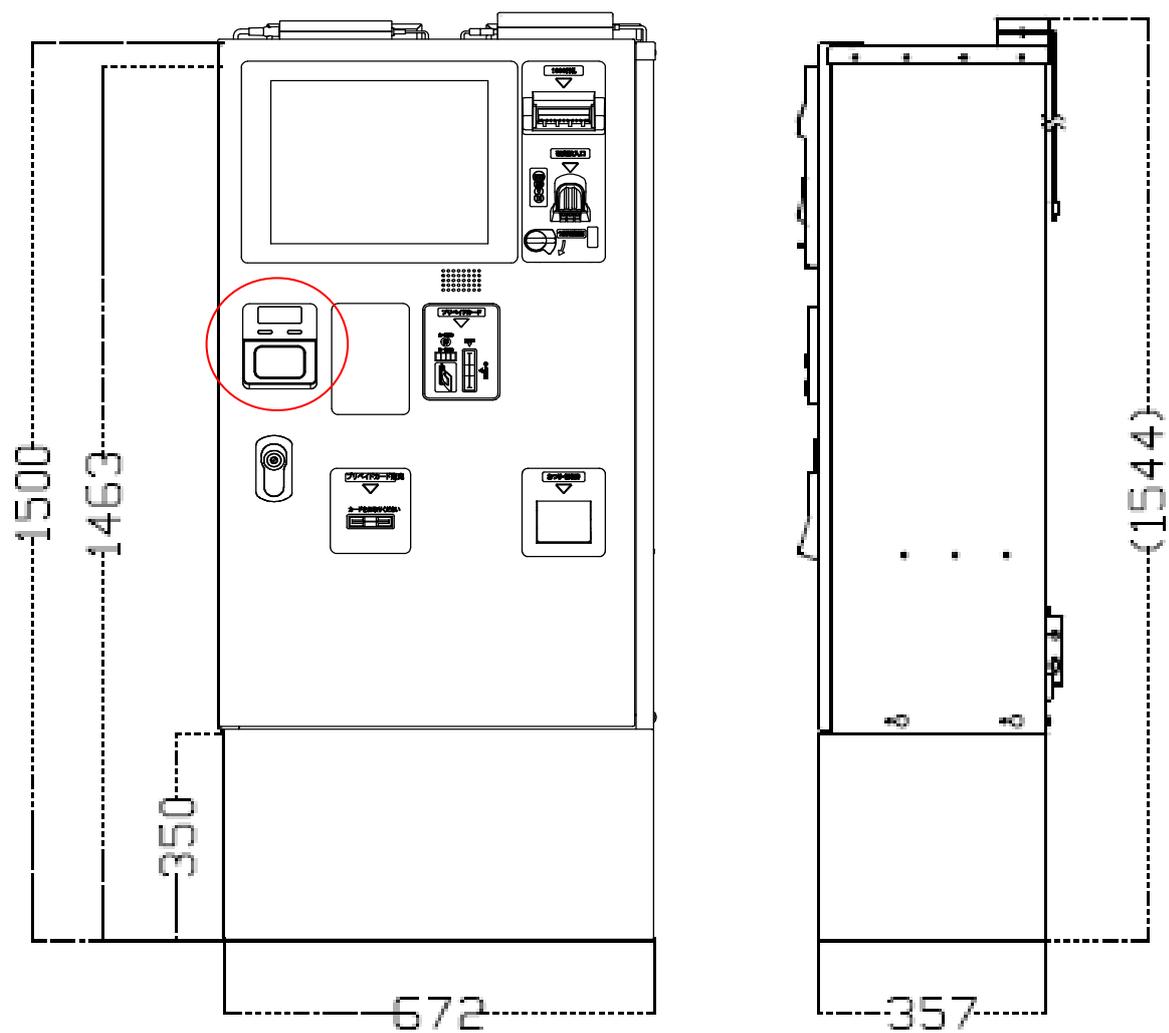
9.1.2 概略仕様

 注意	◆ 機器の設置場所で通信可能エリアか事前確認をする 電子マネー決済が行なえず、運営に支障が出る恐れがあります。	 確認
---	---	---

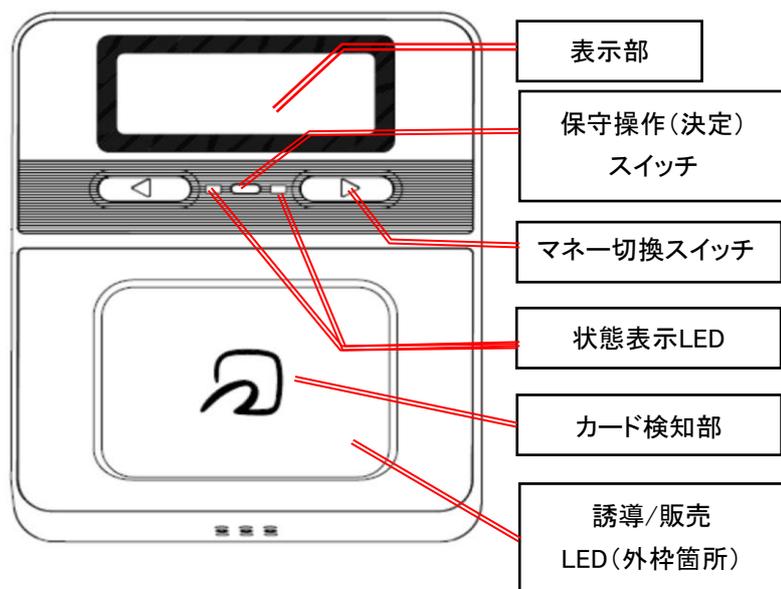
No.	項目	内容
1	使用可能カード	iD/WAON/QUICPay/nanaco/Edy/ 交通系ICカード(suica、toica等※1)
2	カード読取方式	非接触
3	決済方式	一括
4	チャージ	チャージ不可
5	通信回線	FOMAデータ通信回線を使用し、 1日当たり1数回サービスセンタと通信を行う
6	その他	FOMAデータ通信が可能なエリアであること。 強電界ノイズが無いこと。潮風の吹きつけが無いこと
7	表示	表示部: 蛍光表示管 状態表示部: 2色LED 緑、橙 カード検知部周囲: 3色LED 青、緑、赤×2個
8	マネー切替操作	押しボタンスイッチ
9	定格電圧	DC24V±10% DC8V±5%
10	定格電力	動作時 10 W以下
11	動作環境	温度 0 ~ 50 °C (凍結なきこと) 湿度 20 ~ 80 %RH (結露なきこと)
12	外観寸法	マスク部: 幅118 mm × 高さ145 mm × 奥行き52 mm 突起部除く 制御部: 幅99 mm × 高さ260 mm × 奥行き49 mm
13	重量	マスク部 約0.4 kg 制御部 約0.5 kg
14	環境物質	RoHS 適合品

※1: その他、使用可能な電子マネーブランドについては、当社にお問合せください。

9.1.3 機械の外形寸法



9.1.4 各部名称



9.1.5 状態表示

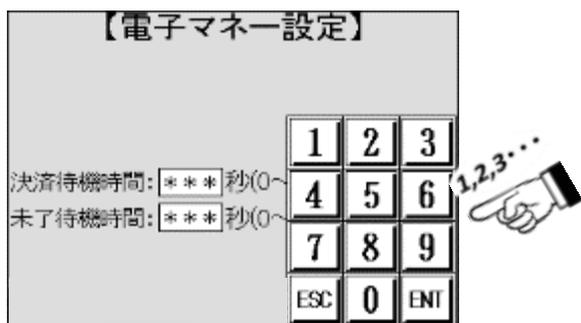
電子マネー決済ユニットの状態表示は、表示部、状態表示LED、誘導/販売LEDの3箇所の状態とスピーカからの音の組合せで表されます。組合せおよび状態は、以下のとおりです。

	表示	状態表示LED緑	状態表示LED橙	誘導/販売LED	スピーカー	状態
1	無し	消灯	消灯	消灯	無し	・電源断
2	電子マネーご利用になれます	点灯	消灯	消灯	無し	・待機中
3	電子マネー選択してください	点灯	消灯	消灯	無し	・カード検知待ち
4	ご利用できません	消灯	点灯	赤点灯	共通エラー音	・表示マネーと異なるマネーカード
5	ご利用できません *****	消灯	点灯	赤点灯	エラー音※2	・取扱中止カード ・限度額オーバーカード
6	ご利用できません	消灯	点灯	赤点灯	エラー音※2	・上記以外の決済失敗
7	もう一度タッチしてください	点灯	消灯	点灯※1	エラー音※2	・カード読込みエラー ・カード書込みエラー
8	センター通信中しばらくお待ちください	消灯	消灯	消灯	無し	・仮締め処理中 ・オンライン処理中
9	お取扱できません	消灯	点灯	赤点灯	無し	・販売停止
10	-	点灯	点灯	-	無し	・閉局マネーあり
11	締め処理中	点滅	点滅	白点滅	ピッピッ	・本締め処理中
12	ダウンロード中残りXXファイル	消灯	消灯	消灯	無し	・ダウンロード実施中

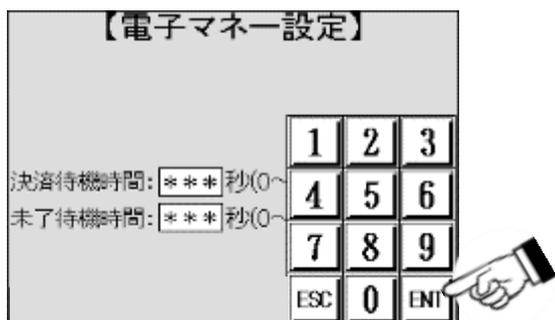
※1: 電子マネーブランドに対応した色(点滅/点灯)となります。

※2: 電子マネーブランドに対応した音となります。

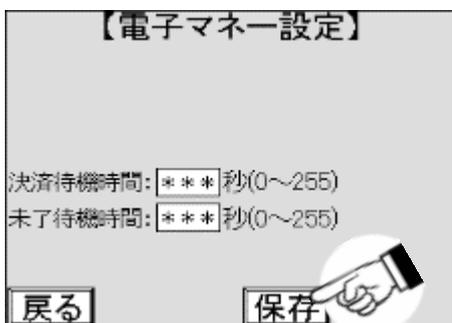
(4) 数字キーがポップアップ表示されますので、待機時間を入力します。



(5) **ENT** を押し、値を確定します。



(6) 値を確認し、**保存** を押します。**保存** を押さないで **戻る** を押すと、設定は変更前の状態のまま変わりません。



(7) 未了待機時間も同様の手順で設定します。

9.1.8 電子マネー決済ユニット使用上の注意

電子マネー決済ユニットを使用する際の注意事項は以下のとおりです。

- (1)精密機械のため、落下や強い衝撃を加えると故障の原因になります。
- (2)コネクタの抜き差しをする場合は、必ず電源を遮断してから行ってください。
- (3)分解、改造はしないでください。
- (4)ハーネスを持ち、ぶら下げないように持ち運ばないでください。
持ち運びの際には、決済ユニットを持つようにしてください。
- (5)セキュリティ管理品のため、廃棄される場合は、必ず当社に廃棄依頼をしてください。
- (6)最初のご使用の際には、設置時処理を行なってください。
- (7)決済ユニットは必ず、納品された組合せでお使いください。

9.1.9 締め処理

締め処理は、本機の電子マネー取引情報をセンタに通知する作業で、定期的に行ないます。

締め処理の所要時間は、通信データ量や通信環境により変動致しますが、

通常10分から30分程度で終了します。締め処理を実行している間は、電子マネーの決済ができません。

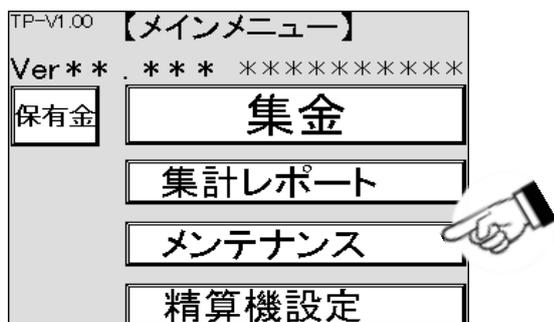
現金精算のみ対応可能です。

9.1.10 締め処理の操作方法

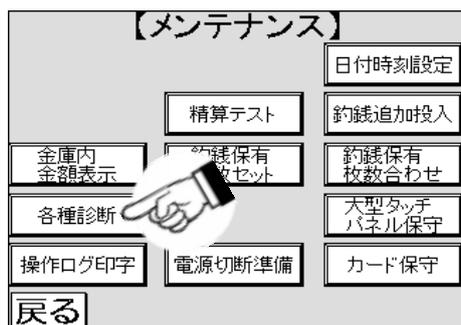
締め処理の操作方法は、2つあります。ひとつは、集金集計印字操作です。操作方法は、

[5.5.12]集金集計印字を参照してくださいもうひとつは、以下で説明します。

- (1)メインメニューで **メンテナンス** を押します。



- (2)メンテナンス画面が表示されますので、**各種診断** を押します。



9.1.11 Edy取引履歴

電子マネー決済ユニットでEdyをご利用の場合、決済の取引履歴を本機に保存します。
専用治具を使用して、取引履歴を取得できます。

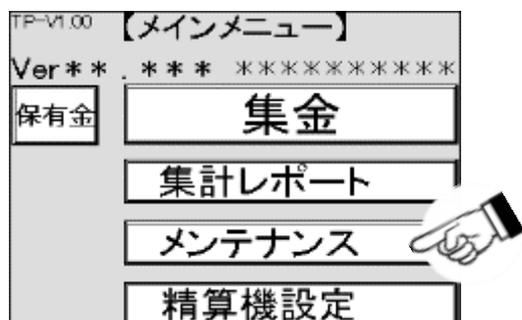
9.1.12 Edyセンタ通信履歴

電子マネー決済ユニットでEdyをご利用の場合、Edyセンタとの通信履歴を本機に最大100件を保存します。
通信履歴は、印字して確認ができます。

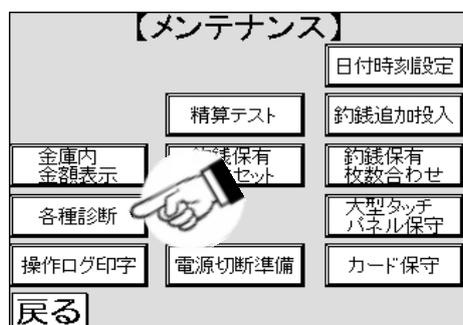
9.1.13 Edyセンタ通信履歴印字の操作方法

Edyセンタとの通信履歴を印字する方法を説明します。

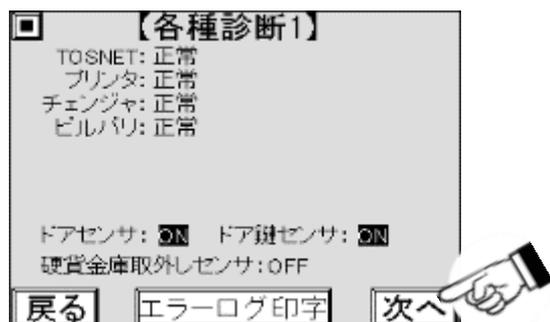
(1)メインメニューで **メンテナンス** を押します。



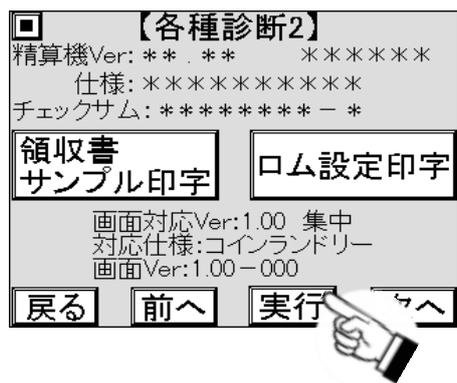
(2)メンテナンス画面が表示されますので、**各種診断** を押します。



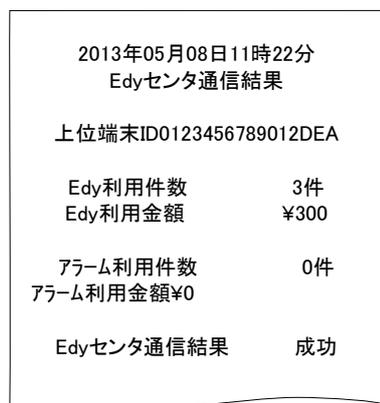
(3)各種診断1画面が表示されますので、**次へ** を押します。



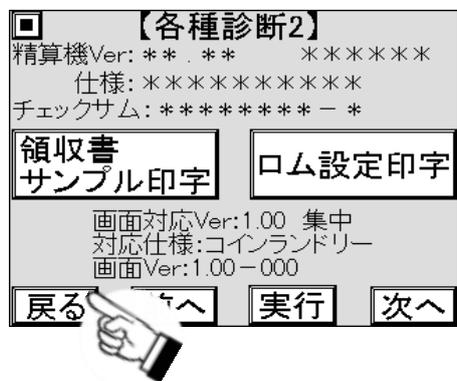
(4) 各種診断2画面が表示されますので、**実行**を押します。



(5) Edyセンタ通信履歴が印字されます。



(6) **戻る**を押します。



9.2 カード販売ユニット

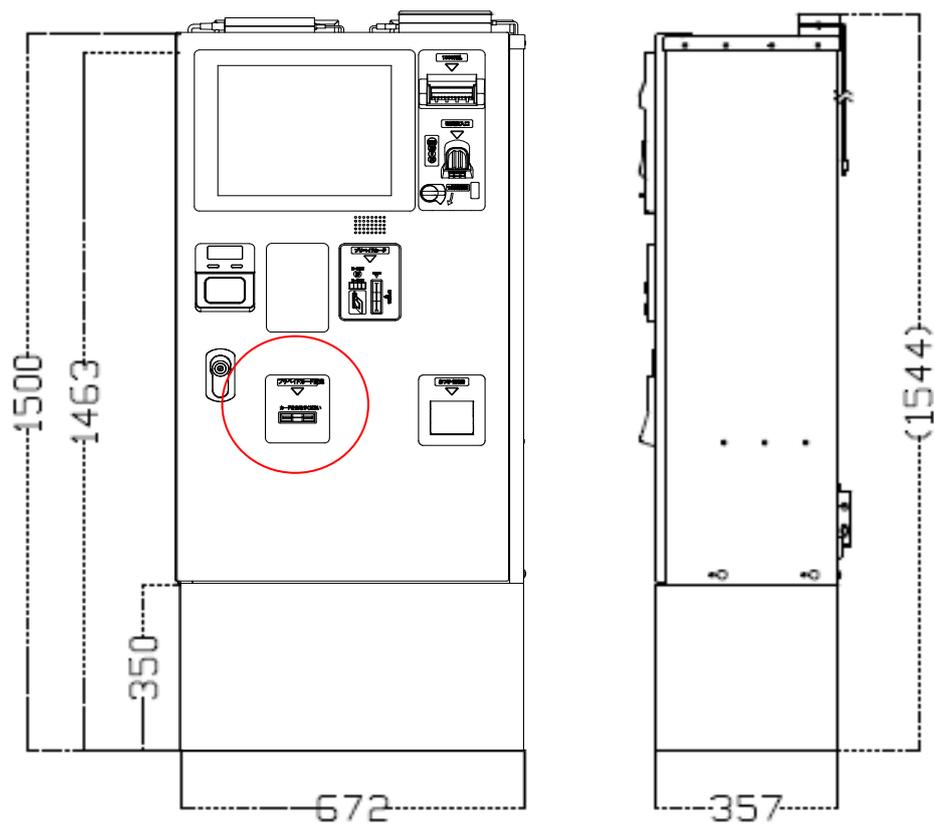
9.2.1 機能

カード販売ユニットは、本機でプリペイドカードを販売する場合に必要なオプションです。
精算機の精算機能を活用することで、販売することを可能にします。支払いは、現金のみ可能です。

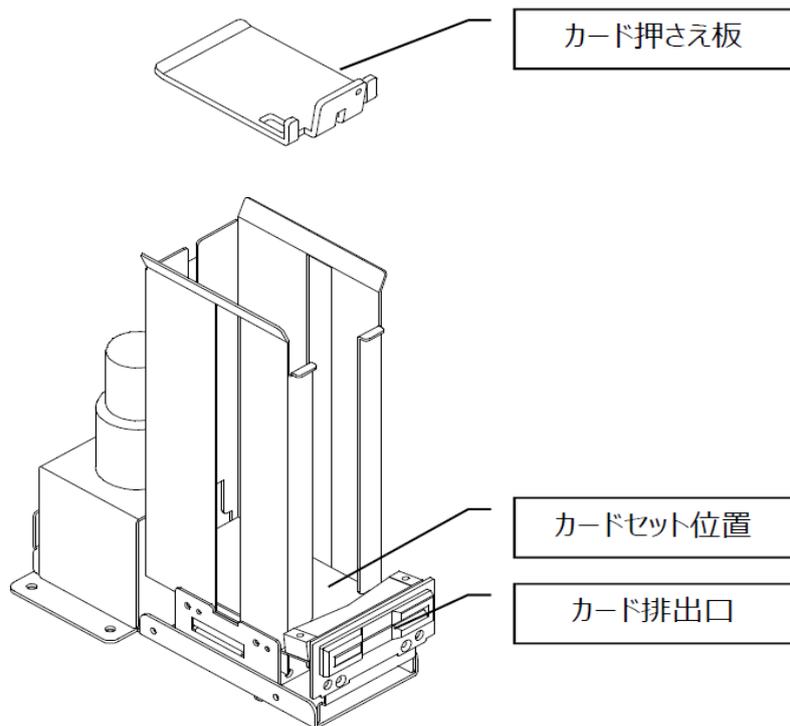
9.2.2 概略仕様

No.	項目	内容
1	対応カード寸法	テレホンカードサイズ 54 mm × 85.6 mm 厚さ 0.22 ~ 0.26 mm オレンジカードサイズ 57.5 mm × 85 mm 厚さ 0.22 ~ 0.26 mm
2	カード送り出し方式	底板スライド方式
3	カード収納枚数	500 枚
4	駆動用電源	DC24V±10% モータ駆動 DC5V±5% センサ電源
5	消費電力	約4 W カード500 枚積み時
6	動作環境	温度 0 ~ 50 °C(凍結なきこと) 湿度 20 ~ 80 %RH(結露なきこと)
7	外観寸法	幅65 mm×奥行き179 mm×高さ217 mm
8	重量	1120 g(カード押さえ板含む)
9	環境物質	RoHS 適合品

9.2.3 機械の外形寸法



9.2.4 本機の内部名称



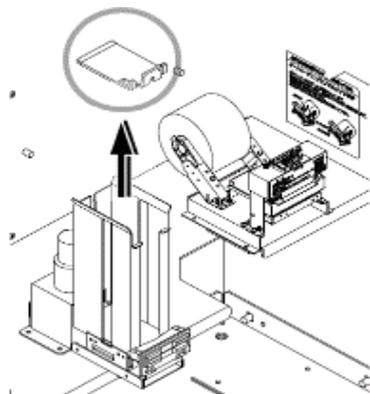
9.2.5 点検項目

- (1) 本体の変形、割れが無いを確認します。変形、割れが確認された場合は、お買い上げの販売店にお問合せください。
- (2) 機器の状態を、[4.3.4]ステータス情報画面を参照して確認します。異常の場合は、機器を確認します。

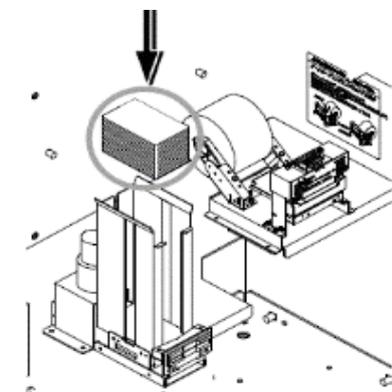
9.2.6 カードのセット方法

プリペイドカードのセットの手順、セット後の設定などは以下のとおりです。

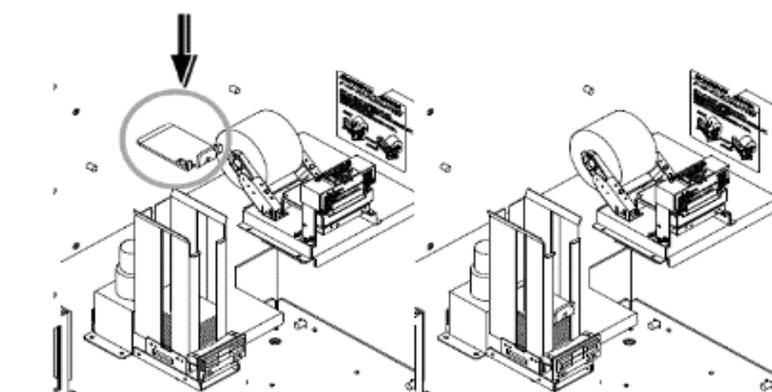
- (1) 本機のドアを、[2.4]ドアの開け方 を参照して開けます。
- (2) 電源を、[8.16]電源の遮断 を参照して遮断します。
- (3) カード押さえ板を持ち上げて、カードセット位置から外します。



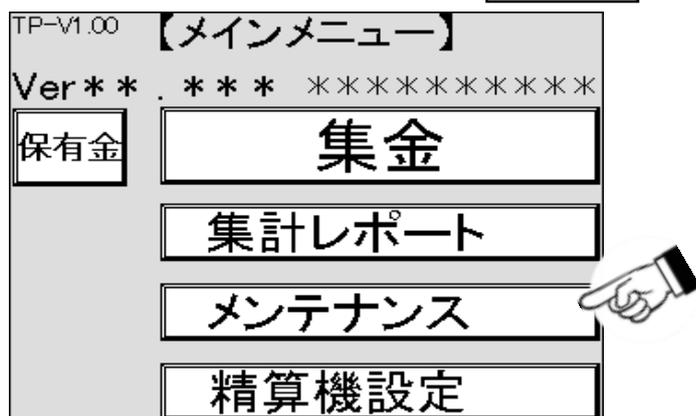
- (4) 新しいカードを揃えて、カードセット位置にセットします。



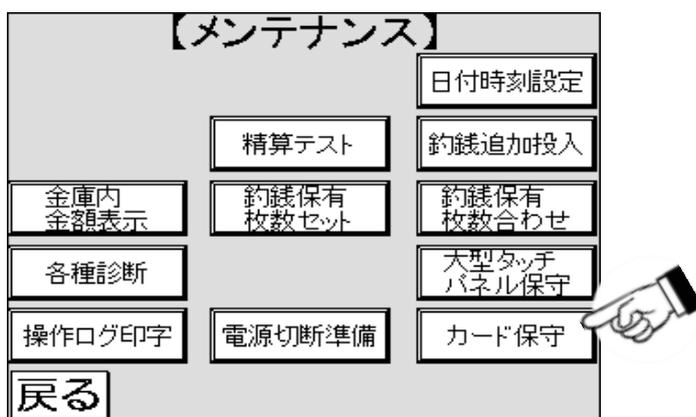
- (5) カード押さえ板をセットしたカードの上にセットします。



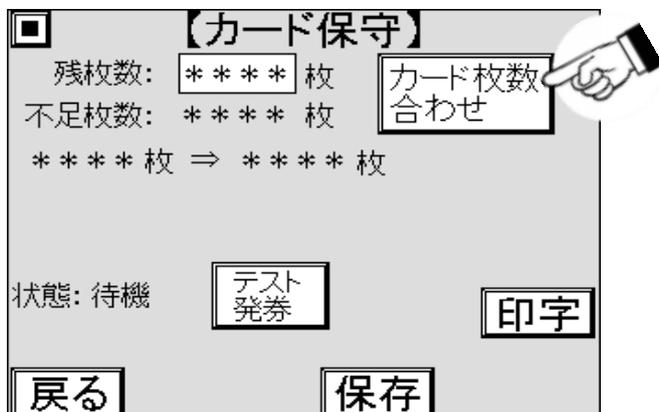
(6) 保守用タッチパネルのメインメニューの「メンテナンス」を押します。



(7) メンテナンス画面が表示されますので、「カード保守」を押します。



(8) カード保守画面が表示されますので、「カード枚数合わせ」を押します。



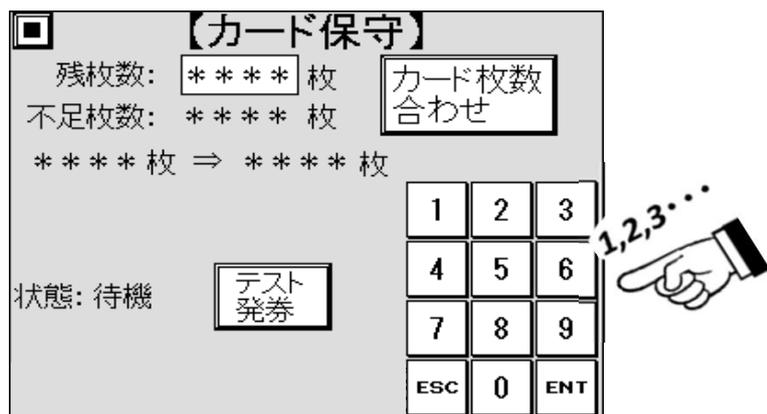
(9) 残枚数がカード枚数合わせの設定※1した値に変わります。

(10) 残枚数を変更する場合は、残枚数の値を押します。

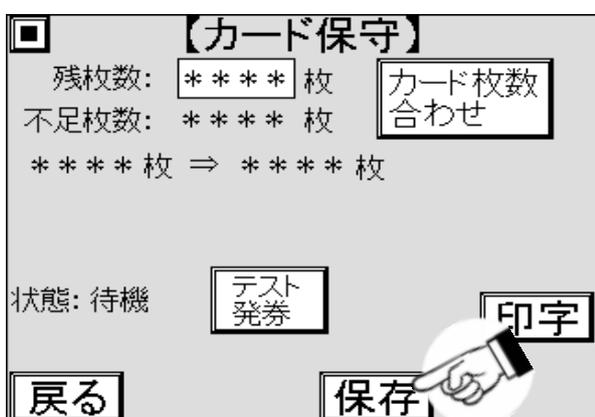


※1: カード枚数合わせのセットされる値は、[4.3.3] システム設定画面で事前に設定します。

(11)テンキーがポップアップ表示されますので、値を入力し、**ENT**を押します。



(12)値を確認し、**保存**を押します。



(13)セットした枚数を印字する場合は、**印字**を押します。



10. 参考資料

10.1 ビルバリ

No.	項目	数量	単位	備考
1	スタッカ収納枚数	450	枚	官封新券の場合、参考値
2		250	枚	流通券混在の場合、参考値

10.2 コインチェンジャなど

No.	項目	数量	単位	備考
1	金庫容量	1000	枚	100円、500円混在、参考値
2	10円硬貨	70	枚	最大補充
3	50円硬貨	65	枚	最大補充
4	100円硬貨	70	枚	最大補充
5	500円硬貨	50	枚	最大補充

10.3 日付時刻

No.	項目	数量	単位	備考
1	月差	±1	分	参考値

10.4 防犯ブザー解除方法

ドアを[2.4]ドアの開け方 の手順で開けなかった場合の防犯ブザー解除方法を説明します。

- (1) ハンドルを反時計回りに回します。
- (2) 再起動を[8.15]電源切断準備 を参照し、行います。

11. 制限事項・その他

11.1 内部部品について

本製品は内部部品にメッキ鋼板を使用しています。ご使用環境によっては、端面にサビが発生する場合がありますが、機能を損なうものではありません。

11.2 ドアについて

ドア開閉の際、きしみ音などが発生することがありますが、性能に問題はありません。音が気になるときは、養生などして、蝶番部に市販の金属専用潤滑剤を塗布することで改善する場合があります。

11.3 ソフトバージョンについて

ソフトバージョンは現場毎で異なる場合もありますのでお客様で把握できるように管理してください。ソフトバージョンを管理することで、各現場の精算機のソフトバージョンとタッチパネルのソフトバージョンの組合せが容易に分かり、トラブル復旧の遅延が改善されます。バージョンの小数点第2位までがタッチパネルのバージョンと異なる場合、当社にお問合せください。

11.4 釣銭自動調整について

[5.3.8]硬貨調整 — 釣銭自動調整 で釣銭の払出しができなかった場合、払出異常と表示され、コインチェンジャが動作しなくなります。万が一発生した場合は、コインチューブを開け、釣銭枚数を確認し、[8.10]釣銭保有枚数セットで正しい枚数にセットし直してください。

11.5 サブチューブの使用について

サブチューブを使用する場合、[5.3.6]硬貨調整— コインチューブ交換釣銭自動合わせの方法か、[5.3.7]硬貨調整— コインチューブ釣銭任意補充の方法で硬貨調整をしてください。

11.6 インベントリについて

インベントリ(inventory)とは、「棚卸し」の意味で、コインチェンジャの機能を使用して余剰硬貨を払い出すことを指します。なおインベントリは、コインチェンジャに付いている南京錠を解錠して取り外して操作する必要があります。

12. 保証とアフターサービス

● ご不明な点や修理に関するご相談

- ・修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点はお買い上げの販売店にご相談ください。

● 保証書（別添）

- ・保証書は別途添付しております。
- ・保証書は必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取って頂き内容を良くお読みになった後、大切に保管してください。
- ・本機の保障期間はお買い上げ頂いた日から1年です。
- その他、詳しくは保証書をご覧ください。

● 補修用性能部品の保有期間

- ・本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後「13年」です。
- ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 修理を依頼されるときは

- ・異常があるときは、お使いになるのをやめ、電源を切り、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中

- ・保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
- なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合

- ・保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

《免責事項について》

- ・地震、雷、火災、第三者の行為、その他の事故、お客様の故意又は過失、誤使用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用又は使用不能から生じる付随的な障害（事業利益の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・海外で使用した場合当社は一切の責任を負いません。

株式会社 TOSEI

本 社・工 場	〒410-2325 静岡県伊豆の国市中島244	0120-557-338
東 京 支 社	〒141-0022 東京都品川区東五反田1-24-2	(03)6422-7290(代)
中 部 支 店	〒465-0035 愛知県名古屋市名東区豊が丘58	(052)772-3988(代)
関 西 支 店	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町30-28	(06)6338-9601(代)
九 州 支 店	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-8-3	(092)482-6613(代)
東北営業所・広島営業所・鹿児島営業所		

●ホームページのアドレス <http://www.tosei-corporation.co.jp/>